

2025年度

授業大要（シラバス）

SYLLABUS for STUDENTS

MATSUMOTO DENTAL UNIVERSITY

（第 1 ・ 2 ・ 3 学年）

松本歯科大学

2025 年度

授業大要（シラバス）

（第 1・2・3 学年）

松本歯科大学

建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従い

国手的精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者

矢崎 康

3つのポリシー

教育目標を達成するために必要な3つのポリシー、すなわち「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」、「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）」及び「ディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）」を制定しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 歯科医師になろうとする強い意志を持っている。
2. 歯科医学を習得するために必要な基礎的な学力を備えている。
3. 生命科学を学ぼうとする意欲を備えている。
4. 相手を理解し、自分の意思を適確に伝えることができる。
5. 諸問題を抽出・理解し、自分の考えをまとめることができる。
6. 国際的視野で思考し社会に貢献しようと考えている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

松本歯科大学は豊かな人間性を有した歯科医師を育成するために、以下にカリキュラムポリシーを定める。

1. ディプロマポリシーを達成するために6年一貫の弾力的なカリキュラム編成を行う。
2. 歯科医師として具備すべき、教養、倫理観を育成するために人文科学系科目、社会科学系科目を設置する。
3. 歯科医学の基礎及び臨床科目の理解に必要な知識を育成するために、自然科学系科目を設置する。
4. 歯科医学を勉学する動機づけのために早期体験型科目を設置する。
5. 国際的視野で社会貢献するために必要な外国語能力やコミュニケーション能力を養成する科目を設置する。
6. 歯科医療の専門知識と技能を養成するために専門基礎科目及び専門臨床科目を設置する。
7. 歯科医師として必要な知識・技能・態度を修得するために、診療参加型臨床実習を行う。

ディプロマ・ポリシー（卒業に関する方針）

1. 歯科医師として倫理観を身につける。
2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

2025年度 授業科目履修基準表

学則 第8条 別表2

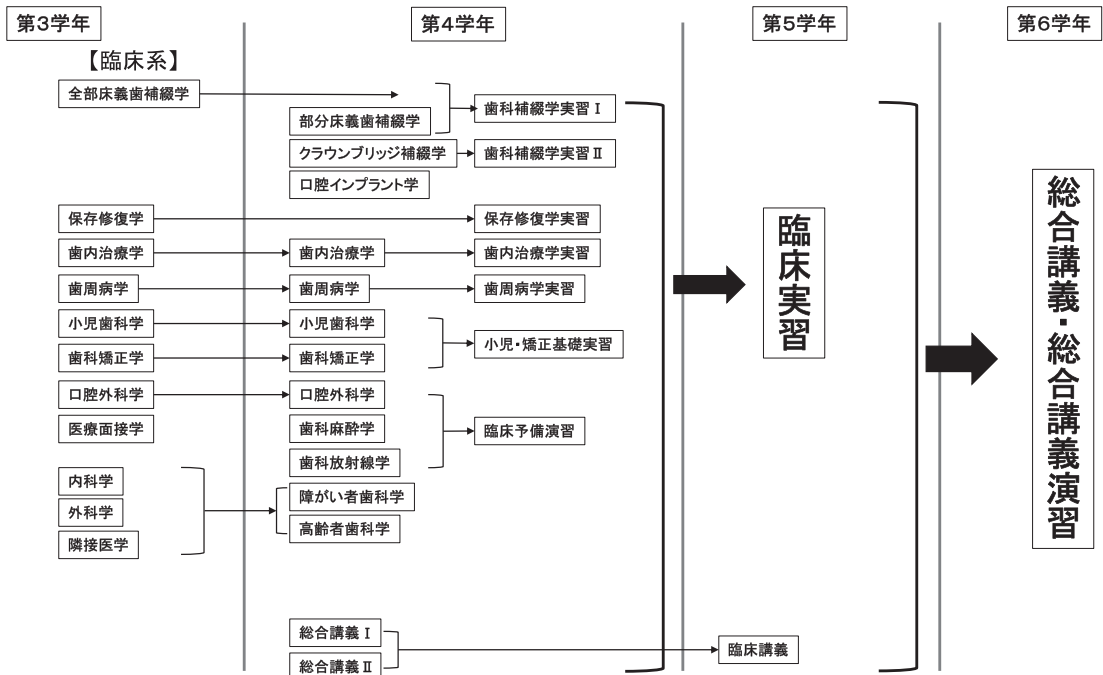
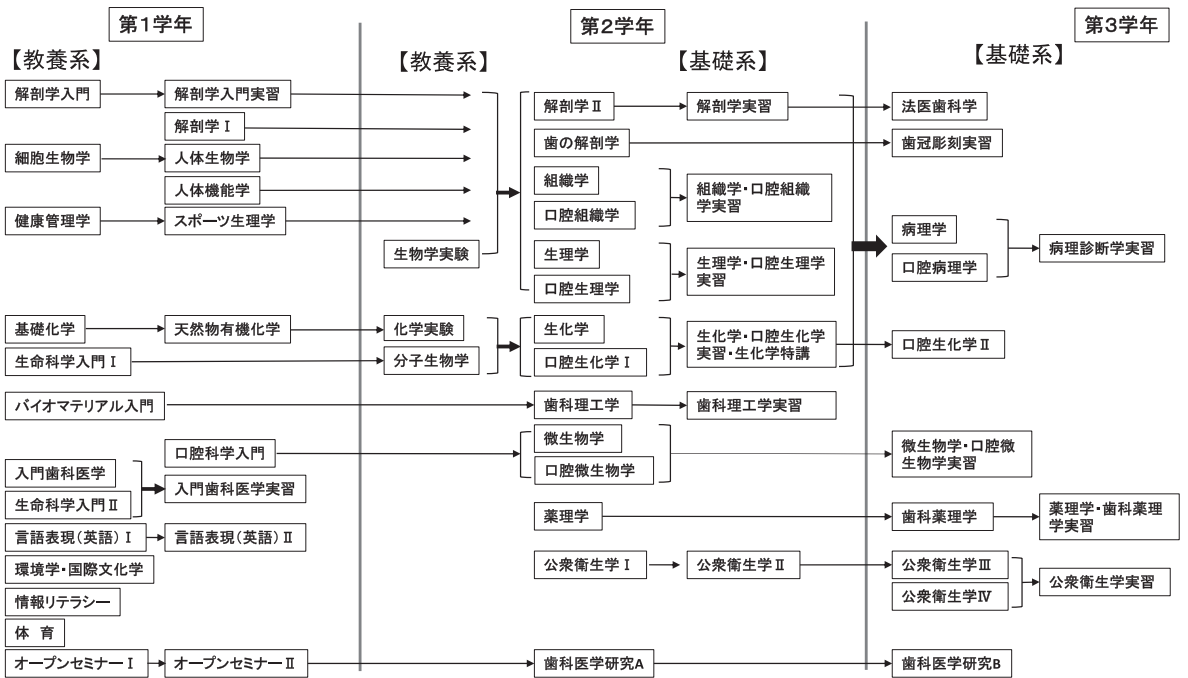
科目 コード	学 科 目	授業形態	履修区分	履修数		履 修 学 年 及 び 履 修 期										備 考	
						第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年			第6学年
				時間	単位	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期
A1010	入 門 歯 科 医 学	講義	必修	30	1	1											
A1020	生 命 科 学 入 門Ⅰ	講義	必修	30	1	1											
A1025	生 命 科 学 入 門Ⅱ	講義	必修	30	1	1											
A1030	入 門 歯 科 医 学 実 習	実習	必修	120	4	2	2										
A1041	人 体 機 能 学	講義	必修	30	1	1											
A1046	環 境 学・国 際 文 化 学	講義	必修	30	1	1											
A1050	体 育	実技	必修	60	2	1	1										
A1060	情 報 リ テ ラ シ ー	講義	必修	30	1		1										
A1070	口 腔 科 学 入 門	講義	必修	30	1		1										
A1080	解 剖 学 入 門	講義	必修	30	1	1											
A1100	言 語 表 現 (英 語) Ⅰ	講義	必修	60	2	2											
A1110	言 語 表 現 (英 語) Ⅱ	講義	必修	60	2		2										
A1160	基 礎 化 学	講義	必修	60	2	2											
A1170	天 然 物 有 機 化 学	講義	必修	30	1		1										
A1175	バ イ オ マ テ リ ア ル 入 門	講義	必修	30	1		1										
A1180	健 康 管 理 学	講義	必修	30	1	1											
A1185	ス ポ ー ツ 生 理 学	講義	必修	30	1		1										
A1190	細 胞 生 物 学	講義	必修	30	1	1											
A1195	人 体 生 物 学	講義	必修	30	1		1										
A1200	オ ー プ ン セ ミ ナ ーⅠ	講義・演習	選択	30	1	(1)											() 選択必修科目
A1210	オ ー プ ン セ ミ ナ ーⅡ	講義・演習	選択	30	1		(1)										
A2010	化 学 実 験	実験	必修	30	1			1									
A2020	生 物 学 実 験	実験	必修	30	1			1									
A2030	分 子 生 物 学	講義	必修	30	1			1									
小 計				930	31	28	単位	3	単位	0	単位	0	単位	0	単位	0	単位
B1090	解 剖 学Ⅰ	講義	必修	30	1		1										
B1120	解 剖 学 入 門 実 習	実習	必修	30	1		1										
B2050	解 剖 学Ⅱ	講義	必修	30	1			1									
B2060	歯 の 解 剖 学	講義	必修	30	1				1								
B2070	解 剖 学 実 習	実習	必修	120	4			1	3								
B2080	組 織 学	講義	必修	30	1			1									
B2090	口 腔 組 織 学	講義	必修	30	1				1								
B2095	組織学・口腔組織学実習	実習	必修	90	3				3								
B2100	生 理 学	講義	必修	60	2			2									
B2110	口 腔 生 理 学	講義	必修	30	1				1								
B2120	生理学・口腔生理学実習	実習	必修	60	2				2								
B2130	生 化 学	講義	必修	60	2			2									
B2140	口 腔 生 化 学Ⅰ	講義	必修	30	1				1								
B3030	口 腔 生 化 学Ⅱ	講義	必修	30	1					1							
B2150	生化学・口腔生化学実習、生化学特講	実習	必修	60	2				2								
B2160	微 生 物 学	講義	必修	60	2			2									
B2165	口 腔 微 生 物 学	講義	必修	30	1				1								
B3050	微生物学・口腔微生物学実習	実習	必修	60	2					2							
B2170	薬 理 学	講義	必修	30	1				1								
B3060	歯 科 薬 理 学	講義	必修	60	2					2							
B3070	薬理学・歯科薬理学実習	実習	必修	60	2					2							
B2175	公 衆 衛 生 学Ⅰ	講義	必修	30	1			1									
B2176	公 衆 衛 生 学Ⅱ	講義	必修	30	1				1								
B3090	公 衆 衛 生 学Ⅲ	講義	必修	30	1					1							
C3095	公 衆 衛 生 学Ⅳ	講義	必修	30	1						1						
B3100	公 衆 衛 生 学 実 習	実習	必修	60	2						2						
B3110	病 理 学	講義	必修	60	2					2							
B3130	口 腔 病 理 学	講義	必修	60	2						2						
B3120	病 理 診 断 学 実 習	実習	必修	90	3						3						
B2180	歯 科 理 工 学	講義	必修	90	3			2									
B2190	歯 科 理 工 学 実 習	実習	必修	60	2				2								
C3150	全 部 床 義 歯 補 綴 学	講義	必修	60	2					1	1						
C4010	歯 科 補 綴 学 実 習Ⅰ	実習	必修	90	3							3					
C4020	部 分 床 義 歯 補 綴 学	講義	必修	60	2							2					
C4030	歯 科 補 綴 学 実 習Ⅱ	実習	必修	90	3							3					
C4040	ク ラ ウ ン プ リ ッ ジ 補 綴 学	講義	必修	60	2							2					
C3160	歯 冠 彫 刻 実 習	実習	必修	60	2					2							
C3170	保 存 修 復 学	講義	必修	60	2					1	1						
C4060	保 存 修 復 学 実 習	実習	必修	90	3							3					
C3180	小 児 歯 科 学	講義	必修	30	1						1						
C4065	小 児 歯 科 学	講義	必修	30	1							1					
C3190	歯 科 矯 正 学	講義	必修	30	1						1						
C4080	歯 科 矯 正 学	講義	必修	30	1							1					
C4095	小 児 矯 正 基 礎 実 習	実習	必修	60	2							2					
C3200	口 腔 外 科 学	講義	必修	30	1						1						
C4100	口 腔 外 科 学	講義	必修	60	2							2					
C4110	歯 科 麻 酔 学	講義	必修	60	2							2					
C4120	歯 科 放 射 線 学	講義	必修	60	2							2					
C3205	歯 内 治 療 学	講義	必修	30	1						1						
C4130	歯 内 治 療 学	講義	必修	30	1							1					
C4140	歯 内 治 療 学 実 習	実習	必修	60	2							2					
C3210	歯 周 病 学	講義	必修	30	1						1						
C4150	歯 周 病 学	講義	必修	30	1							1					
C4160	歯 周 病 学 実 習	実習	必修	60	2							2					
C3220	内 科 学	講義	必修	60	2					1	1						
C4105	口 腔 イ ン プ ラ ン ト 学	講義	必修	30	1							1					
C3254	法 医 歯 科 学	講義	必修	30	1					1							
C4180	障 が い 者 歯 科 学	講義	必修	30	1							1					
C4185	高 齢 者 歯 科 学	講義	必修	30	1							1					
C4187	摂 食 嚥 下 療 法 学	講義	必修	30	1							1					
C3251	医 療 面 接 学	講義	必修	30	1					1							
C3015	臨 牀 医 学	講義	必修	30	1						1						
B2210	歯 科 医 学 研 究 A	演習	選択	30	(1)			(1)									() 自由選択科目
B3260	歯 科 医 学 研 究 B	演習	選択	30	(1)				(1)								
C4192	臨 床 予 備 演 習	演習	必修	60	2							2					
C4190	総 合 講 義 4 年Ⅰ	講義	必修	60	2							2					
C4200	総 合 講 義 4 年Ⅱ	講義	必修	90	3							3					
D5001	臨 床 講 義	講義	必修	285	9									9			
E6010	総 合 講 義 6 年	講義	必修	1125	36										36		
E6050	総 合 講 義 演 習	演習	必修	225	5										5		
D5500	臨 床 実 習	実習	必修	1575	35									35			
小 計				6510	193	2	単位	32 (33)	単位	34 (35)	単位	40	単位	44	単位	41	単位
合 計				7440	224 (226)	30	単位	35 (36)	単位	34 (35)	単位	40	単位	44	単位	41	単位

2025年度卒業認定・学位授与の当該授業科目一覧表

ディプロマ・ポリシー

DP1	1. 歯科医師としての倫理観を身につける。
DP2	2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
DP3	3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
DP4	4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
DP5	5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
DP6	6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

	No	学 科 目	ディプロマ・ポリシー					
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
教 育 科 目	A1010	入門歯科医学	○	○	○			
	A1020	生命科学入門Ⅰ		○	○		○	
	A1025	生命科学入門Ⅱ		○	○		○	
	A1030	入門歯科医学実習		○	○	○		
	A1041	人体機能学		○	○		○	
	A1046	環境学・国際文化学		○	○		○	○
	A1050	体育		○	○			
	A1060	情報リテラシー			○	○	○	
	A1070	口腔科学入門		○	○		○	
	A1080	解剖学入門		○	○		○	
	A1100	言語表現（英語）Ⅰ		○	○			○
	A1110	言語表現（英語）Ⅱ		○	○			○
	A1160	基礎化学		○	○		○	
	A1170	天然物有機化学		○	○		○	
	A1175	バイオマテリアル入門		○	○		○	
	A1180	健康管理学		○	○		○	
	A1185	スポーツ生理学		○	○		○	
	A1190	細胞生物学		○	○		○	
	A1195	人体生物学		○	○		○	
	A1200	オープンセミナーⅠ		○	○		○	
	A1210	オープンセミナーⅡ		○	○		○	
	A2010	化学実験		○	○		○	
	A2020	生物学実験		○	○		○	
	A2030	分子生物学		○	○		○	
専 門 教 育 科 目	B1090	解剖学Ⅰ		○	○			
	B1120	解剖学入門実習		○	○			
	B2050	解剖学Ⅱ		○	○			
	B2060	歯の解剖学		○	○			
	B2070	解剖学実習	○	○	○			
	B2080	組織学		○	○			
	B2090	口腔組織学		○	○			
	B2095	組織学・口腔組織学実習		○	○			
	B2100	生理学		○	○			
	B2110	口腔生理学		○	○			
	B2120	生理学・口腔生理学実習		○	○			
	B2130	生化学		○	○			
	B2140	口腔生化学Ⅰ		○	○			
	B3030	口腔生化学Ⅱ		○	○			
	B2150	生化学・口腔生化学実習、生化学特講		○	○			
	B2160	微生物学		○	○			
	B2165	口腔微生物学		○	○			
	B3050	微生物学・口腔微生物学実習		○	○			
	B2170	薬理学		○	○			
	B3060	歯科薬理学		○	○			
	B3070	薬理学・歯科薬理学実習		○	○			
	B2175	公衆衛生Ⅰ		○	○			
	B2176	公衆衛生Ⅱ		○	○			
	B3090	公衆衛生Ⅲ		○	○			
	C3095	公衆衛生Ⅳ	○	○	○			
	B3100	公衆衛生学実習	○	○	○			
	B3110	病理学		○	○			
	B3130	口腔病理学		○	○			
	B3120	病理診断学実習		○	○	○		
	B2180	歯科理工学		○	○			
	B2190	歯科理工学実習		○	○	○		
	C3150	全部床義歯補綴学		○	○			
	C4010	歯科補綴学実習Ⅰ		○	○	○		
	C4020	部分床義歯補綴学		○	○			
	C4030	歯科補綴学実習Ⅱ		○	○	○		
	C4040	クランプアップリッジ補綴学		○	○			
	C3160	歯冠形成実習		○	○	○		
	C3170	保存修復学		○	○			
	C4060	保存修復学実習		○	○	○		
	C3180	小児歯科学		○	○			
	C4065	小児歯科学		○	○			
	C3190	歯科矯正学		○	○			
	C4080	歯科矯正学		○	○			
	C4095	小児・矯正基礎実習		○	○	○		
	C3200	口腔外科学		○	○			
	C4100	口腔外科学		○	○			
	C4110	歯科麻酔学		○	○			
	C4120	歯科放射線学		○	○			
	C3205	歯内治療学		○	○			
	C4130	歯内治療学		○	○			
	C4140	歯内治療学実習		○	○	○		
	C3210	歯周病学		○	○			
	C4150	歯周病学		○	○			
	C4160	歯周病学実習		○	○	○		
	C3220	内科学		○	○		○	
	C4105	口腔インプラント学		○	○		○	
	C3254	法医学		○	○			
	C4180	障がい者歯科学	○	○	○	○		
	C4185	高齢者歯科学		○	○			
	C4187	摂食嚥下療法		○	○			
	C3251	医療面接学		○	○			
	C3015	隣接医学			○	○		
	B2210	歯科医学研究 A		○	○		○	
	B3260	歯科医学研究 B		○	○		○	
	C4192	臨床予備演習	○	○	○		○	
	C4190	総合講義4年Ⅰ	○	○	○			
	C4200	総合講義4年Ⅱ	○	○	○	○		
	D5001	臨床講義	○	○	○			
	E6010	総合講義6年	○	○	○			
	E6050	総合講義演習	○	○	○		○	
	D5500	臨床実習	○	○	○	○	○	
	D5500	臨床実習	○	○	○	○	○	
合 計			13	96	96	17	27	3



2025年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧表

	学 科 目	授業 形態	履修 区分	履修数		学年	実務経験 職種	主な担当者 (実務経験のある教員)	実務経験と教育内容の関連性
				時間	単位				
専門	全部床義歯補綴学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉、鷹股哲也	歯及び顎口腔系の喪失に伴う形態変化と機能喪失により低下したQOLを可塑性補綴装置により改善させる欠損補綴学の講義をする。
	歯科補綴学実習Ⅰ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉、平井博一郎、谷内秀寿、篠原型武、秋山友里	可塑性補綴装置により改善させる有床義歯の基本的な臨床手技ならびに製作法の実習を行う。
	部分床義歯補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉、霜野良介	部分欠損患者の機能回復の手段となる部分床義歯を中心に学理と技法の講義を行う。
	歯科補綴学実習Ⅱ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉、平井博一郎、谷内秀寿、篠原型武、秋山友里	欠損歯列模型を用いて、部分欠損の補綴装置ならびに歯冠補綴装置を製作する術式について実習する。
	クラウンブリッジ補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉	クラウンブリッジによる機能回復法ならびにその術後管理に関する講義を行う。
	歯冠彫刻実習	実習	必修	60	2	3	歯科医師	金銅英二、亀山敦史、森 啓、小町谷美帆、小松佐保	歯冠修復物の形態的具備要件を臨床上適切、かつ効率的に適用するために必要な歯冠形態、咬合関係の回復に関する実習を行う。
	保存修復学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	亀山敦史、森 啓、小町谷美帆、小松佐保	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する講義を行う。
	保存修復学実習	実習	必修	90	3	4	歯科医師	亀山敦史、山本昭夫、森 啓、小町谷美帆、小松佐保、中村圭吾、宮國 茜、奥瀬稔之	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する実習を行う。
	小児歯科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志、中山 聡	小児期から成人に至る口腔機能について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯科矯正学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	川原良美	矯正歯科治療の意義と目的及び不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性とその意義について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	小児・矯正基礎実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志、川原良美、中山 聡、村岡理奈、中根 隆、楠本達也、丸山歩美	乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法や歯内療法、小児のブラッシング方法、保険装置の作製法、矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法について実習を行う。
	口腔外科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	栗原祐史、芳澤享子、佐藤 工	口腔外科領域の疾患（外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、囊嚢、顎関節疾患、唾液腺疾患、神経疾患、顎変形症）の原因・発生機序・症状および口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法について講義をする。
		講義	必修	60	2	4			
	歯科麻酔学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	澁谷 徹、谷山貴一	歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の基本、救急処置の基本、口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺、および医療事故防止のための安全管理について講義をする。
	歯科放射線学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	田口 明、杉野紀幸	歯科治療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について講義をする。
	歯内治療学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	増田宜子	歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髓疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4	歯科医師		
	歯内治療学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	増田宜子、小町谷美帆、尾崎友輝、中村 卓、小松佐保、石岡康明、中村圭吾、宮國 茜、岩崎拓也、奥瀬稔之、甲田調子	触蝕を指摘し、臨床応用できる基本的な技術をマネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより実習する。
	歯周病学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分葉々衣、中村 卓、石岡康明	歯周組織の形態的・機能的特性、歯周病の病因に基づいて歯周疾患の検査、診断、病態、分類、疫学について各種治療法と、予防法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4	歯科医師		
	歯周病学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分葉々衣、中村 卓、石岡康明、田井康寛、原 美音	歯周病学の病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術を模型により実習を行う。
	内科学	講義	必修	60	2	3	医師	佐藤 晶、川 茂幸	医師として実務経験のある教員が、内科的疾患の病態と治療に関する身体の総合的かつ内科的な疾患を歯科医師としての関わりについて講義をする。
	口腔インプラント学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、矢島安朝	インプラント治療を適切に説明し実践するために、インプラント治療の目的と意義、治療計画、埋入手術方法、装着後のメンテナンスまでの治療などについて講義を行う。
	障がい者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	高齢者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	全身疾患を有する高齢者への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	摂食嚥下療法学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	摂食嚥下機能障害を有する障害児・者ならびに高齢者への講義を行う。
	医療面接学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	森 啓	歯科臨床における医療面接について、倫理的配慮より適切に患者症状を聴取することができるようになるよう講義をする。
	隣接医学	講義	必修	30	1	3	医師	皮膚科：林 宏一、鈴木啓之 精神医学：石川絃一 耳鼻咽喉科：有賀あや子	それぞれの担当科で歯科口腔領域との関連疾患の診断、治療について講義をする。
	臨床実習	実習	必修	1575	35	5	歯科医師	吉成伸夫、山本昭夫、亀山敦史、増田宜子、黒岩昭弘、栗原祐史、芳澤享子、影山 徹、川原良美、大須賀直人、田口 明、内田啓一、配島弘之、澁谷 徹、樋口大輔	精巧なマネキンを使っているのシュミレーション実習、学生相互による診療行為、医局員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為を実施する。
合 計				3015	83				
省令で定める基準単位数					19				

2025年度 第2－3学年 年間授業予定表

《 前 期 》

月曜日				火曜日				水曜日				木曜日				金曜日			
	月	日	備考		月	日	備考		月	日	備考		月	日	備考		月	日	備考
①	4	14		①	4	15		①	4	16		①	4	17		①	4	18	
②		21		②		22		②		23		②		24		②		25	
③		28		③	5	7	水曜から	③		30		③	5	1		③	5	2	
④	5	12		④		13		④	5	14		④		8		④		9	
⑤		19		⑤		20		⑤		21		⑤		15		⑤		16	
⑥		26		⑥		27		⑥		28		⑥		22		⑥		23	
⑦	6	2		⑦	6	3		⑦	6	4		⑦		29		⑦		30	
⑧		9		⑧		10		⑧		11		⑧	6	5		⑧	6	6	
⑨		16		⑨		17		⑨		18		⑨		12		⑨		13	
⑩		23		⑩		24		⑩		25		⑩		19		⑩		20	
⑪		30		⑪	7	1		⑪	7	2		⑪		26		⑪		27	
⑫	7	7		⑫		8		⑫		9		⑫	7	3		⑫	7	4	
⑬		14		⑬		15		⑬		16		⑬		10		⑬		11	
⑭		28		⑭		22		⑭		23		⑭		17		⑭		18	
⑮	8	18		⑮	8	19		⑮	8	20		⑮		24		⑮		25	

《 後 期 》

月曜日				火曜日				水曜日				木曜日				金曜日			
	月	日	備考		月	日	備考		月	日	備考		月	日	備考		月	日	備考
①	9	8		①	9	9		①	9	10		①	9	11		①	9	12	
②		16	火曜から	②		22	月曜から	②		17		②		18		②		19	
③		29		③		30		③		24		③		25		③		26	
④	10	6		④	10	7		④	10	1		④	10	2		④	10	3	
⑤		15	水曜から	⑤		14		⑤		8		⑤		9		⑤		10	
⑥		20		⑥		21		⑥		22		⑥		16		⑥		17	
⑦		27		⑦		28		⑦		29		⑦		23		⑦		24	
⑧	11	6	木曜から	⑧	11	4		⑧	11	5		⑧		30		⑧		31	
⑨		10		⑨		11		⑨		12		⑨	11	13		⑨	11	7	
⑩		17		⑩		18		⑩		19		⑩		20		⑩		14	
⑪	12	1		⑪		25		⑪		26		⑪		27		⑪		21	
⑫		8		⑫	12	2		⑫	12	3		⑫	12	4		⑫		28	
⑬		15		⑬		9		⑬		10		⑬		11		⑬	12	5	
⑭		22		⑭		16		⑭		17		⑭		18		⑭		12	
⑮	1	5		⑮	1	6		⑮	1	7		⑮	1	8		⑮		19	

総 目 次

第 1 学年.....	1
第 2 学年.....	121
第 3 学年.....	223
第 1 ～ 3 学年年間予定.....	324
施設概要図.....	330

第 3 学 年

第 3 学年目次

口 腔 生 化 学 II	225
微生物学・口腔微生物学実習	229
歯 科 薬 理 学	234
薬理学・歯科薬理学実習	238
公 衆 衛 生 学 III	241
公 衆 衛 生 学 IV	243
公 衆 衛 生 学 実 習	245
病 理 学	249
口 腔 病 理 学	254
病 理 診 断 学 実 習	259
全 部 床 義 歯 補 綴 学	269
歯 冠 彫 刻 実 習	274
保 存 修 復 学	280
小 児 歯 科 学	288
歯 科 矯 正 学	292
口 腔 外 科 学	295
歯 内 治 療 学	299
歯 周 病 学	304
内 科 学	307
法 医 歯 科 学	310
医 療 面 接 学	314
隣接医学（耳鼻咽喉科学）	317
隣接医学（皮膚科学）	319
隣接医学（精神医学）	321
歯 科 医 学 研 究 B	323

口腔生化学Ⅱ (B3030)

第3学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：小林泰浩
准教授：小出雅則
非常勤講師：塚崎雅之

【一般目標（GIO）】

う蝕や歯周疾患を合理的に予防・治療するために、硬組織（歯、骨、軟骨）の形成、機能及び破壊の機構を説明する生化学の知識を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. カルシウム調節ホルモンを列挙し、それらの分泌調節と作用機構を説明できる。
2. 血清カルシウム調節機構を説明できる。
3. 硬組織代謝に関与するサイトカインを列挙し、その作用機構を説明できる。
4. 骨と歯の形態形成に関与するホメオボックス遺伝子の役割を説明できる。
5. 硬組織の石灰化機構に関する4つの学説を説明できる。
6. 骨芽細胞、軟骨細胞、象牙芽細胞、セメント芽細胞、エナメル芽細胞の分化とその調節機構を説明できる。
7. 骨組織の2つの形成様式を説明できる。
8. 破骨細胞の分化と機能を調節する因子を挙げ、その作用機構を説明できる。
9. う蝕の発症機構を説明し、予防を実施できる。
10. 歯周疾患の発症機序を説明し、予防を実施できる。

【教科書・参考書】

【教科書】 早川 太郎・須田 立雄・木崎 治俊監修：「口腔生化学（第6版）」（医歯薬出版）
【参考書】 前野 正夫・磯川 桂太郎：「はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学」（羊土社）
松本歯科大学大学院硬組織研究グループ：「硬組織研究ハンドブック」（松本歯科大学出版会）
村松 正実他：「ヴォート生化学」（東京化学同人）
山科 郁男監修：「レーニンジャーの新生化学」（廣川書店）
上代 淑人監訳：「ハーバー・生化学」（丸善株式会社）
岡田 宏他監修：「先端医療シリーズ歯科医学2・歯周病」（先端医学研究所）
下野 正基他編：「歯の移動の臨床バイオメカニクス」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書を中心に行うので教科書を持参すること。穴埋め式プリント配付するので、授業中に記入し、必ずファイルすること。各授業終了時に、Post Test を配付するので、自習すること。Weekly Test には一講義につき、4問出題する。正答率が悪い Weekly Test の問題に関しては、講義で解説する。

【フィードバック方法】

定期試験および Weekly Test 実施後、正解率が低い問題に対し解答例または記入例を学生イントラへ掲載するので確認すること。

【評価方法（Evaluation）】

Post Test と Weekly Test に出題した問題を主体とした定期試験を行う。評価は、Weekly Test（30%）、定期試験（70%）とする。講義期間中に講義プリントと Post Test の提出を求める。講義プリントと Post Test の記入および解答を採点し、不十分の場合、5点～20点減点する。これらを基本に総合的に評価する。

【注意事項】

講義プリントと Post Test を中心に必ず復習すること。また、講義での疑問点、復習により理解できない点などは、必

ず質問すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

予 習：シラバスで講義内容を確認し、教科書の講義範囲を読んでおくこと。(20分)

復 習：教科書・ノート・講義資料を参考にして、Post Test の問題を解くこと。(40分)

【オフィスアワー】

60分

月曜日～金曜日 8：30～8：55、16：30～18：00

実習館2階 総合歯科医学研究所

【授業日程】

口腔生化学Ⅱ				第3学年（前期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	4月18日(金) 1時限	オリエンテーション		学年主任
2	4月25日(金) 3時限	血清カルシウム調節機構(1) カルシウム調節ホルモン（活性型ビタミンD3、副甲状腺ホルモン、カルシトニン）の分泌調節と作用機構	1. カルシウム調節ホルモンを列挙できる。 2. カルシウム調節ホルモンの作用を説明できる。	小林 泰浩
3	5月2日(金) 3時限	血清カルシウム調節機構(2) カルシウム調節ホルモン（活性型ビタミンD3、副甲状腺ホルモン、カルシトニン）の相互作用	1. カルシウム調節ホルモンの相互作用を説明できる。 2. Ca 受容体の作用を説明できる。 3. PTHrP の作用を説明できる。	小林 泰浩
4	5月9日(金) 3時限	ホルモンのシグナル伝達 ペプチドホルモンとステロイドホルモンの受容体の構造とシグナル伝達機構	1. カルシウム調節ホルモンをペプチドホルモンとステロイドホルモンに分類できる。 2. ペプチドホルモンとステロイドホルモンの作用機構を説明できる。	小林 泰浩
5	5月16日(金) 3時限	硬組織の石灰化機構(1) ヒドロキシアパタイトの溶解度積と硬組織の石灰化	1. ヒドロキシアパタイトの溶解度積を説明できる。 2. 石灰化に関するニューマンの実験とその結果を説明できる。 3. 基質小胞性石灰化を図示して説明できる。	小林 泰浩
6	5月23日(金) 3時限	硬組織の石灰化機構(2) 硬組織の石灰化機構（アルカリホスファターゼ説、エビタキシー説、基質小胞説） 硬組織に含まれる蛋白質と石灰化における役割 石灰化におけるピロリン酸の役割	1. 硬組織の石灰化機構に関する4つの仮説を列挙できる。 2. アルカリホスファターゼ説、エビタキシー説、基質小胞説を説明できる。 3. アルカリホスファターゼによる結晶毒（ピロリン酸）除去作用を説明できる。	小林 泰浩
7	5月30日(金) 3時限	エナメル芽細胞と象牙芽細胞 エナメル芽細胞と象牙芽細胞の分化様式 エナメル質と象牙質の形成機序	1. エナメル芽細胞の分化過程を説明できる。 2. 象牙芽細胞の分化過程を説明できる。 3. エナメル質の2段階形成説を説明できる。 4. 象牙質リントンパク質の役割を説明できる。	小林 泰浩
8	6月6日(金) 3時限	軟骨形成と軟骨細胞 軟骨細胞の分化と機能の調節機構 軟骨性骨化と膜性骨化の様式	1. 軟骨細胞の特徴を列挙できる。 2. 軟骨の分化を誘導する転写因子を挙げることができる。 3. 軟骨性骨化と膜性骨化の様式の違いを説明できる。	小林 泰浩
9	6月13日(金) 3時限	骨形成と骨芽細胞 骨芽細胞の分化と機能の調節機構 転写因子 Runx 2 と骨誘導因子 BMP の役割	1. 骨芽細胞の分化過程を説明できる。 2. BMP の作用を説明できる。 3. Runx 2 の機能を説明できる。	小林 泰浩
10	6月20日(金) 3時限	骨吸収と破骨細胞 破骨細胞の分化と機能調節機構 骨吸収における骨芽細胞の役割	1. 破骨細胞の分化調節機構を説明できる。 2. RANKL と OPG の関係を説明できる。 3. 骨吸収因子を列挙できる。	小林 泰浩
11	6月27日(金) 3時限	骨と歯の形づくりの分子メカニズム 3つの体軸の決定と骨と歯の形成にかかわるホメオボックス遺伝子	1. 3つの体軸（基部先端軸、前後軸、腹背軸）を説明できる。 2. 外胚葉性頂堤の役割を説明できる。 3. ホメオボックス遺伝子の役割を説明できる。 4. 歯の形づくりの機序を述べることができる。	小林 泰浩

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
12	7月4日(金) 3時限	う蝕の発症機構 炎症と免疫 炎症反応の経過と炎症細胞の機能 ケミカルメディエーターの種類と作用 免疫反応と免疫担当細胞の機能	1. 解糖系と TCA サイクルの違いを説明できる。 2. 乳酸の産生機構を説明できる。 3. 菌体外多糖合成酵素の作用を説明できる。 4. プラーク内での乳酸産生機構を説明できる。 5. フッ素のう蝕抑制機構を説明できる。 6. 砂糖とう蝕の関連を説明できる。 7. 低う蝕性甘味料について説明できる。 8. 炎症の5大徴候を説明できる。 9. 炎症のケミカルメディエーターの作用を説明できる。 10. 免疫担当細胞の機能を説明できる。 11. 自然免疫と獲得免疫を説明できる。	小林 泰浩
13	7月11日(金) 3時限	歯周疾患の発症機構(1) 歯周組織の構造と役割 歯周疾患の病態 歯肉縁下の環境	1. 歯周組織の構造と役割を説明できる。 2. 歯周疾患の病態を説明できる。 3. 歯肉縁下環境を説明できる。	小出 雅則
14	7月18日(金) 3時限	歯周疾患の発症機構(2) 歯周疾患における歯周組織破壊機構 歯周疾患の予防 歯周組織再生	1. 歯周疾患における歯周組織の破壊機構を説明できる。 2. LPS の構造と作用を説明できる。 3. 歯周疾患における歯周組織の再生を説明できる。 4. 歯周疾患の予防法を実践できる。	小出 雅則
15	7月25日(金) 3時限	歯科と骨免疫	1. 自然免疫を説明できる。 2. 自然免疫の仕組みを説明できる。 3. 自然免疫の役割を説明できる。	塚崎 雅之

微生物学・口腔微生物学実習 (B3050)

第3学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：吉田明弘

助教：中村 卓

補助者：植野裕司、加藤慎也、根津英之、呉 暁沛、朱 夢雪

【一般目標（GIO）】

微生物学・免疫学の基本事項について、微生物および免疫学的現象を実際に観察することにより理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 各種染色法の原理を説明できる。
2. 細菌の形状による違いを説明できる
3. グラム陽性菌と陰性菌の違いを説明できる。
4. 口腔内ニッチと口腔細菌の多様性について説明できる。
5. 代表的な口腔細菌の特徴と病原性を説明できる。
6. 細菌検査法の原理について説明できる。
7. 薬剤感受性試験の原理について説明できる。
8. 古典的血清学反応の原理について説明できる。
9. ウイルスの基本的性状と病原性について説明できる。
10. 真菌の基本的性状と病原性について説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】川端重忠他編：「口腔微生物学・免疫学（第5版）」（医歯薬出版）

全国歯科衛生士教育協議会監修：「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 第2版」（医歯薬出版）

【参考書】石原和幸他編：「口腔微生物学（第7版）」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

実習前に実習項目の背景について講義を行う。さらにインストラクターによるデモンストレーションの後、班ごとに実習を行いレポートを作成する。

【フィードバック方法】

中間・定期試験実施後、正解率が低い問題に対し講義中に解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（30％）、中間試験（35％）、定期試験（35％）、実習レポート、実習態度により評価する。

欠席および遅刻、途中退席は認めない。

【注意事項】

1. 講義で学習した微生物学について、視覚的および体験的に学習する唯一の機会であるため、十分な予習をして実習に臨むこと。
2. レポート提出が要求されるので実習の都度データを整理し考察を行うこと。レポート未提出者は欠席とする。
3. 実習に使用した細菌は絶対に持ち出さない。手指が微生物で汚染されている可能性があるので実習終了後は必ず手指の消毒を十分に行うこと。
4. 実習室内での飲食は厳禁であり、汚染を防ぐため実習に必要な持ち物以外は持ち込まないこと。
5. 細菌学実習専用の白衣を準備し、実習室より外に持ち出さないこと。
6. 実習中は必ずマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを取り感染に注意した行動を取る。
7. 唾液や菌垢など、臨床試料の取扱いは十分注意すること。
8. 教科書、ノート、カラーペン、付箋を持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習を行う。分からないことばや概念は調べておく。
(45分)

復 習：講義ノート、配付資料を用いて復習し、教科書等を利用して各自知識を整理する。(45分)

【オフィスアワー】

火曜日（A、B）月曜日（C、D）16：30～17：30

本館5階東棟 微生物学講座研究室 要予約（akihiro.yoshida@mdu.ac.jp）

【授業日程】

微生物学・口腔微生物学実習					
				第3学年（前期）	
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	4月15日(火) 3時限	ガイダンス 実習を行う際の諸注意 無菌操作、顕微鏡の使用法 染色(1) 単染色（大腸菌、黄色ブドウ球菌）	バイオハザードについて説明できる。 感染に配慮して実習を行うことができる。 滅菌・消毒を実際に行うことができる。 無菌操作を実際に行うことができる。 単染色の理論を説明できる。 単染色を実際に行うことができる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
2	4月15日(火) 4時限	ガイダンス 実習を行う際の諸注意 無菌操作、顕微鏡の使用法 染色(1) 単染色（大腸菌、黄色ブドウ球菌）	バイオハザードについて説明できる。 感染に配慮して実習を行うことができる。 滅菌・消毒を実際に行うことができる。 無菌操作を実際に行うことができる。 単染色の理論を説明できる。 単染色を実際に行うことができる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
3	4月22日(火) 3時限	染色(2) グラム染色（大腸菌、ブドウ球菌、 レンサ球菌）	グラム染色法の理論を説明できる。 染色法の基礎的手技を習得しグラム染色を行うことができる。 細菌のサイズ、形態、配列を説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
4	4月22日(火) 4時限	染色(2) グラム染色（大腸菌、ブドウ球菌、 レンサ球菌）	グラム染色法の理論を説明できる。 染色法の基礎的手技を習得しグラム染色を行うことができる。 細菌のサイズ、形態、配列を説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
5	5月7日(水) 3時限	染色(3) 結核菌の抗酸性染色（チール・ネル ゼン法） ジフテリア菌の異染小体染色（ナイ セル法） 枯草菌の芽胞染色	抗酸菌の難染性を確認し、抗酸性染色の理論を説明できる。 ジフテリア菌の異染小体染色の理論を説明できる。 チール・ネルゼン法およびナイセル法を行うことができる。 芽胞染色と抗酸性染色の共通性と結核菌と芽胞の性状の共通性を説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
6	5月7日(水) 4時限	染色(3) 結核菌の抗酸性染色（チール・ネル ゼン法） ジフテリア菌の異染小体染色（ナイ セル法） 枯草菌の芽胞染色	抗酸菌の難染性を確認し、抗酸性染色の理論を説明できる。 ジフテリア菌の異染小体染色の理論を説明できる。 チール・ネルゼン法およびナイセル法を行うことができる。 芽胞染色と抗酸性染色の共通性と結核菌と芽胞の性状の共通性を説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
7	5月13日(火) 3時限	染色(4) スピロヘータと菌垢のギムザ染色 スピロヘータの陰性染色 荚膜染色 鞭毛染色 菌垢の生鮮標本の観察	ギムザ染色および陰性染色の原理を説明できる。 荚膜染色および鞭毛染色の原理を説明できる。 菌垢細菌中の運動性細菌について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
8	5月13日(火) 4時限	染色(4) スピロヘータと菌垢のギムザ染色 スピロヘータの陰性染色 荚膜染色 鞭毛染色 菌垢の生鮮標本の観察	ギムザ染色および陰性染色の原理を説明できる。 荚膜染色および鞭毛染色の原理を説明できる。 菌垢細菌中の運動性細菌について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
9	5月20日(火) 3時限	染色(5) 菌肉縁上および縁下菌垢、唾液のグ ラム染色 口腔細菌学(1) A. 選択培地を用いた菌肉縁上菌 垢、唾液からの口腔レンサ球菌の単 離同定(1)	菌肉縁上菌垢と菌肉縁下菌垢の構成細菌の違いについて説明できる。 唾液の構成細菌について説明できる。 レンサ球菌の選択培地の理論について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
10	5月20日(火) 4時限	染色(5) 菌肉縁上および縁下菌垢、唾液のグラム染色 口腔細菌学(1) A. 選択培地を用いた菌肉縁上菌垢、唾液からの口腔レンサ球菌の単離同定(1)	菌肉縁上菌垢と菌肉縁下菌垢の構成細菌の違いについて説明できる。 唾液の構成細菌について説明できる。 レンサ球菌の選択培地の理論について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
11	5月27日(火) 3時限	口腔細菌学(2) A. 菌肉縁上菌垢、唾液からのレンサ球菌の単離同定(2) (簡易同定、グラム染色)	口腔レンサ球菌のコロニーの性状について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
12	5月27日(火) 4時限	口腔細菌学(2) A. 菌肉縁上菌垢、唾液からのレンサ球菌の単離同定(2) (簡易同定、グラム染色)	口腔レンサ球菌のコロニーの性状について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
13	6月3日(火) 3時限	口腔細菌学(3) A. 菌肉縁上菌垢、唾液からのレンサ球菌の単離同定(3) B. 血液寒天培地を用いた菌肉縁下菌垢からの黒色色素産生菌の単離同定(1)	口腔レンサ球菌の付着能および酸産生能について説明できる。 黒色色素産生細菌の分離に関する理論を説明できる。 PCR法による細菌同定に関する理論を説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
14	6月3日(火) 4時限	口腔細菌学(3) A. 菌肉縁上菌垢、唾液からのレンサ球菌の単離同定(3) B. 血液寒天培地を用いた菌肉縁下菌垢からの黒色色素産生菌の単離同定(1)	口腔レンサ球菌の付着能および酸産生能について説明できる。 黒色色素産生細菌の分離に関する理論を説明できる。 PCR法による細菌同定に関する理論を説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
15	6月10日(火) 3時限	口腔細菌学(4) A. ミュータンスレンサ球菌のグルカン依存性凝集 B. 菌肉縁下菌垢からの黒色色素産生菌の単離同定(2) C. レンサ球菌の溶血(1)	ミュータンスレンサ球菌のグルカン依存性凝集について説明できる。 黒色色素産生菌のコロニーの性状について説明できる。 PCR法による細菌同定法の理論と適応について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
16	6月10日(火) 4時限	口腔細菌学(4) A. ミュータンスレンサ球菌のグルカン依存性凝集 B. 菌肉縁下菌垢からの黒色色素産生菌の単離同定(2) C. レンサ球菌の溶血(1)	ミュータンスレンサ球菌のグルカン依存性凝集について説明できる。 黒色色素産生菌のコロニーの性状について説明できる。 PCR法による細菌同定法の理論と適応について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
17	6月17日(火) 3時限	医科細菌学(1) C. レンサ球菌の溶血(2) (判定) D. 薬剤感受性試験(1) (ディスク法、液体希釈法) E. ブドウ球菌の性状検査(1)	薬剤感受性試験の種類と理論について説明できる。 レンサ球菌の溶血について説明できる。 黄色ブドウ球菌と表皮ブドウ球菌の生化学的性状について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
18	6月17日(火) 4時限	医科細菌学(1) C. レンサ球菌の溶血(2) (判定) D. 薬剤感受性試験(1) (ディスク法、液体希釈法) E. ブドウ球菌の性状検査(1)	薬剤感受性試験の種類と理論について説明できる。 レンサ球菌の溶血について説明できる。 黄色ブドウ球菌と表皮ブドウ球菌の生化学的性状について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
19	6月24日(火) 3時限	医科細菌学(2) D. 薬剤感受性試験(2) (MICの測定、MBCの準備) E. ブドウ球菌の性状検査(2) (耐塩性、コロニーの色、血漿凝固、マンニトール分解、タンパク質分解)	MICの測定方法について説明できる。 ブドウ球菌の菌種の違いと生化学的性状について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
20	6月24日(火) 4時限	医科細菌学(2) D. 薬剤感受性試験(2) (MICの測定、MBCの準備) E. ブドウ球菌の性状検査(2) (耐塩性、コロニーの色、血漿凝固、マンニトール分解、タンパク質分解)	MICの測定方法について説明できる。 ブドウ球菌の菌種の違いと生化学的性状について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
21	7月1日(火) 3時限	医科細菌学(3) D. 薬剤感受性試験(3) (MBC測定)	MBC測定の理論について説明できる。 抗菌ペプチドについて説明できる。 バクテリオシンについて説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
22	7月1日(火) 4時限	医科細菌学(3) D. 薬剤感受性試験(3) (MBC測定)	MBC測定の理論について説明できる。 抗菌ペプチドについて説明できる。 バクテリオシンについて説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
23	7月8日(火) 3時限	医科細菌学(4) 免疫学(1) 凝集反応 ゲル内沈降反応	抗菌ペプチド／バクテリオシンの抗菌効果について説明できる。 特異抗体による凝集の理論について説明できる。 可溶性抗原の特異抗体によるゲル内沈降反応（オクタロニー法）について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
24	7月8日(火) 4時限	医科細菌学(4) 免疫学(1) 凝集反応 ゲル内沈降反応	抗菌ペプチド／バクテリオシンの抗菌効果について説明できる。 特異抗体による凝集の理論について説明できる。 可溶性抗原の特異抗体によるゲル内沈降反応（オクタロニー法）について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
25	7月15日(火) 3時限	ウイルス学 バクテリオファージのプラーク（溶菌斑）形成	バクテリオファージの性状について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
26	7月15日(火) 4時限	ウイルス学 バクテリオファージのプラーク（溶菌斑）形成	バクテリオファージの性状について説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
27	7月22日(火) 3時限	バクテリオファージのプラーク観察 医真菌学 Candida albicansの形態観察	バクテリオファージの性状について説明できる。 真菌と細菌の構造、生理の違いを説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
28	7月22日(火) 4時限	バクテリオファージのプラーク観察 医真菌学 Candida albicansの形態観察	バクテリオファージの性状について説明できる。 真菌と細菌の構造、生理の違いを説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
29	8月19日(火) 3時限	免疫学(2) 補体結合反応（免疫溶血反応）	抗原抗体複合体と補体の結合、それに続く補体の活性化（カスケード反応）の関連を説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪
30	8月19日(火) 4時限	免疫学(2) 補体結合反応（免疫溶血反応）	抗原抗体複合体と補体の結合、それに続く補体の活性化（カスケード反応）の関連を説明できる。	吉田 明弘 中村 卓	植野裕司 加藤慎也 根津英之 呉 暁沛 朱 夢雪

歯科薬理学 (B3060)

第3学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：荒 敏昭
特任教授：石川 紘一

【一般目標（GIO）】

歯科臨床に関わる薬物を理解し、多職種連携ができる歯科医師となるために、各種薬物に関する基本的知識を身につける。

【行動目標（SBOs）】

- 次に示す薬物1)～13)に関して、薬物の作用に関する基本的事項(①～⑤)を説明できる。
 - ①薬物の薬理作用および適用を説明できる。
 - ②薬物の作用機序を説明できる。
 - ③薬物の副作用、有害作用を説明できる。
 - ④薬物副作用の予防に関する基本的事項を説明できる。
 - ⑤薬物相互作用による影響を説明できる。
 - 1) 中枢神経系に作用する薬物
 - 2) 自律神経系に作用する薬物
 - 3) 消化器系・呼吸器系・循環器系に作用する薬物
 - 4) 腎臓に作用する薬物
 - 5) 代謝系に作用する薬物
 - 6) 免疫系に作用する薬物
 - 7) 運動器系に作用する薬物
 - 8) 麻酔に使用する薬物
 - 9) 疼痛治療に使用する薬物
 - 10) 炎症性疾患治療に使用する薬物
 - 11) 感染症の治療および予防に使用する薬物
 - 12) 悪性腫瘍の治療に使用する薬物
 - 13) 口腔内療法に用いる薬物
 - 14) 漢方薬
 - 15) 緊急時に用いる薬物
- 薬害について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 鈴木邦明監修・戸荻彰史・青木和弘・兼松 隆・筑波隆幸・八田光世編：「現代歯科薬理学（第7版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕 大浦 清・戸刈彰史監修、笠原正貴・兼松 隆・三枝 禎・十川紀夫・高橋俊介・八田光世編：「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学（第3版）」（永末書店）
渡邊直樹監訳：「ラング・デール薬理学（原書8版）」（丸善出版）
田中千賀子・加藤隆一・成宮 周編：「NEW 薬理学（改訂第7版）」（南江堂）

【教育（学習）方略（LS）】

- 教科書・参考書をまとめた講義資料を主体として講義を進める。
- 薬物についての理解を深めるために、薬物の作用機序について教科書をまとめるように指導する。
- 授業内容の理解度を Weekly Test で確認する。

【フィードバック方法】

定期試験や演習課題実施後、正解率が低い問題に対して、解答例を教室掲示板等に掲載、または補講等で解説する。

【評価方法 (Evaluation)】

定期試験 (70%)、Weekly Test (30%)

【注意事項】

生理学、内科学など関連科目の知識が必要となるため、各自で復習しておくこと。

【準備学習時間 (予習・復習)】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習を行うこと。(15分)

1) 各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書を利用して各自知識をまとめること。(45分)

1) 授業の理解を図るため、必ず復習すること。

2) ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。

【オフィスアワー】

随時 実習館 3 階 薬理学講座教授室

toshiaki.ara@mdu.ac.jp

【授業日程】

歯科薬理学 第3学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月15日(火) 1時限	局所麻酔薬	1. 疼痛の発生機構と痛覚伝導路について理解する。 2. 局所麻酔薬の構造による分類を理解する。 3. 局所麻酔薬の作用機序を理解する。 4. 局所麻酔薬に血管収縮薬を添加する意義を理解する。 5. 局所麻酔薬の副作用を理解する。	荒 敏昭
2	4月17日(木) 1時限	中枢神経に作用する薬物(1) 意識に影響する薬物	1. 全身麻酔薬の分類および作用機序を理解する。 2. 睡眠薬の分類および作用機序を理解する。	石川 絃一
3	4月22日(火) 1時限	生体内生理活性物質	1. 生体内生理活性物質の分類を理解する。 2. アラキドン酸カスケードおよびその作用を理解する。 3. レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系およびその作用を理解する。	荒 敏昭
4	4月24日(木) 1時限	中枢神経に作用する薬物(2) 運動に影響する薬物	1. 抗けいれん薬の分類および作用機序を理解する。 2. パーキンソン病の病態を理解する。 3. パーキンソン病治療薬の作用機序、副作用を理解する。	石川 絃一
5	5月1日(木) 1時限	抗炎症薬(1)	酸性非ステロイド性抗炎症薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。	荒 敏昭
6	5月7日(水) 1時限	抗炎症薬(2)	1. ステロイド性抗炎症薬の作用機序、薬理作用、副作用を理解する。 2. ステロイド性抗炎症薬の適応症を理解する。	荒 敏昭
7	5月8日(木) 1時限	中枢神経に作用する薬物(3) 精神に影響する薬物	1. 抗不安薬の分類および作用機序、副作用を理解する。 2. うつ病の病態および抗うつ薬の分類、作用機序、副作用を理解する。 3. 統合失調症の病態および向精神病薬の分類、作用機序、副作用を理解する。	石川 絃一
8	5月13日(火) 1時限	解熱鎮痛薬	アセトアミノフェンおよびピリン系解熱鎮痛薬の薬理作用、副作用を理解する。	荒 敏昭
9	5月15日(木) 1時限	麻薬性鎮痛薬	1. 麻薬性鎮静薬の作用と副作用を理解する。 2. 痛覚伝導路と下行抑制系の関連を理解する。	荒 敏昭
10	5月20日(火) 1時限	血液および造血系に作用する薬物(1)	1. 血液凝固系および線溶系を理解する。 2. 止血薬の分類および使用法を理解する。 3. 抗血小板薬の種類および作用機序、適応症を理解する。 4. 止血薬の分類および使用法を理解する。	荒 敏昭
11	5月22日(木) 1時限	血液および造血系に作用する薬物(2)	1. 抗凝固薬の種類および作用機序、適応症を理解する。 2. 血栓溶解薬の分類および使用法を理解する。 3. 貧血の分類および貧血治療薬を理解する。	荒 敏昭
12	5月27日(火) 1時限	循環器系に作用する薬物(1)	1. 血圧を決定する要因を理解する。 2. 高血圧治療薬の分類および作用点を理解する。	荒 敏昭
13	5月29日(木) 1時限	循環器系に作用する薬物(2)	利尿薬の種類および作用機序、副作用、適応症を理解する。	荒 敏昭
14	6月3日(火) 1時限	循環器系に作用する薬物(3)	1. 高血圧症の病態および降圧薬の作用機序、副作用、適応症を理解する。 2. 心不全の病態および心不全治療薬の作用機序、副作用、適応症を理解する。	荒 敏昭

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	6月5日(木) 1時限	循環器系に作用する薬物(4)	1. 狭心症の病態および狭心症治療薬の種類、作用機序、副作用を理解する。 2. 抗不整脈薬の種類および作用機序、副作用、適応症を理解する。	荒 敏昭
16	6月10日(火) 1時限	呼吸器系・消化器系に作用する薬物	1. 気管支喘息の病態および気管支喘息治療薬の作用機序、副作用を理解する。 2. 気管支喘息を悪化させる薬物を理解する。 3. 消化性潰瘍の病態および消化性潰瘍治療薬の作用機序、副作用を理解する。 4. 消化性潰瘍を悪化させる薬物を理解する。	荒 敏昭
17	6月12日(木) 1時限	唾液分泌に影響する薬物	1. 口腔乾燥症を起こす薬物を理解する。 2. 口腔乾燥症の治療薬を理解する。	荒 敏昭
18	6月17日(火) 1時限	抗感染症薬(1) 抗菌薬	1. 抗菌薬の分類および作用機序、副作用を理解する。 2. 抗菌スペクトルおよび PK/PD 理論を理解する。	荒 敏昭
19	6月19日(木) 1時限	抗感染症薬(2) 抗ウイルス薬、抗真菌薬	1. 抗ウイルス薬の分類および作用機序、副作用を理解する。 2. 抗真菌薬の分類および作用機序、副作用を理解する。	荒 敏昭
20	6月24日(火) 1時限	消毒薬	消毒薬の種類および使用法を理解する。	荒 敏昭
21	6月26日(木) 1時限	口腔内に使用する薬物	1. 重金属拮抗薬の使用法を理解する。 2. 口腔粘膜疾患・歯周疾患・歯髄疾患に使用する薬物を理解する。	荒 敏昭
22	7月1日(火) 1時限	抗悪性腫瘍薬(1)	抗悪性腫瘍薬の作用機序と副作用を理解する。	荒 敏昭
23	7月3日(木) 1時限	抗悪性腫瘍薬(2)	1. 抗悪性腫瘍薬の作用機序と副作用を理解する。 2. 癌性疼痛に対する除痛法を理解する。	荒 敏昭
24	7月8日(火) 1時限	内分泌系に作用する薬物(1)	1. 糖尿病の病態を理解する。 2. 糖尿病治療薬の分類および作用機序を理解する。	荒 敏昭
25	7月10日(木) 1時限	内分泌系に作用する薬物(2)	1. 脂質異常症治療薬の分類および作用機序を理解する。 2. 骨粗鬆症治療薬の分類および作用機序を理解する。	荒 敏昭
26	7月15日(火) 1時限	救急用薬剤(1)	1. 全身の偶発症の発症メカニズムを理解する。 2. 全身の偶発症に対する救急薬剤の選択理由を理解する。 3. 救急時に使用される薬物を理解する。	荒 敏昭
27	7月17日(木) 1時限	救急用薬剤(2)	1. 全身の偶発症の発症メカニズムを理解する。 2. 全身の偶発症に対する救急薬剤の選択理由を理解する。 3. 救急時に使用される薬物を理解する。	荒 敏昭
28	7月22日(火) 1時限	薬害	代表的薬物および薬害が起こる背景を理解する。	石川 紘一
29	7月24日(木) 1時限	免疫機能に影響する薬物	1. 免疫反応を理解する。 2. 免疫系に影響する薬物の作用を理解する。 3. 抗アレルギー薬の種類と作用機序を理解する。	荒 敏昭
30	8月19日(火) 1時限	漢方薬	漢方薬の薬理作用と副作用を理解する。	荒 敏昭

薬理学・歯科薬理学実習 (B3070)

第3学年（前期）
実習必修

【担当者】

教授：荒 敏昭
講師：喜多村洋幸
助手：洪 鉦綺

【一般目標（GIO）】

講義で学習した薬物を実験動物に投与し、生理機能あるいは病態の変化を観察することにより、薬物作用の理解を深める。

【行動目標（SBOs）】

1. 薬物による生理機能あるいは病態の変化から、使用薬物の薬理作用、作用機序、相互作用および副作用について説明できる。
2. 予想と違う実験結果が得られた場合、その原因について考察することができる。
3. 実習結果を報告書にまとめることができる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕本講座作成実習書「薬理学・歯科薬理学実習書2025」
〔参考書〕鈴木邦明監修、戸茆彰史・青木和弘・兼松 隆・筑波隆幸・八田光世編「現代歯科薬理学（第7版）」
（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

実習レポートおよび口頭試問などにより、使用した薬物の作用およびその作用機序に関する理解を深める。

【フィードバック方法】

レポート内容に不十分な点が認められた場合には実習結果の検討および解説の回に解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験、実習レポート、実習態度により評価する。

【注意事項】

実習書に注意事項を記載しているため確認すること。実習レポートを未提出の場合には定期試験の受験資格を喪失する。

【準備学習時間（予習・復習）】

120分

予 習：実習書を事前に読んで、実習内容と使用薬物を理解したうえで、実習に臨むこと。（20分）

復 習：実習ごとにレポートを作成すること。（100分）

- 1）レポート作成時には教科書の該当箇所をよく学習すること。
- 2）十分に理解できない点、興味を持った事項については、参考書などを利用して能動的に学習を行うこと

【オフィスアワー】

随時 実習館3階 薬理学講座教授室
toshiaki.ara@mdu.ac.jp

【授業日程】

薬理学・歯科薬理学実習				第3学年（前期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	4月14日(月) 3時限	実習全般に対する説明	薬理学実習の主旨および目的を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
2	4月14日(月) 4時限			
3	4月21日(月) 3時限	プロビット法による TD_{50} の算出	50%中毒量（ TD_{50} ）を算出するとともに、50%致死量（ LD_{50} ）と50%有効量（ ED_{50} ）を算出する意義を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
4	4月21日(月) 4時限			
5	4月28日(月) 3時限	吸入麻酔薬の作用・薬物併用による協力作用	吸入麻酔薬の導入時間・持続時間と血液 / ガス分配係数の関係を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
6	4月28日(月) 4時限			
7	5月12日(月) 3時限	局所麻酔薬の強度および持続時間の比較	シミュレーターを用いて局所麻酔薬の脂溶性と強度の関係および血管収縮薬を添加する意義を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
8	5月12日(月) 4時限			
9	5月19日(月) 3時限	腸管平滑筋に作用する薬物	シミュレーターを用いて腸管平滑筋に対する薬物の作用を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
10	5月19日(月) 4時限			
11	5月26日(月) 3時限	抗炎症薬の作用の検討	抗炎症薬の作用機序と薬理作用、副作用を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
12	5月26日(月) 4時限			
13	6月2日(月) 3時限	局所性止血薬・抗凝固薬の作用	局所性止血薬および抗凝固薬の作用機序、薬理作用を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
14	6月2日(月) 4時限			
15	6月9日(月) 3時限	実習結果の検討および解説(1)	50%中毒量、止血薬・抗凝固薬、抗炎症薬、腸管平滑筋作用薬、シミュレーションの実習結果を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
16	6月9日(月) 4時限			
17	6月16日(月) 3時限	骨格筋に作用する薬物	シミュレーターを用いて筋弛緩薬の作用を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
18	6月16日(月) 4時限			
19	6月23日(月) 3時限	循環器系に作用する薬物	シミュレーターを用いて循環器系に対する自律神経作用薬の作用を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
20	6月23日(月) 4時限			

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
21	6月30日(月) 3時限	実習結果の検討および解説(2)	局所麻酔薬、吸入麻酔薬の実習結果を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
22	6月30日(月) 4時限			
23	7月7日(月) 3時限	薬物動態シミュレーション(1)	シミュレーターを用いて薬物動態に影響を与える要因を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
24	7月7日(月) 4時限			
25	7月14日(月) 3時限	薬物動態シミュレーション(2)	シミュレーターを用いて薬物動態に影響を与える要因を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
26	7月14日(月) 4時限			
27	7月28日(月) 3時限	実習結果のデータ解析	データ解析および統計方法を理解する。	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
28	7月28日(月) 4時限			
29	8月18日(月) 3時限	実習まとめ	実習結果の再確認	荒 敏昭 喜多村洋幸 洪 鉦綺
30	8月18日(月) 4時限			

公衆衛生学Ⅲ (B3090)

第3学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：山賀孝之

【一般目標（GIO）】

地域やライフステージに応じた保健活動を口腔領域まで掘り下げて理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 地域歯科保健活動の展開について説明できる。
2. 母子歯科保健活動について説明できる。
3. 学校歯科保健活動について説明できる。
4. 成人歯科保健活動について説明できる。
5. 産業歯科保健活動について説明できる。
6. 高齢者歯科保健活動について説明できる。
7. 障害児・者の口腔保健について説明できる。
8. 国際口腔保健について説明できる。
9. 災害時の口腔保健について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 安井利一、山下喜久他編：「口腔保健・予防歯科学」（医歯薬出版、2023年）

〔参考書〕 安井利一他編：「スタンダード衛生・公衆衛生（第18版）」（学建書院、2023年）

【教育（学習）方略（LS）】

行動目標とキーワードを理解できるよう、講義資料と教科書を用いた講義を行う。

【フィードバック方法】

試験実施後、正答や評価に対する疑問や質問がある場合は、試験実施後3日以内に担当教員にその旨申し出ること。必要に応じてQ&A形式でイントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

講義出席状況、Weekly Test、定期試験などを総合的に評価する。

Weekly Testは20%を評価に組入れる。

【注意事項】

講義の遅刻、欠席は減点評価とするので注意すること。

教科書は必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：イントラで事前周知予定の講義資料および対応する教科書の範囲を熟読する。（30分）

復 習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。（60分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 16:30～18:00

本館1階東棟 公衆衛生学講座研究室

【授業日程】

公衆衛生学Ⅲ 第3学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月17日(木) 3時限	地域保健序論	地域保健活動の展開について説明できる。	山賀 孝之
2	4月24日(木) 3時限	地域歯科保健序論	地域歯科保健活動の展開について説明できる。	山賀 孝之
3	5月1日(木) 3時限	母子保健	母子保健活動について説明できる。	山賀 孝之
4	5月8日(木) 3時限	母子歯科保健	母子歯科保健活動について説明できる。	山賀 孝之
5	5月15日(木) 3時限	学校保健	学校保健活動について説明できる。	山賀 孝之
6	5月22日(木) 3時限	学校歯科保健	学校歯科保健活動について説明できる。	山賀 孝之
7	5月29日(木) 3時限	成人・高齢者保健	成人・高齢者の保健活動について説明できる。	山賀 孝之
8	6月5日(木) 3時限	成人・高齢者歯科保健	成人・高齢者の歯科保健活動について説明できる。	山賀 孝之
9	6月12日(木) 3時限	産業保健	産業保健活動について説明できる。	山賀 孝之
10	6月19日(木) 3時限	産業歯科保健	産業歯科保健活動について説明できる。	山賀 孝之
11	6月26日(木) 3時限	精神保健、障害児・者の口腔保健	精神保健、障害児・者の口腔保健について説明できる。	山賀 孝之
12	7月3日(木) 3時限	国際口腔保健・災害時の口腔保健	国際口腔保健（世界の現状、日本の役割）について説明できる。 災害時の口腔保健について説明できる。	山賀 孝之
13	7月10日(木) 3時限	社会保障①	わが国の社会保障制度のしくみの基本的なことを説明できる。	山賀 孝之
14	7月17日(木) 3時限	社会保障②	わが国の社会保障制度のしくみの基本的なことを説明できる。	山賀 孝之
15	7月24日(木) 3時限	まとめ 補完		山賀 孝之

公衆衛生学Ⅳ (C3095)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

特任教授：牧 茂

【一般目標（GIO）】

歯科医師として適切な歯科保健・医療・福祉を实践するために、社会と歯科医学との関係についての知識を習得することを目標とする。

【行動目標（SBOs）】

1. 患者の権利・自己決定権について説明できる。
2. 医の倫理について概説できる。
3. 医事法制について説明できる。
4. 医療安全について説明できる。
5. 社会保障制度について説明できる。
6. 医療経済について説明できる。

【教科書・参考書】

〔実習書〕 矢ヶ崎雅・牧 茂：「社会歯科学 2025改訂版」

〔参考書〕 医療情報科学研究所編「公衆衛生がみえる2024-2025」（メディックメディア2024年）

尾崎哲則他編：「スタンダード社会歯科学（第8版）」（学建書院2023年）

社会歯科学会：「歯科六法コンメンタール」（ヒョーロン）

【教育（学習）方略（LS）】

行動目標とキーワードを理解できるよう、プロジェクターと実習書を用いた講義を行う。

【フィードバック方法】

試験実施後、正答や評価に対する疑問、質問がある場合は、試験実施後3日以内に担当教員にその旨を申し出ること。

その後 Q&A 形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

講義の出席状況（10%）、Weekly Test（30%）、定期試験（60%）などを総合的に評価する。

【注意事項】

講義の遅刻、欠席は減点評価とするので注意すること。

教科書は必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスおよび事前連絡による教科書の該当範囲を熟読する。（30分）

復 習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。（60分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 16：30～18：00

本館1階東棟 公衆衛生学講座研究室

【授業日程】

公衆衛生学Ⅳ 第3学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	9月12日(金) 3時限	社会歯科学概論 社会歯科学とは	1. 社会歯科学の定義、社会歯科学の内容と課題について説明できる。 2. 健康の概念を説明できる。口腔と全身の健康との関連を説明できる。 3. 疾病・障害の概念、種類および予防を説明できる。	牧 茂
2	9月19日(金) 3時限	歯科医療と倫理 医の倫理と歯科医師	1. 患者の権利に関する規定について説明できる。 2. 医の倫理を理解する。 3. 研究倫理が説明できる。	牧 茂
3	9月26日(金) 3時限	歯科医師と患者・家族との関係 患者・障害者の心理的問題と社会的問題	1. 患者・家族との関係について説明できる。 2. 患者・障害者の心理的問題と社会的問題について説明できる。 3. インフォームド・コンセントが説明できる。	牧 茂
4	10月3日(金) 3時限	歯科医療機関の開設と管理保健・医療・福祉関係法規(1)日本国憲法と歯科保健・医療・福祉	1. 日本国憲法と歯科保健・医療・福祉の関係について説明できる。 2. 医療法について説明できる。	牧 茂
5	10月10日(金) 3時限	歯科医療機関の開設と管理保健・医療・福祉関係法規(2)医療法	1. 医療法について説明できる。	牧 茂
6	10月17日(金) 3時限	保健・医療・福祉関係法規(3)歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法	1. 歯科医師法について説明できる。 2. 歯科衛生士法、歯科技工士法について説明できる。	牧 茂
7	10月24日(金) 3時限	保健・医療・福祉関係法規(4)医師法、薬剤師法、保助看法、医薬品医療機器等法	1. 各法規について内容が理解できる。 2. それぞれの業種を理解し連携できる。	牧 茂
8	10月31日(金) 3時限	診療情報・診療記録 EBM	1. 診療録・診療情報の記録と管理について理解し説明できる。 2. EBM（根拠に基づく医療）について説明できる。	牧 茂
9	11月7日(金) 3時限	歯科医療の質と安全の確保	1. 歯科医療の質の確保について概説できる。 2. 医療事故の防止について説明できる。	牧 茂
10	11月14日(金) 3時限	院内感染防止対策 医療廃棄物処理 医療裁判	1. 院内感染予防対策について説明できる。 2. 医療廃棄物処理について説明できる。 3. 医療裁判について説明できる。	牧 茂
11	11月21日(金) 3時限	チーム医療	1. 医療機関内でのチームワークについて説明できる。 2. 地域医療でのチームワークについて説明できる。	牧 茂
12	11月28日(金) 3時限	保健・医療・福祉の仕組み(1) 社会保障制度	1. 社会保障制度について説明できる。	牧 茂
13	12月5日(金) 3時限	保健・医療・福祉の仕組み(2) 医療保険制度と医療経済	1. 医療保険制度について説明できる。 2. 国民医療費など医療経済について説明できる。	牧 茂
14	12月12日(金) 3時限	保健・医療・福祉の仕組み(3) 介護保険制度	1. 介護保険制度について説明できる。 2. 地域連携医療に携わる職種を理解する。	牧 茂
15	12月19日(金) 3時限	まとめ		牧 茂

公衆衛生学実習 (B3100)

第3学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：山賀孝之
講師：定岡 直

【一般目標（GIO）】

衛生学・口腔衛生学の知識の理解を深めるとともに、問題解決に必要な態度と能力を養う。

【行動目標（SBOs）】

1. 環境測定についての基本術式を会得し、環境の生体影響を説明できる。
2. 菌口清掃状態についての評価指標と各種刷掃方法を説明できる。
3. 齲蝕の評価指標について説明できる。
4. 齲蝕活動性試験について説明できる。
5. 齲蝕誘発性食品について、その成分と評価法を説明できる。
6. 齲蝕予防のためのフッ化物応用法を説明できる。
7. 歯周疾患の評価指標について説明できる。
8. 歯科保健医療上必要と思われるデータ処理ができる。

【教科書・参考書】

【教科書】実習要綱を配付する。

安井利一、山下喜久他編：「口腔保健・予防歯科学（第2版）」（医歯薬出版、2023年）

安井利一他編：「スタンダード衛生・公衆衛生（第18版）」（学建書院、2023年）

【参考書】尾崎哲則他編：「スタンダード社会歯科学（第8版）」（学建書院、2023年）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 実習課題について事前レポートを作成し、内容を理解の上実習に臨むこと。
2. 示説時に実習内容を再度確認すること。
3. 終了時にレポートを提出、実習要綱の実技等の検印を受けること。
4. 終了時に口頭試問を受けること。
5. 実習に関する連絡は学生イントラの掲示板で行うので、常に確認すること。

【フィードバック方法】

試験実施後、正答や評価に対する疑問や質問がある場合は、試験実施後3日以内に担当教員にその旨申し出ること。その後Q&A形式で学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test 成績（30％）・定期試験結果に出席状況、実習態度、レポート等を総合して評価する。欠席した場合は該当項目未習得と評価するので留意すること。

【注意事項】

全ての項目を修了すること。疾病、身内の不幸等やむを得ない欠席は必要な手続きを取ること。なお出欠席は2コマ単位とする。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスおよび事前連絡による教科書の該当範囲を熟読する。（30分）

復 習：講義ノートの整理。暗記項目は何回も繰り返して完全に暗記する。（60分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時

本館1階東棟 公衆衛生学講座研究室

【授業日程】

公衆衛生学実習				第3学年（後期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	9月9日(火) 3時限	オリエンテーション① 衛生学、口腔衛生学（前期）の復習	公衆衛生学の対象と目的を理解して説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
2	9月9日(火) 4時限	オリエンテーション② 実習の準備と方法の説明	公衆衛生学実習の服装、準備の確認ができる。	山賀 孝之 定岡 直
3	9月22日(月) 3時限	生活環境と疾病コントロール（1） 大気環境	温熱測定機器と温熱指標を説明できる。 空気成分と生体反応を説明できる。 大気環境の健康への影響を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
4	9月22日(月) 4時限	生活環境と疾病コントロール（1） 大気環境	温熱測定機器と温熱指標を説明できる。 空気成分と生体反応を説明できる。 大気環境の健康への影響を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
5	9月30日(火) 3時限	生活環境と疾病コントロール（2） 生活環境の水質検査	上水道の水質基準や消毒について説明できる。 環境基準と環境汚染を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
6	9月30日(火) 4時限	生活環境と疾病コントロール（2） 生活環境の水質検査	上水道の水質基準や消毒について説明できる。 環境基準と環境汚染を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
7	10月7日(火) 3時限	生活環境と疾病コントロール（3） 下水処理場見学 諏訪湖水質検査	下水処理法を説明できる。 水質に係る環境保全の意義を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
8	10月7日(火) 4時限	生活環境と疾病コントロール（3） 下水処理場見学 諏訪湖水質検査	下水処理法を説明できる。 水質に係る環境保全の意義を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
9	10月14日(火) 3時限	口腔疾患予防（1） 集団口腔診査法の基本 プラークコントロール	集団を対象とした口腔診査法について説明できる。 菌垢染色剤を説明できる。 PCRを説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
10	10月14日(火) 4時限	口腔疾患予防（1） 集団口腔診査法の基本 プラークコントロール	集団を対象とした口腔診査法について説明できる。 菌垢染色剤を説明できる。 PCRを説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
11	10月21日(火) 3時限	口腔疾患予防（2） 菌口腔清掃状態の指標	OHI および OHI-S、PHP を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
12	10月21日(火) 4時限	口腔疾患予防（2） 菌口腔清掃状態の指標	OHI および OHI-S、PHP を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
13	10月28日(火) 3時限	口腔疾患予防（3） 齲蝕、歯周疾患の疫学的指標（講義）	齲蝕、歯周疾患の疫学的指標を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
14	10月28日(火) 4時限	口腔疾患予防（3） 齲蝕、歯周疾患の疫学的指標（講義）	齲蝕、歯周疾患の疫学的指標を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
15	11月4日(火) 3時限	口腔疾患予防（4） 齲蝕の指標	齲蝕の疫学的指標を説明できる。 学校歯科保健を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
16	11月4日(火) 4時限	口腔疾患予防（4） 齲蝕の指標	齲蝕の疫学的指標を説明できる。 学校歯科保健を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
17	11月11日(火) 3時限	口腔疾患予防（5） 齲蝕活動性試験の実施と判定 嗜好飲料の糖濃度と pH 測定	各種齲蝕活動性試験を説明できる。 砂糖、代用甘味料、齲蝕誘発能を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
18	11月11日(火) 4時限	口腔疾患予防（5） 齲蝕活動性試験の実施と判定 嗜好飲料の糖濃度と pH 測定	各種齲蝕活動性試験を説明できる。 砂糖、代用甘味料、齲蝕誘発能を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
19	11月18日(火) 3時限	口腔疾患予防(6) 齲蝕リスク評価、齲蝕予防のまとめ	齲蝕リスクレーダーチャートの作成、評価、それを用いての保健指導ができる。	山賀 孝之 定岡 直
20	11月18日(火) 4時限	口腔疾患予防(6) 齲蝕リスク評価、齲蝕予防のまとめ	齲蝕リスクレーダーチャートの作成、評価、それを用いての保健指導ができる。	山賀 孝之 定岡 直
21	11月25日(火) 3時限	口腔疾患予防(7) フッ化物局所応用法	フッ化物局所応用法を説明できる。 フッ化物の齲蝕予防機序を説明できる。 フッ素濃度を理解し、計算ができる。	山賀 孝之 定岡 直
22	11月25日(火) 4時限	口腔疾患予防(7) フッ化物局所応用法	フッ化物局所応用法を説明できる。 フッ化物の齲蝕予防機序を説明できる。 フッ素濃度を理解し、計算ができる。	山賀 孝之 定岡 直
23	12月2日(火) 3時限	口腔疾患予防(8) 歯周疾患の指標	PMA 指数、その他の歯肉炎指数を説明できる。 CPI、その他の歯周炎指数を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
24	12月2日(火) 4時限	口腔疾患予防(8) 歯周疾患の指標	PMA 指数、その他の歯肉炎指数を説明できる。 CPI、その他の歯周炎指数を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
25	12月9日(火) 3時限	疫学と衛生統計(1) 統計の基本的知識について学ぶ。 衛生統計の基本	調査方法と統計的分析法を説明できる。 点推定、区間推定を説明できる。 標準誤差を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
26	12月9日(火) 4時限	疫学と衛生統計(1) 統計の基本的知識について学ぶ。 衛生統計の基本	調査方法と統計的分析法を説明できる。 点推定、区間推定を説明できる。 標準誤差を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
27	12月16日(火) 3時限	疫学と衛生統計(2) 齲蝕、歯周疾患の疫学	疾病と原因の関係を説明できる。 集団保健指導が説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
28	12月16日(火) 4時限	疫学と衛生統計(2) 齲蝕、歯周疾患の疫学	疾病と原因の関係を説明できる。 集団保健指導が説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
29	1月6日(火) 3時限	ライフサイクルと健康－サービス	地域保健と医療の関係を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直
30	1月6日(火) 4時限	ライフサイクルと健康－サービス	地域保健と医療の関係を説明できる。	山賀 孝之 定岡 直

病 理 学

(B3110)

第3学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：村上 聡
講師：嶋田勝光
非常勤講師：安彦善裕

【一般目標（GIO）】

歯科臨床において遭遇する各種疾患における病態の把握、診断と治療にあたり必須な病理学の基本的事項、すなわち各種疾患における原因、病態とその本態の分子生物学的基盤ならびにその病態判断のための形態学的・分子病態学的基盤について修得する。

口腔・顎顔面領域の疾患を学ぶために、必須で基本的な病変の病因・病態・種類・転帰を理解し、全身諸臓器の代表的病変を知る。

【行動目標（SBOs）】

1. 病理学の基礎医学および臨床医学における位置付けを認識する。
2. 病変の原因、種類、定義を理解し、その概略を説明できる。
3. 細胞傷害により惹起される事象とその適応を説明できる。
 - 1) 細胞の基本構造を再確認する。
 - 2) 細胞障害と組織障害について説明できる。
 - 3) 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。
 - 4) 細胞障害をきたす因子を列挙し、その傷害の機序を把握する。
 - 5) 細胞障害の形態変化、すなわち変性、萎縮および壊死を説明できる。
4. 染色体、遺伝子および発生の異常を説明できる。
5. 循環障害について説明できる。
 - 1) 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。
 - 2) 梗塞の種類、形態および転帰を説明できる。
 - 3) 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。
 - 4) 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる。
 - 5) 出血の原因、種類および転帰を説明できる。
 - 6) 傍側循環の原因と転帰を説明できる。
 - 7) 浮腫の原因とその転帰を説明できる。
 - 8) ショックの原因と成因を説明できる。
6. 代謝障害（脂質、糖質、タンパク質、核酸、色素、無機物）の概要を説明できる。
7. 増殖と修復における形態学的変化およびその分子機構を説明できる。
 - 1) 修復と再生について説明できる。
 - 2) 肉芽組織の構成成分と意義を説明できる。
 - 3) 化生を説明できる。
 - 4) 創傷治癒に関する細胞とその過程を説明できる。
 - 5) 異物の種類と処理反応を説明できる。
 - 6) 器質化を説明できる。
8. 炎症について説明できる。
 - 1) 炎症の定義を説明できる。
 - 2) 炎症細胞の種類と働きを説明できる。
 - 3) 炎症の分類、病理組織学的変化および経時的変化を説明できる。
 - 4) 急性炎症と慢性炎症の形態学的特徴を説明できる。
 - 5) 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。
9. 腫瘍発生（発癌）の分子機構を理解し、その概略を把握する。
 - 1) 腫瘍の定義を説明できる。
 - 2) 腫瘍の組織発生を説明できる。

10. 腫瘍（癌）細胞の細胞学的ならびに組織学的特徴を説明できる。
 - 1) 増殖性病変の多様性、形態およびその意義を説明できる。
 - 2) 異形成、退形成および分化を説明できる。
 - 3) 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。
 - 4) 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。
 - 5) 腫瘍の病理学的分類を理解し、それぞれに属する腫瘍を列举する。
11. ライフステージ、環境要因と疾患の関連性を説明できる。
12. 病理学的検査法の概略を理解する。
13. 感染症成立の機序と種類を説明できる。
14. 免疫、アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。
15. 病理学各論
 - 1) 全身の代表的腫瘍性疾患を説明できる。
 - 2) 全身の代表的非腫瘍性疾患を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 高田 隆編：「歯学生のための病理学」（医歯薬出版）
 松坂賢一編：「歯学生・歯科医療従事者のための臨床検査学」（わかば出版）
 西村康編：「イラストで分かる歯科医学の基礎」（永末書店）
 高木 実編：「口腔病理アトラス」（文光堂）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 病理学の学習に先立ち、生物学、生化学、生理学、解剖学および組織学の知識が必須なので、シラバスを参考にし、関連領域を随時復習して講義にのぞむ。
2. 授業のまとめとして Weekly Test を通して理解度を確認し、不足箇所については自学自習するとともにオフィスアワーを積極的に活用して理解に努める。
3. 教科書、授業ノートを活用して適宜復習し、Weekly Test にのぞむ。
4. Weekly Test については、理解不足の問題を抽出し弱点を補い、オフィスアワーを利用して理解する。

【フィードバック方法】

Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。

【評価方法（Evaluation）】

〔評価の基本〕

定期試験の結果を重視（70％）する。Weekly Test の成績（30％）と合わせて評価する。なお出席状況や授業態度を含む平常点も加味し最終の評価点とする。

〔総合評価〕

合格ラインに到達しない場合は学則に則って全範囲についての再試験を実施する。追試験においても学則の通りとする。

【注意事項】

1. 教科書ならびに授業ノートを準備の上、講義にのぞむこと。
2. 以下のような場合は原則として欠席とする。
 - ①無断退出など
3. 教科書が講義プリントとなるので知識の整理に努めること。

【準備学習時間（予習・復習）】

予 習：病理学の理解には生物学、遺伝学、発生学、生化学、生理学、解剖学および組織学などの系統だった基礎知識が必須なので、シラバスを参考にし関連領域について完璧に復習してから講義にのぞむ。（60分）

復 習：受講後に、基礎知識と病理学的知識を融合し、病態を理解して用語を理解する。（90分）

【オフィスアワー】

随時 本館東棟5階病理学講座医局

事前のメール予約が望ましい。 村上：satoshi.murakami@mdc.ac.jp

【授業日程】

病 理 学				第3学年（前期）	
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者	
1	4月16日(木) 1時限	病理学序論 病理学の位置付けと講義方針を含めたオリエンテーション 臨床医学、とくに口腔病理学との関連 体の内部環境と恒常性の維持 病因論 臨床検査 血液の組成 血液一般検査、 血液型、輸血の検査	1. 講義方針とその学習方法を理解する。 2. 病理学の取り扱い学問領域を認識する。 3. 疾病と健康を説明できる。 4. 上皮と非上皮を構造と機能の上から説明できる。 5. ホメオスタシスの維持を理解する。 6. 病因を内因と外因に分類し、列挙できる。 7. 血液の組成を説明できる。 8. 血液一般検査と基準値を説明できる。 9. 血液型の検査を説目できる。 8. 輸血の検査を説明できる。	村上	聡
2	4月16日(木) 2時限	染色体・遺伝子の基本概念 遺伝子異常による疾患 染色体異常による疾患 発生異常 ライフステージ・環境要因と疾患	1. 染色体・遺伝子の基本構造とその異常を説明できる。 2. 発生異常に関わる染色体と遺伝子異常を概説できる。 3. 染色体異常による疾患を列挙できる。 4. 常染色体優性、劣性、伴性遺伝による疾患を列挙できる。 5. ライフステージに伴う疾患の特異性と個体死を理解する。	村上	聡
3	4月23日(木) 1時限	循環障害(1) 循環の基礎 循環障害の種類 充血と鬱血	1. 循環障害の種類を列挙できる。 2. 循環、血管の構造を説明できる。 3. 充血および鬱血の徴候、原因および転帰を説明できる。	村上	聡
4	4月23日(木) 2時限	循環障害(2) 虚血と梗塞 血栓、塞栓 臨床検査 血液凝固	1. 虚血の原因および転帰を説明できる。 2. 血栓症の形態学、成因と条件および転帰を説明できる。 3. 血液凝固のメカニズムを説明できる。	村上	聡
5	4月30日(木) 1時限	循環障害(3) 出血と出血性素因 DIC 臨床検査 血液凝固異常の検査	1. 出血の原因、種類、および転帰を説明できる。 2. DIC（播種性血管内凝固）を説明できる。 3. 血液凝固検査について説明できる。 4. 血液凝固異常のメカニズムと異常値について説明できる。	村上	聡
6	4月30日(木) 2時限	循環障害(4) 傍側循環 ショック 浮腫と脱水	1. 塞栓症について塞栓の運ばれる経路、塞栓の種類および転帰を説明できる。 2. 傍側循環の原因と転帰を説明できる。	村上	聡
7	5月14日(木) 1時限	細胞傷害(1) 細胞の基本構造 傷害に対する細胞の適応 細胞障害をきたす因子	1. 細胞の基本構造を再確認する。 2. 傷害に対する細胞の適応を説明できる。 3. 細胞障害因子を列挙できる。	村上	聡
8	5月14日(木) 2時限	細胞傷害(2) 細胞障害の機序 細胞障害の形態変化 アポトーシスの形態的特徴 萎縮	1. 虚血による細胞障害の機序を説明できる。 2. 化学物質による細胞障害の機序を説明できる。 3. 細胞障害の形態変化を理解する。 4. 細胞変性の形態学的特徴を説明できる。 5. 壊死の細胞変化について説明できる。 6. 壊死との異同を含めてアポトーシスを説明できる。 7. 萎縮の原因とその型を説明できる。	村上	聡

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
9	5月21日(水) 1時限	代謝障害(1) 脂質代謝障害 糖代謝異常 タンパク質代謝障害	1. 脂質代謝障害について説明できる。 2. 糖代謝異常としての糖尿病を理解する。 3. タンパク質代謝障害を理解する。	村上 聡
10	5月21日(水) 2時限	代謝障害(2) 核酸代謝異常 色素代謝異常症 無機物代謝障害	4. 核酸代謝異常を理解する。 5. 色素代謝異常症を列挙し説明できる。 6. 無機物代謝障害を説明できる。	村上 聡
11	5月28日(水) 1時限	増殖と修復(1) 細胞の増殖と分化 肥大と増生 化生 再生	1. 細胞の増殖と分化の制御機構を理解する。 2. 細胞周期の調節機構を説明できる。 3. 主要な増殖因子やサイトカインの働きについて説明できる。 4. 細胞増殖、分化におけるアポトーシスの役割を説明できる。 5. 肥大と増生について具体例をあげて説明できる。 6. 化生について具体例をあげて説明できる。 7. 再生について具体例をあげて説明できる。 8. 再生能力の程度によって細胞や組織を分類する。	村上 聡
12	5月28日(水) 2時限	増殖と修復(2) 肉芽組織 創傷の治癒	1. 肉芽組織とその構成要素を説明できる。 2. 肉芽組織の出現条件とその役割を説明できる。 3. 創傷の治癒形式を分類して説明できる。	村上 聡
13	6月4日(水) 1時限	増殖と修復(3) 異物の処理 骨折の治癒	4. 異物の処理機構を説明できる。 1. 骨折と抜歯創の治癒を概説する。 2. 骨折と抜歯創の治癒における異同を分子機構、細胞動態と形態学的観点から説明できる。	村上 聡
14	6月4日(水) 2時限	増殖と修復(4) 骨折の治癒 抜歯創の治癒	1. 骨折と抜歯創の治癒を概説する。 2. 骨折と抜歯創の治癒における異同を分子機構、細胞動態と形態学的観点から説明できる。	村上 聡
15	6月11日(水) 1時限	小括講義 第14回までの重点講義・WT解説を含む	1. 第14回講義までの内容を理解する。	村上 聡
16	6月11日(水) 2時限	炎症(1) 炎症の原因 炎症の形態学的変化 急性炎症と慢性炎	1. 炎症の定義を説明できる。 2. 炎症細胞の種類と働きを説明できる。 3. 急性炎症と慢性炎症の形態学的特徴を説明できる。	村上 聡
17	6月18日(水) 1時限	炎症(2) 変質性炎、滲出性炎	炎症の分類、病理組織学的変化および経時的变化を説明できる。	村上 聡
18	6月18日(水) 2時限	炎症(3) 増殖性炎および肉芽腫（特異）性炎	1. 病理組織学的変化および経時的变化を説明できる。 2. 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を説明できる。	村上 聡
19	6月25日(水) 1時限	感染 ウイルス感染による損傷の機序 細菌性損傷の機序	感染症成立の機序と種類を説明できる。	村上 聡
20	6月25日(水) 2時限	免疫異常 免疫・アレルギー疾患	免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。	村上 聡
21	7月2日(水) 1時限	腫瘍総論(1) 腫瘍の定義 組織学的分類と命名法 増殖形態と全身に及ぼす影響 良性腫瘍と悪性腫瘍	1. 腫瘍、新生物の本態を説明できる。 2. 腫瘍の肉眼的増殖形態を説明できる。 3. 腫瘍の全身に及ぼす影響を説明できる。 4. 良性腫瘍と悪性腫瘍の相違点を説明できる。	村上 聡

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
22	7月2日(水) 2時限	腫瘍総論(2) 腫瘍発生 発癌に関連する遺伝子 多段階発癌の分子機構	1. 癌(原)遺伝子、癌抑制遺伝子、DNA修復遺伝子などの発癌における主要な役割を概説できる。 2. 多段階発癌の分子メカニズムを概説できる。	村上 聡
23	7月9日(水) 1時限	腫瘍総論(3) 腫瘍の組織学的ならびに細胞学的特徴 癌の広がり方と進行度 前癌と境界病変 腫瘍の生物学	1. 腫瘍の組織学的ならびに細胞学的特徴を説明できる。 2. 腫瘍の広がり方を分類して説明できる。 3. 転移のメカニズムを理解する。 4. 癌の進行度を分類できる。 5. 前癌病変と境界病変について説明できる。 6. 腫瘍細胞の増殖を細胞周期から説明できる。	村上 聡
24	7月9日(水) 2時限	腫瘍総論(4) 発生母組織による分類 分化度による分類 臨床的態度による分類 発生母組織による分類 腫瘍の疫学 腫瘍免疫 宿主に及ぼす影響 癌の診断 癌の治療	1. 上皮性腫瘍を分類・列挙できる。 2. 非上皮性腫瘍を分類・列挙できる。 3. 腫瘍を分化度により分類できる。 4. 腫瘍を発生母組織により分類・列挙できる。 1. 造血臓器、神経系、メラノサイト系の腫瘍を説明できる。 2. 腫瘍の疫学の見地から喫煙と発癌の相関を説明できる。 3. 腫瘍免疫を理解する。 4. 宿主に及ぼす影響を説明できる。 5. 癌の診断と治療について説明できる。	村上 聡
25	7月16日(水) 1時限	検査と全身の病態 特別講義：歯科心身症の病態と検査 歯科心身症の病態学	1. 心身疾患と口腔病態について説明できる。 2. 心理テストの種類と目的について説明できる。	安彦 善裕 村上 聡
26	7月16日(水) 2時限	検査と全身の病態 心身医学に基づく口腔乾燥症、味覚異常	1. 口腔乾燥症について理解する。 2. 味覚異常について理解する。	村上 聡
27	7月23日(水) 1時限	検査と全身の病態 胃・十二指腸潰瘍 甲状腺機能亢進症/低下症 心疾患(虚血性疾患、心不全、不整脈) 高血圧症	1. 胃潰瘍・十二指腸潰瘍の病態を理解する。 2. 甲状腺機能低下症/亢進症について理解する。 3. 代表的な心疾患を理解する。 4. 高血圧症を理解する。	村上 聡
28	7月23日(水) 2時限	検査と全身の病態 肝臓の疾患 肝炎 感染症・急性炎症	1. 感染症、急性炎症の病態を概説できる。 2. 肝炎の病態を理解する。	村上 聡
29	8月20日(水) 1時限	検査と全身の病態 腎臓・腎臓の疾患 糖尿病 慢性腎不全 ネフローゼ症候群	1. 糖尿病の病態を理解する。 2. 慢性腎不全の病態を理解する。 3. ネフローゼ症候群の病態を理解する。	村上 聡
30	8月20日(水) 2時限	検査と全身の病態 血液の疾患 貧血、特発性血小板減少性紫斑病、血友病、白血病、免疫疾患 関節リウマチ、シェーグレン症候群	1. 血液の組成を理解する。 2. 貧血を理解する。 3. 特発性血小板減少性紫斑病の病態を理解する。 4. 血友病の病態を理解する。 5. 白血病の病態を理解する。 6. 関節リウマチの病態を理解する。 7. シェーグレン症候群を理解する。	村上 聡

口腔病理学 (B3130)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：村上 聡

非常勤講師：松坂賢一

【一般目標（GIO）】

口腔・顎顔面領域の疾患の適切な診断や治療法を習得するために、それらの病因・病態・種類・転機を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 歯の発育異常と加齢変化の病態を理解する。
2. 歯の硬組織疾患の病態を理解する。
3. 口腔細菌、歯垢、歯石について理解する。
4. 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を理解する。
5. 歯髄・根尖歯周組織疾患の治療機転を理解する。
6. 歯周疾患の病因と病態を理解する。
7. エプーリスの組織学的特徴を理解する。
8. 口腔領域の主な炎症を概説できる。
9. 口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類を理解する。
10. 口腔粘膜疾患の種類と特徴を列挙できる。
11. 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着などを主徴とする粘膜疾患を概説できる。
12. 口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類を列挙できる。
13. 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患の種類を列挙できる。
14. 口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を理解する。
15. 口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を理解する。
16. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常を理解する。
17. 骨折や抜歯創の治療過程を理解する。
18. 唾石症の特徴を理解する。
19. ウイルス性唾液腺炎を理解する。
20. Sjögren 症候群の組織学的特徴を理解する。
21. 唾液腺疾患を概説できる。
22. 口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患とその症状を列挙できる。
23. 顎関節疾患の種類と特徴を理解する。
24. 嚢胞の一般的な組織学的特徴を理解する。
25. 口腔・顎顔面領域の嚢胞の組織学的診断を理解する。
26. 顎骨部に発生する歯源性嚢胞を概説できる。
27. 顎骨部に発生する非歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。
28. 軟組織部に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。
29. 歯源性腫瘍の種類、特徴および組織発生を理解する。
30. エナメル上皮腫の特徴を理解する。
31. 腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。
32. 非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。
33. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を理解する。
34. 口腔潜在性悪性疾患を理解する。
35. 口腔粘膜腫瘍を列挙できる。
36. 口腔癌の特徴を理解する。
37. 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患を列挙できる。
38. 歯性感染の感染経路を理解する。
39. 歯性病巣感染の成立機序を理解する。

40. 口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。
41. 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身疾患とその症状を列挙できる。
42. 口腔の加齢変化を理解する。
43. 口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群とその症状を列挙できる。
44. 歯科治療後の病理学的変化を理解する。
45. 病理診断に必要な検査法や染色法を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 下野正基編：「第3版新口腔病理学」（医歯薬出版）

高木實編：「口腔病変アトラス（第3版）」（文光堂）

〔参考書〕 西村康編：「イラストでわかる歯科医学の基礎」（永末出版）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 口腔病理学の理解に必須な解剖学、組織学、生理学、病理学などの基礎知識を復習する。
2. 授業ノートを準備して記録する。
5. 講義のまとめと復習を通じて理解度を確認し、不足箇所についてはオフィスアワーを積極的に活用して理解に努める。
6. 教科書、参考書、授業ノートを活用してノート整理や復習を行い、Weekly Test にのぞむ。
7. Weekly Test を受験後に理解不足の問題を抽出して弱点を補う。
8. 各自の疑問点はオフィスアワーを利用して解決する。

【フィードバック方法】

Weekly Test の低正答率項目については講義中に解説する。

【評価方法（Evaluation）】

1. 出題形式（定期試験概要）：記述問題
2. 定期試験（70％）と Weekly Test（30％）の総合点で評価する。
3. 追・再試験は、本試験と同様の形式で行う。
4. 定期試験は前期病理学の範囲を含む。

【注意事項】

1. 授業に際して、以下のような場合は原則として欠席とする。
①無断退出など
2. 授業ノートを必ず持参して内容を記録する。なお不定期に提出を求めることがある。
3. 試験の追再試験は、全範囲を対象として行う。

【準備学習時間（予習・復習）】

予 習：シラバスを基に教科書の内容を確認し、関連する解剖学や組織学などの基礎知識を復習する。（60分）

復 習：講義ノート、教科書を基に講義内容を整理し、定義、疾患名、病因、病理組織像などを理解して記憶する。
（90分）

【オフィスアワー】

随時 メール予約が望ましい。

本館5階東棟 病理学講座医局

村上：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

【授業日程】

口 腔 病 理 学				
第 3 学 年（後期）				
回 数	授 業 日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担 当 者
1	9 月 10 日(水) 1 時限	口腔病理学・概論 口腔病理学の在り方 病理総論、臨床検査と診断学実習との連携	1. 病理総論と病理各論としての口腔病理学の位置付けを説明できる。 2. 口腔病理学を通じて病因と病態（経過、転帰）を理解し、正しく診断する必要性を説明できる。 3. 正しい診断には病理総論、口腔病理学（病理各論）と臨床検査学の知識の連携が不可欠であることを説明できる。	村上 聡
2	9 月 10 日(水) 2 時限	辺縁歯周組織の病変 歯肉炎と辺縁性歯周炎の分類 歯周疾患の原因 歯周組織破壊のメカニズム 特殊な歯周炎 咬合性外傷 歯肉増殖症 エプーリス	1. 歯周疾患の病因と病態を説明できる。 2. 口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を説明できる。 3. エプーリスの組織学的特徴を説明できる。	村上 聡
3	9 月 17 日(水) 1 時限	歯の発育異常 咬耗と摩耗	1. 歯の発育異常を説明できる。 2. 歯の硬組織疾患の病態を説明できる。	村上 聡
4	9 月 17 日(水) 2 時限	齦蝕 齦蝕の進展と歯髄の変化 齦蝕・歯髄炎の進展と治療法 歯の硬組織の増生と吸収	1. 齦蝕の病態を説明できる。 2. 歯の硬組織の増生と吸収を説明できる。	村上 聡
5	9 月 24 日(水) 1 時限	歯髄の病変 変性と壊死 歯髄充血 歯髄炎の特徴 歯髄の病変・分類 組織所見と推移 歯髄の内部吸収 歯髄炎の組織所見	1. 歯髄疾患の病因と病態を説明できる。	村上 聡
6	9 月 24 日(水) 2 時限	根尖性歯周組織の病変 根尖性歯周炎の分類 根尖性歯周炎の組織所見 根尖性歯周炎の推移	1. 根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 2. 根尖歯周組織疾患の治療機転を説明できる。	村上 聡
7	10 月 1 日(水) 1 時限	嚢胞性疾患(1) 歯源性嚢胞の分類 組織所見	1. 嚢胞の一般的な組織学的特徴を説明できる。 2. 口腔・顎顔面領域の嚢胞の組織学的診断を説明できる。 3. 顎骨部に発生する歯源性嚢胞を説明できる。	村上 聡
8	10 月 1 日(水) 2 時限	嚢胞性疾患(2) 非歯源性嚢胞の分類発生部位と組織学的特徴	1. 顎骨部に発生する非歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 2. 軟組織部に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。	村上 聡
9	10 月 8 日(水) 1 時限	歯源性腫瘍(1) 一般的特徴 歯源性腫瘍の WHO 分類の基礎 エナメル上皮腫の亜型と特徴 歯源性腫瘍の組織所見	1. 歯源性腫瘍の種類、特徴および組織発生を説明できる。 2. 歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。	村上 聡
10	10 月 8 日(水) 2 時限	歯源性腫瘍(2) 歯源性腫瘍の組織所見	1. 歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。	村上 聡
11	10 月 22 日(水) 1 時限	特別講義： 歯科インプラントの病理学	1. デンタルインプラントの病態について説明できる。	村上 聡 松坂 賢一

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
12	10月22日(水) 2 時限	顎骨病変(1) 顎骨の遺伝性・原因不明な疾患	1. 口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患その症状を列挙できる。	村上 聡
13	10月29日(水) 1 時限	顎骨病変(2) 顎炎 関節リウマチ 関節炎 顎関節強直症	1. 口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患その症状を列挙できる。 2. 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。	村上 聡
14	10月29日(水) 2 時限	創傷の治療 骨代謝マーカー 骨吸収マーカー 抜歯創と骨折の治療 歯根破折	1. 骨代謝に関する臨床検査を説明できる。 2. 骨折や抜歯創の治療過程を説明できる。	村上 聡
15	11月 5 日(水) 1 時限	唾液腺腫瘍(1) 一般的特徴 WHO 分類 多形腺腫の組織所見 その他の唾液腺腫瘍の組織所見	1. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の組織発生を説明できる。	村上 聡
16	11月 5 日(水) 2 時限	唾液腺腫瘍(2) その他の唾液腺腫瘍	1. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の組織発生を説明できる。	村上 聡
17	11月12日(水) 1 時限	口腔の発育異常(1) 裂奇形 粘膜、唾液腺、顎骨の奇形 口腔に症状を呈する症候群	1. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常を説明できる。	村上 聡
18	11月12日(水) 2 時限	口腔の発育異常(2) 裂奇形 粘膜、唾液腺、顎骨の奇形 口腔に症状を呈する症候群	1. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常を説明できる。	村上 聡
19	11月19日(水) 1 時限	口腔粘膜病変(1) 色素沈着 潰瘍形成性病変	1. 口腔領域の主な炎症を概説できる。 2. 口腔・顎顔面領域の特異性炎症の種類を説明できる。 3. 潰瘍、色素沈着などを主徴とする粘膜疾患を概説できる。 4. 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患を列挙できる。	村上 聡
20	11月19日(水) 2 時限	口腔粘膜病変(2) 皮膚科的疾患の原因と組織像	1. 口腔粘膜疾患の種類と特徴を列挙できる。 2. 水疱、紅斑、びらんなどを主徴とする粘膜疾患を説明できる。 3. 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患の種類を列挙できる。 4. 口腔潜在性悪性疾患を列挙できる。 5. 白板症と紅板症の特徴を説明できる。	村上 聡
21	11月26日(水) 1 時限	口腔粘膜とリンパ腺の非腫瘍性病変(1) 異所性唾液腺 壊死性唾液腺化生 唾石症	1. 唾液腺疾患を説明できる。 2. 唾石症の特徴を説明できる。	村上 聡
22	11月26日(水) 2 時限	口腔粘膜とリンパ腺の非腫瘍性病変(2) 唾液腺炎 リンパ節炎	1. ウイルス性唾液腺炎を説明できる。 2. Sjogren 症候群の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡
23	12月 3 日(水) 1 時限	口腔粘膜疾患のシークエンス 口腔粘膜の正常、変性、上皮異形成症から口腔扁平上皮癌の成立まで 口腔粘膜の腫瘍(1) 良性病変 口腔潜在性悪性疾患 口腔扁平上皮癌	1. 口腔粘膜上皮の変性について説明できる。 2. 口腔の上皮異形成症について説明できる。 3. 口腔扁平上皮癌の特徴を説明できる。 4. 口腔潜在性悪性疾患を説明できる。 5. 口腔粘膜腫瘍を列挙できる。 6. 口腔癌の特徴を説明できる。	村上 聡

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
24	12月3日(水) 2時限	口腔粘膜の腫瘍(2) 良性病変 口腔潜在性悪性疾患 口腔扁平上皮癌	1. 口腔潜在性悪性疾患を説明できる。 2. 口腔粘膜腫瘍を列挙できる。 3. 口腔癌の特徴を説明できる。	村上 聡
25	12月10日(水) 1時限	骨軟部腫瘍(1) 歯に関連した顎骨の腫瘍類似疾患 顎骨の腫瘍・腫瘍類似疾患 軟部良性腫瘍と肉腫 転移性腫瘍	1. 非菌原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 2. 腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 3. 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患を列挙できる。	村上 聡
26	12月10日(水) 2時限	骨軟部腫瘍(2) 歯に関連した顎骨の腫瘍類似疾患 顎骨の腫瘍・腫瘍類似疾患 軟部良性腫瘍と肉腫 転移性腫瘍	1. 非菌原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 2. 腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 3. 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患を列挙できる。	村上 聡
27	12月17日(水) 1時限	全身と口腔病変(1) 菌性病巣感染 歯・歯周組織・顎骨の老化 ビタミン欠乏	1. 菌性病巣感染の成立機序を説明できる。 2. 口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 3. 口腔の加齢的な変化を説明できる。 4. 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身疾患を列挙し、症状を説明できる。	村上 聡
28	12月17日(水) 2時限	全身と口腔病変(2) 内分泌異常 代謝異常	1. 菌性病巣感染の成立機序を説明できる。 2. 口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 3. 口腔の加齢的な変化を説明できる。 4. 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身疾患を列挙し、症状を説明できる。	村上 聡
29	1月7日(水) 1時限	全身と口腔病変(3) 全身と口腔疾患の理解に必要な臨床検査 1. 唾液検査 2. 口臭検査	1. 唾液検査の目的、種類、方法、評価について説明できる。 2. 口臭検査の目的、方法、評価について説明できる。	村上 聡
30	1月7日(水) 2時限	全身と口腔病変(4) 全身と口腔疾患の理解に必要な臨床検査 1. 歯科金属アレルギー検査 2. 味覚異常検査 3. ドライマウス検査	1. 歯科金属アレルギー検査の目的、方法、評価、臨床的意義と病態について説明できる。 2. 味覚異常検査の目的、方法、評価、臨床的意義と病態について説明できる。 3. 口腔乾燥症の病態およびドライマウス検査について説明できる。 4. シェーグレン症候群との鑑別について説明できる。	村上 聡

病理診断学実習 (B3120)

第3学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：村上 聡

講師：嶋田勝光

【一般目標（GIO）】

口腔・顎顔面領域の代表的疾患を診断するために、基本的な病態および病理組織学的所見を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 細胞傷害と組織傷害について理解する。
2. 壊死の形態的所見の特徴を理解する。
3. 肉芽組織の構成成分を理解する。
4. 創傷治癒に関する細胞について理解する。
5. 充血、浮腫を理解する。
6. 炎症の分類、病理組織学的変化を理解する。
7. 炎症の原因別分類と病因特異的組織変化を理解する。
8. 腫瘍の組織発生を理解する。
9. 上皮性と非上皮性腫瘍を組織学的に区別する。
10. 異形成、退形成および分化を理解する。
11. 腫瘍の異型性と多形性を理解する。
12. 局所における腫瘍の増殖、浸潤を理解する。
13. 齶蝕の組織学的特徴を理解する。
14. 歯髄疾患の組織学的特徴を理解する。
15. 根尖歯周組織疾患の組織学的特徴を理解する。
16. 歯周疾患の組織学的特徴を理解する。
17. 代表的な嚢胞性疾患の組織学的特徴を理解する。
18. 代表的な菌源性腫瘍の組織学的特徴を理解する。
19. 代表的な唾液腺腫瘍の組織学的特徴を理解する。
20. 代表的な非菌源性腫瘍の組織学的特徴を理解する。
21. 白板症の組織学的特徴を理解する。
22. 口腔扁平上皮癌の組織学的特徴を理解する。
23. 代表的な口腔粘膜疾患の組織学的特徴を理解する。
24. 診断に必要な臨床検査について理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕下野正基編集：「第3版新口腔病理学」（医歯薬出版）

高木實編：「口腔病理アトラス（第3版）」（文光堂）

松坂賢一編：「歯学生・歯科医療従事者のための臨床検査学」（わかば出版）

〔参考書〕高田隆編：「歯学生のための基礎病理学」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

1. 実習には解剖学や組織学の理解も必要なので、各自の判断で適宜参考資料を持参して活用する。
3. 実習として診断に必要な病理組織像のスケッチと付図説明、診断理由（病理組織所見）を記載する。
4. 課題として観察した症例に基づく知識を復習し、〔説明力アップ演習〕の準備をする。
5. 不明な点は実習時間内に解決し理解する。
6. 講義・実習の知識を踏まえ、Weekly Test に備える。

【フィードバック方法】

観察の後、症例について知識の再確認を要する内容を解説する。

【評価方法（Evaluation）】

1. Weekly Test（30％）とプロダクト、定期試験（45％）、口頭試問（20％）、および実習への取り組み・態度（5％）の合計を総合点数100点満点として評価する。
2. プロダクトにおいて診断に必要な所見が十分に記載されているかどうかを評価する。
3. 定期試験は実技として病理組織画像による診断試験、診断に必要な知識の確認として筆記試験を行う。
4. 「説明力アップ演習」の項目についてはグループによる口頭試問で評価する。
5. 「病理診断に必要な臨床検査」に関する項目についても WT、定期試験に出題する。

【注意事項】

1. 実習室で使用するノートを用意する。
2. 無断入退は欠席とする。
3. 必要に応じてレポートや口頭試問を課すが、これも実習修了の条件とする。
4. 実習は白衣で行う。なお、実習室内での着替えは認めない。
5. 服装は清潔を努め、華美な容姿は慎むこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

予 習：シラバスを基に実習内容を確認し、関連する基礎知識を復習する。（60分）

復 習：実習書およびデジタル画像を基に実習内容を整理し、病因、病態、疾患名、病理組織像などを理解して記憶する。（90分）

【オフィスアワー】

メールで確認のこと。

村上 聡：satoshi.murakami@mdu.ac.jp

【授業日程】

病理診断学実習				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	9月10日(水) 3時限	オリエンテーション 歯周組織の疾患 エプーリス 1) 歯肉炎 2) 辺縁性歯周炎 3) 肉芽腫性エプーリス 4) 線維性エプーリス 5) 骨形成性エプーリス [説明力アップ演習①] トライアル：エプーリス	1. エプーリスの病因、病態および分類を説明できる。 2. 口腔領域の感染症を説明できる。 3. 口腔領域の免疫異常を説明できる。 4. 歯周疾患の病態を説明できる。 5. 全身疾患と病態の相互関係を概説できる。 6. 糖尿病と口腔病変の関連を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
2	9月10日(水) 4時限	オリエンテーション 歯周組織の疾患 エプーリス 1) 歯肉炎 2) 辺縁性歯周炎 3) 肉芽腫性エプーリス 4) 線維性エプーリス 5) 骨形成性エプーリス	1. エプーリスの病因、病態および分類を説明できる。 2. 口腔領域の感染症を説明できる。 3. 口腔領域の免疫異常を説明できる。 4. 歯周疾患の病態を説明できる。 5. 全身疾患と病態の相互関係を概説できる。 6. 糖尿病と口腔病変の関連を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
3	9月10日(水) 5時限	オリエンテーション 歯周組織の疾患 エプーリス 1) 歯肉炎 2) 辺縁性歯周炎 3) 肉芽腫性エプーリス 4) 線維性エプーリス 5) 骨形成性エプーリス [診断に必要な臨床検査①] 血液の組成	1. エプーリスの病因、病態および分類を説明できる。 2. 口腔領域の感染症を説明できる。 3. 口腔領域の免疫異常を説明できる。 4. 歯周疾患の病態を説明できる。 5. 全身疾患と病態の相互関係を概説できる。 6. 糖尿病と口腔病変の関連を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
4	9月17日(水) 3時限	[説明力アップ演習②] 前回の症例から 齦蝕 退行性病変 1) 平滑面エナメル質齦蝕 2) 象牙質齦蝕 3) 正常皮膚 4) 正常口腔粘膜 5) 肝の黄疸	1. 齦蝕の組織学的特徴を説明できる。 2. 皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 3. 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 4. 変性と関連疾患の病態を説明できる。 5. 疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 6. ヘルペス感染症、HIV 感染症と口腔病変の関連を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
5	9月17日(水) 4時限	齦蝕 退行性病変 1) 平滑面エナメル質齦蝕 2) 象牙質齦蝕 3) 正常皮膚 4) 正常口腔粘膜 5) 肝の黄疸	1. 齦蝕の組織学的特徴を説明できる。 2. 皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 3. 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 4. 変性と関連疾患の病態を説明できる。 5. 疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 6. ヘルペス感染症、HIV 感染症と口腔病変の関連を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
6	9月17日(水) 5時限	齦蝕 退行性病変 1) 平滑面エナメル質齦蝕 2) 象牙質齦蝕 3) 正常皮膚 4) 正常口腔粘膜 5) 動脈硬化症 [診断に必要な臨床検査②] ・臨床検査とは ・基準値とは	1. 齦蝕の組織学的特徴を説明できる。 2. 皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 3. 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 4. 変性と関連疾患の病態を説明できる。 5. 疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 6. ヘルペス感染症、HIV 感染症と口腔病変の関連を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
7	9月24日(水) 3時限	[説明力アップ演習③] 前回の症例から 歯髓の病変 根尖性歯周炎 1) 歯髓の石灰変性 2) 歯髓充血 3) 急性化膿性歯髓炎 4) 慢性潰瘍性歯髓炎 5) 慢性歯槽膿瘍 6) 歯根肉芽腫	1. 歯髓疾患の病因と病態を説明できる。 2. 歯髓疾患の組織学的特徴を説明できる。 3. 肉芽腫性炎の種類、形態的特徴および経時的変化を説明できる。 4. 根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 5. 根尖性歯周組織疾患の組織学的特徴を説明できる。 6. 歯根膿胞の成因と病理組織学特徴を詳細に説明できる。 7. 貧血について説明できる。 8. 出血性素因について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
8	9月24日(水) 4時限	歯髓の病変 根尖性歯周炎 1) 歯髓の石灰変性 2) 歯髓充血 3) 急性化膿性歯髓炎 4) 慢性潰瘍性歯髓炎 5) 慢性歯槽膿瘍 6) 歯根肉芽腫	1. 歯髓疾患の病因と病態を説明できる。 2. 歯髓疾患の組織学的特徴を説明できる。 3. 肉芽腫性炎の種類、形態的特徴および経時的変化を説明できる。 4. 根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 5. 根尖性歯周組織疾患の組織学的特徴を説明できる。 6. 歯根膿胞の成因と病理組織学特徴を詳細に説明できる。 7. 貧血について説明できる。 8. 出血性素因について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
9	9月24日(水) 5時限	歯髓の病変 根尖性歯周炎 1) 歯髓の石灰変性 2) 歯髓充血 3) 急性化膿性歯髓炎 4) 慢性潰瘍性歯髓炎 5) 慢性歯槽膿瘍 6) 歯根肉芽腫 [診断に必要な臨床検査③] 生体検査(1)	1. 歯髓疾患の病因と病態を説明できる。 2. 歯髓疾患の組織学的特徴を説明できる。 3. 肉芽腫性炎の種類、形態的特徴および経時的変化を説明できる。 4. 根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 5. 根尖性歯周組織疾患の組織学的特徴を説明できる。 6. 歯根膿胞の成因と病理組織学特徴を詳細に説明できる。 7. 貧血について説明できる。 8. 出血性素因について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
10	10月1日(水) 3時限	[説明力アップ演習④] 前回の症例から 口腔領域の嚢胞性疾患 1) 歯根膿胞 2) 含菌性嚢胞 3) 歯原性角化嚢胞 4) 石灰化歯原性嚢胞 5) 鼻口蓋管嚢胞 6) 頬皮嚢胞 7) 頬表皮嚢胞 8) 鰓嚢胞 9) 粘液嚢胞	1. 顎骨内に発生する嚢胞の組織学的特徴を説明できる。腫瘍の定義を説明できる。 2. 歯根膿胞の成因と病理組織学的特徴を詳細に説明できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞の組織学的特徴を説明できる。 4. 口腔に症状をきたす全身性皮膚粘膜疾患について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	10月1日(水) 4時限	口腔領域の嚢胞性疾患 1) 歯根嚢胞 2) 含菌性嚢胞 3) 歯源性角化嚢胞 4) 石灰化歯源性嚢胞 5) 鼻口蓋管嚢胞 6) 頬皮嚢胞 7) 頬表皮嚢胞 8) 鰓嚢胞 9) 粘液嚢胞	1. 顎骨内に発生する嚢胞の組織学的特徴を説明できる。腫瘍の定義を説明できる。 2. 歯根嚢胞の成因と病理組織学的特徴を詳細に説明できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞の組織学的特徴を説明できる。 4. 口腔に症状をきたす全身性皮膚粘膜疾患について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
12	10月1日(水) 5時限	口腔領域の嚢胞性疾患 1) 歯根嚢胞 2) 含菌性嚢胞 3) 歯源性角化嚢胞 4) 石灰化歯源性嚢胞 5) 鼻口蓋管嚢胞 6) 頬皮嚢胞 7) 頬表皮嚢胞 8) 鰓嚢胞 9) 粘液嚢胞	1. 顎骨内に発生する嚢胞の組織学的特徴を説明できる。腫瘍の定義を説明できる。 2. 歯根嚢胞の成因と病理組織学的特徴を詳細に説明できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞の組織学的特徴を説明できる。 4. 口腔に症状をきたす全身性皮膚粘膜疾患について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
13	10月8日(水) 3時限	[説明力アップ演習⑤] 前回の症例から 歯源性腫瘍 1) エナメル上皮腫 (濾胞型) 2) エナメル上皮腫 (叢状型) 3) 石灰化上皮性歯源性腫瘍 4) 腺腫様歯源性腫瘍 5) 歯牙腫: 複雑型 6) 歯牙腫: 集合型 7) 歯源性線維腫 8) 歯源性粘液腫	1. 良性上皮性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. 良性上皮間葉混合性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 3. 良性間葉性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 4. 悪性上皮性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
14	10月8日(水) 4時限	歯源性腫瘍 1) エナメル上皮腫 (濾胞型) 2) エナメル上皮腫 (叢状型) 3) 石灰化上皮性歯源性腫瘍 4) 腺腫様歯源性腫瘍 5) 歯牙腫: 複雑型 6) 歯牙腫: 集合型 7) 歯源性線維腫 8) 歯源性粘液腫	1. 良性上皮性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. 良性上皮間葉混合性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 3. 良性間葉性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 4. 悪性上皮性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
15	10月8日(水) 5時限	歯源性腫瘍 1) エナメル上皮腫 (濾胞型) 2) エナメル上皮腫 (叢状型) 3) 石灰化上皮性歯源性腫瘍 4) 腺腫様歯源性腫瘍 5) 歯牙腫: 複雑型 6) 歯牙腫: 集合型 7) 歯源性線維腫 8) 歯源性粘液腫	1. 良性上皮性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. 良性上皮間葉混合性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 3. 良性間葉性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 4. 悪性上皮性歯源性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
16	10月22日(水) 3 時限	[説明力アップ演習⑥] 前回の症例から 顎骨の病変 1) 線維性異形成症 2) 腐骨 炎症総論 非特異性炎 3) 肺の化膿性炎 4) 虫垂の蜂窩織炎 5) 肝硬変 特異性炎 6) 肺結核症	1. 骨および軟部組織に発生する代表的な非菌原性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. 炎症の定義と機序を説明できる。 3. 炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 4. 滲出性炎の種類、形態的特徴および経時的变化を説明できる。 5. 肉芽腫性炎の種類、形態的特徴および経時的变化を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
17	10月22日(水) 4 時限	顎骨の病変 1) 線維性異形成症 2) 腐骨 炎症総論 非特異性炎 3) 肺の化膿性炎 4) 虫垂の蜂窩織炎 5) 肝硬変 特異性炎 6) 肺結核症	1. 骨および軟部組織に発生する代表的な非菌原性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. 炎症の定義と機序を説明できる。 3. 炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 4. 滲出性炎の種類、形態的特徴および経時的变化を説明できる。 5. 肉芽腫性炎の種類、形態的特徴および経時的变化を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
18	10月22日(水) 5 時限	顎骨の病変 1) 線維性異形成症 2) 腐骨 炎症総論 非特異性炎 3) 肺の化膿性炎 4) 虫垂の蜂窩織炎 5) 肝硬変 特異性炎 6) 肺結核症 [診断に必要な臨床検査④] 生体検査(2)	1. 骨および軟部組織に発生する代表的な非菌原性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. 炎症の定義と機序を説明できる。 3. 炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 4. 滲出性炎の種類、形態的特徴および経時的变化を説明できる。 5. 肉芽腫性炎の種類、形態的特徴および経時的变化を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
19	10月29日(水) 3 時限	[説明力アップ演習⑦] 創傷の治癒 1) 拔牙創の治癒 (肉芽組織期) 2) 拔牙創の治癒 (仮骨期) 進行性病変 3) 肉芽組織 4) 心筋肝臓 5) 肺の線維症 6) 肝の脂肪変性	1. 拔牙創の治癒の過程を説明できる。 2. 骨折の治癒過程を説明できる。 3. 修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 4. 器質化を説明できる。 5. 変性と関連疾患の病態を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
20	10月29日(水) 4 時限	創傷の治癒 1) 拔牙創の治癒 (肉芽組織期) 2) 拔牙創の治癒 (仮骨期) 進行性病変 3) 肉芽組織 4) 心筋肝臓 5) 肺の線維症 6) 肝の脂肪変性	1. 拔牙創の治癒の過程を説明できる。 2. 骨折の治癒過程を説明できる。 3. 修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 4. 器質化を説明できる。 5. 変性と関連疾患の病態を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
21	10月29日(水) 5時限	創傷の治癒 1) 抜歯創の治癒 (肉芽組織期) 2) 抜歯創の治癒 (仮骨期) 進行性病変 3) 肉芽組織 4) 心筋肝臓 5) 肺の線維症 6) 肝の脂肪変性 [診断に必要な臨床検査⑤] 検体検査(1)	1. 抜歯創の治癒の過程を説明できる。 2. 骨折の治癒過程を説明できる。 3. 修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 4. 器質化を説明できる。 5. 変性と関連疾患の病態を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
22	11月5日(水) 3時限	[説明力アップ演習⑧] 前回の症例から 唾液腺腫瘍 1) 多形腺腫 2) Warthin 腫瘍 3) 粘表皮癌 4) 腺房細胞癌 5) 腺様嚢胞癌 唾液腺の非腫瘍性疾患 6) シェーグレン症候群	1. 代表的な唾液腺腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. Sjögren 症候群の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
23	11月5日(水) 4時限	唾液腺腫瘍 1) 多形腺腫 2) Warthin 腫瘍 3) 粘表皮癌 4) 腺房細胞癌 5) 腺様嚢胞癌 唾液腺の非腫瘍性疾患 6) シェーグレン症候群	1. 代表的な唾液腺腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. Sjögren 症候群の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
24	11月5日(水) 5時限	唾液腺腫瘍 1) 多形腺腫 2) Warthin 腫瘍 3) 粘表皮癌 4) 腺房細胞癌 5) 腺様嚢胞癌 唾液腺の非腫瘍性疾患 6) シェーグレン症候群 唾液腺腫瘍の総括講義	1. 代表的な唾液腺腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. Sjögren 症候群の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
25	11月12日(水) 3時限	[説明力アップ演習⑨] 前回の症例から 発生病態学の課題	1. 口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。 2. 歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 3. 歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 4. 染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 5. 口唇裂・口蓋裂の病態を説明できる。 6. 口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 7. クロウン病について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
26	11月12日(水) 4時限	発生病態学の課題	1. 口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。 2. 歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 3. 歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 4. 染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 5. 口唇裂・口蓋裂の病態を説明できる。 6. 口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 7. クロウン病について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
27	11月12日(水) 5 時限	発生病態学の課題	1. 口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。 2. 歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 3. 歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 4. 染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 5. 口唇裂・口蓋裂の病態を説明できる。 6. 口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 7. クロウン病について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
28	11月19日(水) 3 時限	[説明力アップ演習⑩] 前回の症例から 口腔の粘膜疾患 1) 天疱瘡 2) 口腔扁平苔癬 3) 歯肉のメラニン沈着症 口腔領域の感染症 4) 放線菌症 5) カンジダ症	1. 口腔領域の感染症を説明できる。 2. 口腔領域の免疫異常を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
29	11月19日(水) 4 時限	口腔の粘膜疾患 1) 天疱瘡 2) 口腔扁平苔癬 3) 歯肉のメラニン沈着症 口腔領域の感染症 4) 放線菌症 5) カンジダ症	1. 口腔領域の感染症を説明できる。 2. 口腔領域の免疫異常を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
30	11月19日(水) 5 時限	口腔の粘膜疾患 1) 天疱瘡 2) 口腔扁平苔癬 3) 歯肉のメラニン沈着症 口腔領域の感染症 4) 放線菌症 5) カンジダ症	1. 口腔領域の感染症を説明できる。 2. 口腔領域の免疫異常を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
31	11月26日(水) 3 時限	[説明力アップ演習⑪] 前回の症例から 口腔粘膜の白色病変 1) 過角化症 2) 錯角化症 3) 軽度上皮異形成症 4) 重度上皮異形成症 腫瘍総論 5) 腺腫 6) 腺癌 7) 線維腫 8) 線維肉腫 9) 平滑筋腫 10) 平滑筋肉腫	1. 白板症の組織学的特徴を説明できる。 2. 腫瘍の定義を説明できる。 3. 腫瘍の病因を説明できる。 4. 上皮異形成を説明できる。 5. 腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 6. 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 7. 腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
32	11月26日(水) 4 時限	口腔粘膜の白色病変 1) 過角化症 2) 錯角化症 3) 軽度上皮異形成症 4) 重度上皮異形成症 腫瘍総論 5) 腺腫 6) 腺癌 7) 線維腫 8) 線維肉腫 9) 平滑筋腫 10) 平滑筋肉腫	1. 白板症の組織学的特徴を説明できる。 2. 腫瘍の定義を説明できる。 3. 腫瘍の病因を説明できる。 4. 上皮異形成を説明できる。 5. 腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 6. 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 7. 腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
33	11月26日(水) 5時限	口腔粘膜の白色病変 1) 過角化症 2) 錯角化症 3) 軽度上皮異形成症 4) 重度上皮異形成症 腫瘍総論 5) 腺腫 6) 腺癌 7) 線維腫 8) 線維肉腫 9) 平滑筋腫 10) 平滑筋肉腫	1. 白板症の組織学的特徴を説明できる。 2. 腫瘍の定義を説明できる。 3. 腫瘍の病因を説明できる。 4. 上皮異形成を説明できる。 5. 腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 6. 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 7. 腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
34	12月3日(水) 3時限	[説明力アップ演習⑫] 前回の症例から 口腔粘膜の腫瘍 1) 乳頭腫 2) 高分化型扁平上皮癌 3) 低分化型扁平上皮癌 4) 擦過細胞診標本 (Class I) 5) 擦過細胞診標本 (Class V)	1. 口腔の良性上皮性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. 口腔の扁平上皮癌の組織学的特徴を説明できる。 3. 擦過細胞診における正常および腫瘍細胞像を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
35	12月3日(水) 4時限	口腔粘膜の腫瘍 1) 乳頭腫 2) 高分化型扁平上皮癌 3) 低分化型扁平上皮癌 4) 擦過細胞診標本 (Class I) 5) 擦過細胞診標本 (Class V)	1. 口腔の良性上皮性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. 口腔の扁平上皮癌の組織学的特徴を説明できる。 3. 擦過細胞診における正常および腫瘍細胞像を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
36	12月3日(水) 5時限	口腔粘膜の腫瘍 1) 乳頭腫 2) 高分化型扁平上皮癌 3) 低分化型扁平上皮癌 4) 擦過細胞診標本 (Class I) 5) 擦過細胞診標本 (Class V) [診断に必要な臨床検査③] 検体検査(2)	1. 口腔の良性上皮性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。 2. 口腔の扁平上皮癌の組織学的特徴を説明できる。 3. 擦過細胞診における正常および腫瘍細胞像を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
37	12月10日(水) 3時限	[説明力アップ演習⑬] 前回の症例から 口腔領域の骨・軟部腫瘍 1) 骨形成線維腫 2) 骨肉腫 3) ホジキンリンパ腫 4) びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 5) 悪性黒色腫	1. 骨および軟部組織に発生する代表的な非菌原性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
38	12月10日(水) 4時限	口腔領域の骨・軟部腫瘍 1) 骨形成線維腫 2) 骨肉腫 3) ホジキンリンパ腫 4) びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 5) 悪性黒色腫	1. 骨および軟部組織に発生する代表的な非菌原性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
39	12月10日(水) 5時限	口腔領域の骨・軟部腫瘍 1) 骨形成線維腫 2) 骨肉腫 3) ホジキンリンパ腫 4) びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 5) 悪性黒色腫 [診断に必要な臨床検査⑦] 口腔の検査・摂食嚥下の検査	1. 骨および軟部組織に発生する代表的な非菌原性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
40	12月17日(水) 3時限	[説明力アップ演習⑭] 前回の症例から 口腔領域の軟部腫瘍 1) 脂肪腫 2) 神経鞘腫 3) 毛細血管腫 4) 海綿状血管腫 5) 海綿状リンパ管腫	1. 軟部組織に発生する代表的な非菌原性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
41	12月17日(水) 4時限	口腔領域の軟部腫瘍 1) 脂肪腫 2) 神経鞘腫 3) 毛細血管腫 4) 海綿状血管腫 5) 海綿状リンパ管腫	1. 軟部組織に発生する代表的な非菌原性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
42	12月17日(水) 5時限	口腔領域の軟部腫瘍 1) 脂肪腫 2) 神経鞘腫 3) 毛細血管腫 4) 海綿状血管腫 5) 海綿状リンパ管腫 [試験・説明力アップ口頭試問]	1. 軟部組織に発生する代表的な非菌原性腫瘍の組織学的特徴を説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
43	1月7日(水) 3時限	病理診断の実際・ Clinico Pathological Conference (CPC)	1. 病理解剖・剖検について説明できる。 2. CPCについて概説できる。 3. CPCの意義について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
44	1月7日(水) 4時限	病理診断の実際・ Clinico Pathological Conference (CPC)	1. 病理解剖・剖検について説明できる。 2. CPCについて概説できる。 3. CPCの意義について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光
45	1月7日(水) 5時限	病理診断の実際・ Clinico Pathological Conference (CPC)	1. 病理解剖・剖検について説明できる。 2. CPCについて概説できる。 3. CPCの意義について説明できる。	村上 聡 嶋田 勝光

全部床義歯補綴学 (C3150)

第3学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：樋口大輔、黒岩昭弘
講師：吉田裕哉
助教：平井博一郎
特任教授：鷹股哲也
非常勤講師：菅沼岳史

【一般目標（GIO）】

1. 頭頸部・口腔領域の基本的な構造と機能を理解するとともに、歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対する修復の臨床的意義と方法を理解する。
2. 無歯顎という特殊な口腔内状態を理解し、歯の喪失により生じた形態的・機能的変化を全部床義歯により、いかに回復し、維持するかを理解するとともに、全部床義歯補綴治療に必要な知識と技法を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 顎口腔系の概念を理解し、説明できる。
2. 咬合について有歯顎、無歯顎者を区別し説明できる。
3. 全部床義歯製作の流れを説明できる。
4. 全部床義歯による処置法の詳細な臨床技法について理論および手技を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 藍 稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学建書院）
市川哲雄ほか編「無歯顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版）
細井紀雄ほか編：「コンプリートデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）
藍 稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第4版）」（学建書院）
〔参考書〕 山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無歯顎補綴学」（学建書院）
黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）
大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）*
三浦宏之ほか編：「クラウンブリッジテクニック（第2版）」（医歯薬出版）*
山下秀一郎ほか編：「有床義歯補綴学」（永末書店）
赤川安正ほか：「歯学生のパーシャルデンチャー（第7版）」（医歯薬出版）*
矢谷博文ほか編：「クラウンブリッジ補綴学（第7版）」（医歯薬出版）*
石上 元ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第5版）」（永末書店）
赤川安正ほか編：「よくわかる口腔インプラント学（第4版）」（医歯薬出版）*
古谷野潔ほか編：「新編 顎関節症（改訂版）」（永末書店）
森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版）
佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学」（永末書店）
（* 印は4年次に購入指示予定）

【教育（学習）方略（LS）】

授業はスライドを中心に適宜板書等を用いて行う。また、適宜受講者へ質問し、参加型授業を展開する。
Weekly Test では1回の授業につき、3問～4問出題する。

【フィードバック方法】

講義、実習内容の質問は担当教員に申し出ること。必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

下記の配分で評価を行う。

- ・定期試験：65%
- ・受講態度：5%
- ・Weekly Test：30%

欠席は特別な理由がない限り認めない。欠席回数は大きく成績に反映させる。

アンプロフェッショナルな行動・講義中の風紀を乱す行為は受講態度の割合を超えて大幅な減点対象となる。

前期と後期はそれぞれ評価し、最終成績は両者を勘案して決定する。

再試験受験者の成績は65点を上限に、再試験での結果を最終評価に用いることとする。

【注意事項】

1. 欠席は特別な理由がない限り認めない。一部日程が変則的になっている箇所があるため、講義時に配布する受講上の注意と学生イントラを常に確認すること。
2. 教科書は次年度以降も講義・実習で使用するので指定したものを必ず購入すること。参考書は必要に応じて購入・図書館で閲覧すること。
3. 科目としては全部床義歯補綴学であるが、前期は歯科補綴学総論について学習する。その内容を踏まえて後期は全部床義歯補綴学について学習する。
4. 3年次に学習する歯科補綴学総論・全部床義歯補綴学のいずれの内容も、4年次に開講する部分床義歯補綴学・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学・歯科補綴学実習Ⅰ・Ⅱに関連する内容であるため3年次のうちに理解するように努めること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）

復 習：講義中に指定した教科書の項目や図を中心に講義内容を復習すること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了時から当日17：30まで

樋口大輔、吉田裕哉、霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏、菅沼岳史：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室

黒岩昭弘：本館4階西棟 歯科理工学講座教授室

鷹股哲也：本館2階北棟 共同教授室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

全部床義歯補綴学			第3学年（前期・後期）	
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	4月14日(月) 2時限	歯科補綴学総論1 歯科補綴学序論	医療における 歯科補綴学の臨床的意義と学問体系を説明できる。 補綴歯科治療の目的、臨床的意義について説明できる。 欠損補綴の意義を説明できる。 欠損補綴処置の多様性を説明できる。 回復すること、維持することの重要性を説明できる。	樋口 大輔
2	4月21日(月) 2時限	歯科補綴学総論2 顎口腔系の形態と機能	顎口腔の解剖学的形態について説明できる。 顎口腔の機能について説明できる。 咬合に関連する顎口腔系の各構成要素について、その形態と機能を関連づけることができる。	黒岩 昭弘
3	4月28日(月) 2時限	歯科補綴学総論3 咬合に関与する基準点・平面 下顎位・下顎運動	下顎運動分析に用いられる基準点・基準面について説明できる。 補綴歯科治療に必要な基準点・平面についてその臨床的意義を関連づけることができる。 顎関節と咬合の関係を説明できる。 補綴歯科治療に必要な下顎位についてそれぞれ説明できる。 下顎運動を説明できる。 顎頭点と切歯点における下顎運動軌跡を説明できる。	菅沼 岳史
4	5月12日(月) 2時限	歯科補綴学総論4 咬合	顎口腔系における咬合の役割を説明できる。 咬合の維持と回復の重要性について説明できる。 機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係について、下顎運動と関連づけて説明できる。 咬頭嵌合位における咬合接触について説明できる。 偏心位における咬合接触（咬合様式）を、有歯顎および無歯顎に分類できる。 正常有歯顎者における咬合の特徴を説明できる。	菅沼 岳史
5	5月19日(月) 2時限	歯科補綴学総論5 顎口腔系の形態と機能の変化	歯の欠損に伴う顎口腔の変化について説明できる。 歯の欠損を生じる因子について説明できる。 顎口腔系の加齢変化を説明できる。	吉田 裕哉
6	5月26日(月) 2時限	歯科補綴学総論6 補綴装置の概要 補綴装置の要件	歯冠補綴装置（クラウンおよびブリッジ）の種類、特徴、目的を説明できる。 可撤性有床義歯（部分床義歯および全部床義歯）の種類、特徴、目的を説明できる。 口腔インプラントの種類、特徴、目的を説明できる。 補綴装置の生物学的・機能的・力学的・審美的・材料学的要件を説明できる。 欠損補綴の意義を説明できる。 欠損補綴処置の多様性を説明できる。	樋口 大輔
7	6月2日(月) 2時限	歯科補綴学総論7 補綴歯科診療における診察・診断・検査 治療計画立案 口腔関連 QoL と補綴臨床判断	補綴歯科治療における診察・診断・検査について説明できる。 治療計画の立案方法を説明できる。 歯科補綴学に必要な診断基準を説明できる。 欠損歯列患者の病態と口腔関連 QoL について説明できる。 補綴歯科治療の選択に関する臨床判断について説明できる。	樋口 大輔

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
8	6月9日(月) 2時限	歯科補綴学総論8 補綴歯科治療計画を左右する因子	補綴歯科治療における診察・診断について説明できる。 治療計画の立案方法を説明できる。 歯科補綴計画を左右する因子を説明できる。	吉田 裕哉
9	6月16日(月) 2時限	歯科補綴学総論9 顎関節症	顎関節症の症状、病態および疫学的特徴を列挙し、 発症メカニズムについて説明できる。 顎関節症の治療法を概説できる。	吉田 裕哉
10	6月23日(月) 2時限	歯科補綴学総論10 口腔機能と非機能的運動	顎口腔の機能について説明できる。 ブラキシズムが顎口腔系にもたらす障害について説明できる。	吉田 裕哉
11	6月30日(月) 2時限	歯科補綴学総論11 スポーツ歯科医学	スポーツ歯科医学の意義について説明できる。 スポーツドクターの役割について説明できる。 スポーツマウスガードの目的と機能を説明できる。 歯の外傷について説明できる。 スポーツ選手と歯科の関係について説明できる。	鷹股 哲也
12	7月7日(月) 2時限	歯科補綴学総論12 咬合器	上下顎の顎間関係を説明できる。 顎間関係記録する下顎位と顎間関係記録の採得法を説明できる。 咬合器の使用目的と分類について説明できる。 下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 咬合器の種類と特徴を説明できる。	吉田 裕哉
13	7月14日(月) 2時限	歯科補綴学総論13 顎間関係記録	咬合器装着および咬合器の調節方法について説明できる。 フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。 前方基準点・後方基準点を説明できる。	吉田 裕哉
14	7月28日(月) 2時限	歯科補綴学総論14 問題演習	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
15	8月18日(月) 2時限	歯科補綴学総論15 歯科補綴学総論 講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	吉田 裕哉 平井博一郎
16	9月8日(月) 2時限	全部床義歯補綴学1 全部床義歯補綴学概論 全部床義歯製作過程概要	無歯顎の病態を説明できる。 全部床義歯の構成要素について説明できる。 全部床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	吉田 裕哉
17	9月16日(火) 2時限	全部床義歯補綴学2 無歯顎の解剖学的事項	無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 全部床義歯の維持安定と離脱に関与する筋を説明できる。	吉田 裕哉
18	9月29日(月) 2時限	全部床義歯補綴学3 無歯顎患者の診察・診断 前処置	無歯顎の病態を説明できる。 全部床義歯の製作に際して必要な前処置を説明できる。	吉田 裕哉
19	10月6日(月) 2時限	全部床義歯補綴学4 無歯顎の印象採得	概形印象採得と精密印象採得を説明できる。 既製トレーと個人トレーの違いを説明できる。 筋圧形成の目的と関わる筋肉を説明できる。 印象材の種類と適応を説明できる。 研究用模型と作業用模型の製作法を説明できる。	吉田 裕哉
20	10月15日(水) 2時限	全部床義歯補綴学5 無歯顎の顎間関係記録1 咬合器装着	咬合床の役割を説明できる。 リップサポートと仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 垂直的・水平的顎間関係の決定方法を説明できる。 咬合床に記入する標示線を説明できる。 作業用模型の咬合器への装着法について説明できる。	吉田 裕哉

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
21	10月20日(月) 2 時限	全部床義歯補綴学 6 無歯顎の顎間関係記録 2	ゴシックアーチ描記法を説明できる。 作業用模型の咬合器への装着法について説明できる。	吉田 裕哉
22	10月27日(月) 2 時限	全部床義歯補綴学 7 前歯部人工歯選択と排列	人工歯の種類と材質を説明できる。 前歯部の人工歯選択方法を説明できる。 基本的な前歯部人工歯排列方法を説明できる。	吉田 裕哉
23	11月 6 日(木) 2 時限	全部床義歯補綴学 8 全部床義歯の咬合	有歯顎と無歯顎の咬合様式の違い説明できる。 全部床義歯に付与する咬合様式を説明できる。	吉田 裕哉
24	11月10日(月) 2 時限	全部床義歯補綴学 9 臼歯部人工歯選択と排列	人工歯の形態的な分類を説明できる。 臼歯部の人工歯選択方法を説明できる。 基本的な臼歯部人工歯排列方法を説明できる。	吉田 裕哉
25	11月17日(月) 2 時限	全部床義歯補綴学10 歯肉形成 ろう義歯試適	歯肉形成について説明できる。 ろう義歯試適の診査項目について説明できる。 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を説明できる。	吉田 裕哉
26	12月 1 日(月) 2 時限	全部床義歯補綴学11 埋没・重合 咬合器再装着 咬合調整	レジンてん入法・重合法について説明できる。 各種フラスク埋没法について説明できる。 咬合器再装着の意義と方法について説明できる。 削合の手順について説明できる。 義歯床研磨の目的を説明できる。	吉田 裕哉
27	12月 8 日(月) 2 時限	全部床義歯補綴学12 義歯装着と患者指導	義歯装着時の診察・検査項目・手順を説明できる。 患者指導について説明できる。 義歯装着後の不快事項の原因とその対応を説明できる。	吉田 裕哉
28	12月15日(月) 2 時限	全部床義歯補綴学13 術後管理	装着後の生体と義歯の変化と管理について説明できる。 リライン、リベースについて説明できる。 義歯破損と修理について説明できる。	吉田 裕哉
29	12月22日(月) 2 時限	全部床義歯補綴学14 さまざまな義歯	即時義歯、治療用義歯、移行義歯について説明できる。 金属床による全部床義歯の特徴、製作法について説明できる。	吉田 裕哉
30	1 月 5 日(月) 2 時限	全部床義歯補綴学15 全部床義歯補綴学 講義総括 問題演習	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。 これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉 平井博一郎

歯冠彫刻実習 (C3160)

第3学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：亀山敦史、平賀 徹、金銅英二、黒岩昭弘、川原良美
特任教授：森 啓
准教授：横井由紀子
講師：谷内秀寿、村岡理奈、小町谷美帆、小松佐保
助教：中根 隆、宮脇理功
助手：平岡敬太、河村裕太、佐々木惣平、牧田将和
非常勤講師：三溝泰弘、西家 孝、安福正美、北澤富美

【一般目標（GIO）】

臨床系歯科医学を総合的に理解し、適切で高度な歯科医療を提供するために、各々の歯の三次元的特徴およびその機能的役割に関する基本的な知識、技能を修得するとともに、実習を通して歯科医療人として望ましい態度、論理的思考および問題解決能力を身につける。

【行動目標（SBOs）】

1. 各々の歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。（知識：想起）
2. 各々の歯の形態学的特徴を石膏彫刻で再現できる。（技能：模倣）
3. 咬合や歯列、周囲組織に調和した歯冠形態をワックスアップで機能的に再現できる。（技能：模倣・コントロール）
4. 再現した歯の形態を評価できる。（知識：解釈、態度）
5. 自己評価や他の学生、インストラクターからの評価をもとに、改善案を提示できる。（知識：問題解決）
6. 改善案をもとに歯の形態を修正できる。（技能：コントロール）
7. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。（態度）

【教科書・参考書】

〔教科書〕 菊池憲一郎他：「歯の解剖学と歯型彫刻法」（医歯薬出版）
藤田恒太郎：「歯の解剖学 第22版」（金原出版）
〔参考書〕 尾花甚一他：「最新歯型彫刻 第2版」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

1. ミニレクチャー、実習説明（受動的学修）
2. 歯のデッサン（能動的学修）
3. 石膏棒を用いた歯の彫刻実習（能動的学修）
4. 模型歯に対するコンポジットレジンでの歯の形態模倣（能動的学修）
5. 彫刻の自己評価および相互評価（能動的学修）

【フィードバック方法】

Weekly Test や定期試験で正答率の低い問題については学生イントラに解説を掲載することがあるので確認すること。

【評価方法（Evaluation）】

1. プレテスト、ポストテスト（形成的評価）
講義内容、実習内容の理解度について穴埋め式試験などで評価する。（0%）
2. Weekly Test（形成的評価・総括的評価）
実習内容の理解度について多肢選択式試験で評価する。（30%）
3. 製作プロダクトおよびチェックシート（形成的評価）
実習での製作プロダクト・製作後レポートから知識・技能の修得度や実習中の態度を評価し、個々にフィードバックを行う。（0%）

4. 定期試験（総括的評価）

知識・技能・態度のそれぞれに関する実習内容の修得度（到達度）を筆記試験（多肢選択式）および実技試験（デッサン）で評価する。（70％）

【注意事項】

1. 実習にふさわしい、清潔で安全性に配慮した服装，髪型に十分留意すること。
2. 決められたスケジュールに合わせて着実に実習を進めること。
3. その他、決められた注意事項を守ること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスで実習内容を確認し、必要な器材などを用意する。（30分）

復 習：実習を通して学んだ事項を確認し、歯の形態学的特徴や各々の名称に関する知識を確実なものにする。（60分）

【オフィスアワー】

金銅：毎週水曜日 17：30～19：00 本館西棟3階 衛生学院技工実習室 この日以外は要予約。

TEL 0263-51-2032 eiji.kondo@mdu.ac.jp まで

オフィスアワーの時間を積極的に利用すること。

【授業日程】

歯冠彫刻実習 第3学年（前期）					
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	4月18日(金) 1時限	オリエンテーション 模型歯の測定 ミニレクチャー（上顎切歯） デッサン（上顎中切歯）	1. 各々の歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。（知識：想起） 2. 歯の長径や幅径を計測し、記録できる。（技能） 3. 計測結果をもとに、形態学的特徴を図示できる。（技能） 4. 作成した図を用いて歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。（知識：解釈） 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。（態度）	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 黒岩 昭弘 森 啓 川原 良美 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 三溝 泰弘 北澤 富美	河村 裕太
2	4月18日(金) 2時限				
3	4月25日(金) 1時限	歯のデッサン （上顎中切歯・上顎側切歯） コンボジットレジンによる歯冠形態構築 （上顎右側中切歯）	1. 上顎切歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。（知識：想起） 2. 歯の長径や幅径を計測し、記録できる。（技能：模倣） 3. 計測結果をもとに、形態学的特徴を図示できる。（技能） 4. 作成した図を用いて歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。（知識：解釈） 5. 歯冠形態を模型歯上で再現できる。（技能：模倣） 6. 再現した歯冠形態を評価できる。（知識：解釈） 7. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。（態度） 8. 安全性に配慮できる。（態度）	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 川原 良美 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 三溝 泰弘 北澤 富美	河村 裕太
4	4月25日(金) 2時限				
5	5月2日(金) 1時限	石膏棒での歯冠彫刻法の説明とデモン ストレーション 三角錐・四角錐の彫刻 歯の彫刻（石膏・上顎側切歯）	1. 上顎切歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。（知識：想起） 2. 上顎切歯の歯冠形態を石膏彫刻で再現できる。（技能：模倣） 3. 再現した歯の形態を評価できる。（知識：解釈） 4. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。（態度） 5. 安全性に配慮できる。（態度）	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 川原 良美 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 三溝 泰弘 北澤 富美	河村 裕太
6	5月2日(金) 2時限				
7	5月9日(金) 1時限	歯の彫刻（石膏・上顎側切歯、下顎切歯）	1. 上下顎切歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。（知識：想起） 2. 上下顎切歯の歯冠形態を石膏彫刻で再現できる。（技能：模倣） 4. 再現した歯の形態を評価できる。（知識：解釈） 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。（態度） 6. 安全性に配慮できる。（態度）	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 三溝 泰弘 北澤 富美	平岡 敬太 佐々木悠平
8	5月9日(金) 2時限				

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
9	5月16日(金) 1時限	ミニレクチャー (上顎大白歯) デッサン (上顎大白歯)	1. 上顎大白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 歯の長径や幅径を計測し、記録できる。(技能：模倣) 3. 計測結果をもとに、形態学的特徴を図示できる。(技能) 4. 作成した図を用いて歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：解釈) 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 6. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 黒岩 昭弘 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 三溝 泰弘 北澤 富美	平岡 敬太 佐々木惣平
10	5月16日(金) 2時限				
11	5月23日(金) 1時限	コンポジットレジンによる 歯冠形態築盛 (上顎左側第一大臼歯)	1. 上顎大白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 歯冠形態を模型歯上で再現できる。(技能：模倣) 3. 再現した歯冠形態を評価できる。(知識：解釈) 4. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 5. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 三溝 泰弘 安福 正美 北澤 富美	平岡 敬太 佐々木惣平
12	5月23日(金) 2時限				
13	5月30日(金) 1時限	歯の彫刻 (石膏・上顎大白歯)	1. 上顎大白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 上顎大白歯の歯冠形態を石膏彫刻で再現できる。(技能：模倣) 4. 再現した歯の形態を評価できる。(知識：解釈) 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 6. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 三溝 泰弘 西家 孝 北澤 富美	牧田 将和
14	5月30日(金) 2時限				
15	6月6日(金) 1時限	ミニレクチャー (下顎大白歯) デッサン (下顎大白歯)	1. 下顎大白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 歯の長径や幅径を計測し、記録できる。(技能：模倣) 3. 計測結果をもとに、形態学的特徴を図示できる。(技能) 4. 作成した図を用いて歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：解釈) 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 6. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 中根 隆 三溝 泰弘 北澤 富美	牧田 将和
16	6月6日(金) 2時限				

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
17	6月13日(金) 1時限	コンボジットレジンによる 歯冠形態築盛 (下顎右側第一大臼歯)	1. 下顎大白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 歯冠形態を模型歯上で再現できる。(技能：模倣) 3. 再現した歯冠形態を評価できる。(知識：解釈) 4. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 5. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 中根 隆 三溝 泰弘 西家 孝 北澤 富美	牧田 将和
18	6月13日(金) 2時限				
19	6月20日(金) 1時限	歯の彫刻 (石膏・下顎大白歯)	1. 下顎大白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 下顎大白歯の歯冠形態を石膏彫刻で再現できる。(技能：模倣) 4. 再現した歯の形態を評価できる。(知識：解釈) 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 6. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 村岡 理奈 小町谷美帆 小松 佐保 宮脇 理功 三溝 泰弘 北澤 富美	河村 裕太
20	6月20日(金) 2時限				
21	6月27日(金) 1時限	歯の彫刻 (石膏・下顎大白歯)	1. 下顎大白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 下顎大白歯の歯冠形態を石膏彫刻で再現できる。(技能：模倣) 4. 再現した歯の形態を評価できる。(知識：解釈) 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 6. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 村岡 理奈 小町谷美帆 小松 佐保 宮脇 理功 三溝 泰弘 安福 正美 北澤 富美	河村 裕太
22	6月27日(金) 2時限				
23	7月4日(金) 1時限	ミニレクチャー (上顎小白歯) デッサン (上下顎小白歯)	1. 上下顎小白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 歯の長径や幅径を計測し、記録できる。(技能：模倣) 3. 計測結果をもとに、形態学的特徴を図示できる。(技能) 4. 作成した図を用いて歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：解釈) 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 6. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 村岡 理奈 小町谷美帆 小松 佐保 宮脇 理功 三溝 泰弘 北澤 富美	佐々木惣平
24	7月4日(金) 2時限				

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
25	7月11日(金) 1時限	歯の彫刻 (石膏・上顎小白歯)	1. 上下顎小白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 上下顎小白歯の歯冠形態を石膏彫刻で再現できる。(技能：模倣) 4. 再現した歯の形態を評価できる。(知識：解釈) 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 6. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 黒岩 昭弘 川原 良美 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 三溝 泰弘 北澤 富美	佐々木惣平
26	7月11日(金) 2時限				
27	7月18日(金) 1時限	歯の彫刻 (石膏・上下顎小白歯)	1. 上下顎小白歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 上下顎小白歯の歯冠形態を石膏彫刻で再現できる。(技能：模倣) 4. 再現した歯の形態を評価できる。(知識：解釈) 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 6. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 中根 隆 三溝 泰弘 北澤 富美	牧田 将和
28	7月18日(金) 2時限				
29	7月25日(金) 1時限	歯のデッサン (上下顎犬歯) 総括	1. 上下顎犬歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：想起) 2. 歯の長径や幅径を計測し、記録できる。(技能：模倣) 3. 計測結果をもとに、形態学的特徴を図示できる。(技能) 4. 作成した図を用いて歯の形態学的・機能的特徴を説明できる。(知識：解釈) 5. 歯科医療人として望ましい身だしなみ・姿勢・態度で実習に参加できる。(態度) 6. 安全性に配慮できる。(態度)	亀山 敦史 平賀 徹 金銅 英二 森 啓 横井由紀子 谷内 秀寿 小町谷美帆 小松 佐保 宮脇 理功 三溝 泰弘 北澤 富美	牧田 将和
30	7月25日(金) 2時限				

保存修復学 (C3170)

第3学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

教授：亀山敦史
准教授：森 啓、横井由紀子
講師：小町谷美帆、小松佐保
助教：中村圭吾、甲田訓子、宮下 彩
助手：高坂怜子
非常勤講師：村松 敬

【一般目標（GIO）】

歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態に関する知識、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する知識と態度を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 歯の硬組織における常態を説明できる。
2. 歯の硬組織疾患における病態およびその病因について説明できる。
3. 歯の硬組織疾患の診断および治療計画の立案に必要な診察および検査項目を説明できる。
4. 歯の硬組織疾患に対する処置について、臨床的意義と方法を説明できる。
5. 歯の硬組織疾患に対する処置に必要な器具とその使用法を説明できる。
6. 歯の硬組織疾患に対する処置に必要な歯科用生体材料の特性、成分、構造、ならびに材料の選択基準とその使用法を説明できる。
7. 修復後の口腔健康管理とその手法について説明できる。
8. 歯の硬組織に生じた疾患の病態や病因、治療法について討論できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕千田 彰・宮崎真至・林 美加子・向井義晴・斎藤隆史編：「保存修復学（第7版）」（医歯薬出版）
田上順次・奈良陽一郎・山本一世・斎藤隆史監修：「第六版 保存修復学21」（永末書店）

〔参考書〕千田 彰・寺下正道・田上順次・奈良陽一郎・宮崎真至・片山 直編：「保存クリニカルガイド（第2版）」（医歯薬出版）

【教育（学修）方略（LS）】

1. 受動的方法：講義
2. 能動的方法：協同学修（Small Group Discussion）
3. 媒体：スライド、プリント、コンピューター画像など

【評価方法（Evaluation）】

- 1) 定期試験（総括的評価）：前期60%、後期65%
講義内容の理解度について論述・記述試験で評価する。
- 2) レポート（総括的評価）：5%（前期のみ）
講義内容に関連するレポートについて、その内容を評価する。
- 3) SGDでの態度（総括的評価）：5%
SGD時の態度・マナー、討論への積極性、着眼点について評価シートで評価する。
- 4) Weekly Test（形成的評価、総括的評価）：30%
各回の講義について、重要なポイントを把握するため、学生自身が自己の理解度を把握するために行う。

【注意事項】

講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。
教科書を必ず持参すること。

【準備学修時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスに記載されている内容について、教科書に目を通すこと。(15分)

復 習：講義内容をふまえ、シラバスの SBOs に記載されている内容をノートなどにまとめておくこと。(45分)

【オフィスアワー】

原則として前期 木曜日、後期 金曜日（講義を行った日）17:00～18:00

本館 3 階東棟 歯科保存学講座 亀山教授室または歯科保存学講座修復研究室

オフィスアワー以外でも時間が許す限りで随時質問を受け付けます。

ただし、不在の可能性があるので、できるだけ事前予約の上でお越しください。

(Email: atsushi.kameyama@mdu.ac.jp)

【授業日程】

保存修復学				
第3学年（前期・後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月17日(木) 2時限	保存修復学概説(1) 1. 保存修復学の概念と目的 2. 保存修復学の歴史 3. 歯の機能と加齢に伴う変化 1) 歯の構造と機能	1. 歯科保存学を分類できる。(想起) 2. 保存修復の目的を説明できる。(想起) 3. 保存修復学の歴史を概説できる。(想起) 4. 保存修復学に用いる器具、材料について説明できる。(想起) 5. 歯の硬組織について説明できる。(想起) 6. 正常組織の構造について説明できる。(想起)	亀山 敦史
2	4月24日(木) 2時限	保存修復学概説(2) 4. 硬組織疾患、歯の発育異常および関連疾患 1) 齲蝕 2) 非齲蝕性硬組織疾患 3) 変色歯 4) 象牙質知覚過敏	1. 歯の硬組織疾患を分類できる。(想起) 2. 硬組織疾患について、それぞれを説明できる。(想起) 3. 齲蝕の好発年齢と性、好発部位を説明できる。(想起) 4. Tooth wear を分類し、説明できる。(想起) 5. 発育異常に伴う歯の硬組織疾患を列挙し説明できる。(想起)	亀山 敦史
3	5月1日(木) 2時限	診療設備とその使用法 1. 診療環境 2. 診療姿勢 3. 感染予防対策 診断と治療計画(1) 1. 医療面接	1. 歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。(想起) 2. 望ましい診療姿勢を説明できる。(想起) 3. スタンダードプリコーションの概念を説明できる。(想起) 4. 感染防御に備えた正しい身なりを説明できる。(想起) 5. 医療面接の役割と目的、効果を説明できる。(想起) 6. 医療面接の手法を説明できる。(想起) 7. 病歴聴取の方法と必要事項を説明できる。(想起) 8. POS（問題志向型システム）を説明できる。(想起) 9. BATHE 法を説明できる。(想起)	亀山 敦史
4	5月8日(木) 2時限	診断と治療計画(2) 2. 検査法	1. 歯式の表現法を列挙し説明できる。(想起) 2. 歯面表示法を説明できる。(想起) 3. 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。(想起) 4. 歯の硬組織疾患に対する検査法を列挙できる。(想起) 5. 各種検査法の特徴と適応を説明できる。(想起)	亀山 敦史
5	5月15日(木) 2時限	診断と治療計画(2) 3. 治療計画と評価	1. 問題点の抽出法を説明できる。(想起) 2. 身体（医学）的問題点、社会（経済）の問題点、精神（心理）的問題点をそれぞれ説明できる。(想起) 3. 問題の分析手法を説明できる。(想起) 4. 問題解決法としての治療計画立案手法を説明できる。(想起) 5. 診断計画、治療計画、教育計画をそれぞれ説明できる。(想起) 6. POS にもとづいた診療録の記載方法（POMR）を概説できる。(想起) 7. インフォームドコンセントを説明できる。(想起)	亀山 敦史
6	5月22日(木) 2時限	硬組織疾患の処置(1) 1. MI の考え方 2. エナメル質齲蝕の処置 ・再石灰化療法 ・う蝕治療ガイドラインの概要	1. MI の考え方を説明できる。(想起) 2. エナメル質齲蝕の処置法を説明できる。(想起) 3. 再石灰化療法について説明できる。(想起)	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	5月29日(木) 2時限	硬組織疾患の処置(2) 3. 象牙質齲蝕の処置 ・齲蝕象牙質各層の特徴 ・齲蝕病巣の除去法 ・象牙質齲蝕の識別 4. 根面齲蝕の処置	1. 象牙質齲蝕の処置法を説明できる。(想起) 2. 急性齲蝕と慢性齲蝕の臨床的特徴を説明できる。(想起) 3. 齲蝕象牙質の各層の特徴を説明できる。(想起) 4. 根面齲蝕の特徴を説明できる。(想起) 5. 根面齲蝕の処置方針を説明できる。(想起)	亀山 敦史
8	6月5日(木) 2時限	硬組織疾患の処置(2) 5. 齲蝕の処置 ・齲蝕象牙質各層の特徴 ・齲蝕病巣の除去法 ・象牙質齲蝕の識別 ・根面齲蝕の処置	1. 象牙質齲蝕の処置法を説明できる。(想起) 2. 急性齲蝕と慢性齲蝕の臨床的特徴を説明できる。(想起) 3. 齲蝕象牙質の各層の特徴を説明できる。(想起) 4. 根面齲蝕の特徴を説明できる。(想起) 5. 根面齲蝕の処置方針を説明できる。(想起)	亀山 敦史
9	6月12日(木) 2時限	硬組織疾患の処置(3) 6. 非齲蝕性硬組織疾患の処置 ・Tooth wear の処置 ・象牙質知覚過敏の処置 ・破折歯の処置 ・形態異常歯と歯列不正の処置	1. Tooth wear の各々について、メカニズムを説明できる。(想起) 2. Tooth wear の処置方針を説明できる。(想起) 3. 象牙質知覚過敏症のメカニズムを説明できる。(想起) 4. 象牙質知覚過敏症の原因を説明できる。(想起) 5. 象牙質知覚過敏症の処置法を列挙し説明できる。(想起) 6. 象牙質知覚過敏症の処置方針を説明できる。(想起) 7. 象牙質知覚過敏処置の基本術式を説明できる。(想起) 8. 歯の破折を分類できる。(想起) 9. 歯の破折の検査法を列挙し説明できる。(想起) 10. 歯の破折の検査時の注意点を説明できる。(想起) 11. 破折の程度に応じた処置方針を説明できる。(想起) 12. 歯の破折の術後経過について、管理手法を説明できる。(想起)	亀山 敦史
10	6月19日(木) 2時限	硬組織の切削 ・手用切削器具 ・回転切削器械・回転切削器具 ・エアブレイシブ ・音波切削 ・化学的溶解または薬液溶解 ・歯科用レーザー	1. 切削器械、器具および工具を列挙できる。(想起) 2. 各々の切削器具および工具の用途を説明できる。(想起) 3. 各々の切削器具および工具の使用法を説明できる。(想起) 4. 歯科用レーザーの種類について説明できる。(想起) 5. レーザーの安全な使用法について説明できる。(想起) 6. レーザーの適応症について説明できる。(想起)	亀山 敦史
11	6月26日(木) 2時限	窩 洞 ・窩洞の分類 ・窩洞の構成と各部の名称 ・接着性修復窩洞と非接着性修復窩洞 窩洞に具備すべき諸条件(1) ・窩洞外形 ・保持形態	1. 窩洞を分類し、説明できる。(想起) 2. 窩洞の構成および名称を説明できる。(想起) 3. 窩洞に具備すべき諸条件を列挙できる。(想起) 4. 接着性修復と非接着性修復を分類できる。(想起) 5. 直接修復と間接修復を分類できる。(想起) 6. 窩洞外形に影響を与える因子を列挙し、説明できる。(想起) 7. 修復物の脱落因子を列挙し、説明できる。(想起) 8. 保持形態を説明できる。(想起)	亀山 敦史
12	7月3日(木) 2時限	窩洞に具備すべき諸条件(2) ・抵抗形態 ・便宜形態 ・窩縁形態 ・窩洞の清掃	1. 抵抗形態を説明できる。(想起) 2. 便宜形態を説明できる。(想起) 3. 窩縁形態を説明できる。(想起) 4. 窩洞の清掃について説明できる。(想起)	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
13	7月10日(木) 2時限	象牙質・歯髄複合体の保護 ・歯髄傷害の原因 ・象牙質・歯髄複合体の保護法 1) 裏層法 2) 覆髄法 ・仮封	1. 象牙質・歯髄複合体の保護の目的を説明できる。(想起) 2. 歯髄障害の原因を列挙できる。(想起) 3. 高速切削時の注意事項を列挙できる。(想起) 4. 象牙質・歯髄複合体の保護の目的を説明できる。(想起) 5. 歯髄傷害の原因を列挙できる。(想起) 6. 高速切削時の注意事項を列挙できる。(想起) 7. 象牙質・歯髄複合体の保護法を分類し、各々を説明できる。(想起) 8. 象牙質・歯髄複合体保護法の適応症を説明できる。(想起) 9. 象牙質・歯髄複合体の保護法に用いる使用材料・薬剤を説明できる。(想起) 10. 仮封の目的と要件を列挙できる。(想起) 11. 仮封材の種類と各々の使用方法を説明できる。(想起)	亀山 敦史
14	7月17日(木) 2時限	修復治療の前準備・補助法 ・修復時のイニシャルプレパレーション ・術野隔離法・防湿法 ・歯間分離法 ・歯肉排除法 ・隔壁法 ・除痛法	1. 修復時のイニシャルプレパレーションを列挙し、各々を説明できる。(想起) 2. 術野の隔離・防湿法を列挙し、目的と特徴、使用器具を説明できる。(想起) 3. 歯間分離法の目的を説明できる。(想起) 4. 歯間分離法を分類し、各々に用いる器具・材料を列挙できる。(想起) 5. 歯肉排除法の目的を説明できる。(想起) 6. 歯肉排除法を分類し、各々に用いる器具・材料を列挙できる。(想起) 7. 隔壁法の目的を説明できる。(想起) 8. 窩洞の種類に応じた隔壁法を選択し、使用器具を列挙できる。(想起) 9. 除痛法の目的と方法を説明できる。(想起)	亀山 敦史
15	7月24日(木) 2時限	協同学修 (問題演習①)	1. 提示された課題の問題点を抽出できる。(分析) 2. 問題点の原因分析に必要な診断法を列挙できる。(問題解決) 3. 分析結果をもとに適切な問題解決手法を選択できる。(問題解決) 4. グループ討論で積極的に自分の意見を伝えることができる。(態度)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾 甲田 訓子 宮下 彩 高坂 怜子
16	9月12日(金) 1時限	修復物の具備すべき形状と面の性質	1. 修復物に与えるべき形状・形態を説明できる。(想起) 2. 修復物の形態不良により起こりうる問題点を列挙できる。(想起) 3. 隣接接触点の意義と重要性を説明できる。(想起) 4. 修復物に与えるべき隣接面の接触関係 (位置・形状) を説明できる。(想起) 5. 修復物 - 窩縁辺縁部の接合不良により起こりうる問題点を列挙し、説明できる。(想起) 6. 辺縁隆線部の形態不良により起こりうる問題点を列挙し、説明できる。(想起) 7. 修復物表面を滑沢にすることの意義を説明できる。(想起)	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
17	9月19日(金) 1時限	前期試験問題のフィードバック 保存修復学各論 直接修復 1. コンポジットレジン修復(1) ・コンポジットレジン修復の特徴 ・コンポジットレジンの組成・種類 ・光照射器	1. ミニマル・インターベンションを説明できる。(想起) 2. コンポジットレジン修復の特徴を列挙し説明できる。(想起) 3. コンポジットレジンの組成を説明できる。(想起) 4. コンポジットレジン进行分类できる。(想起) 5. コントラクションギャップについて、その現象と原因、予防法および対処法をできる。(想起) 6. C-factorを説明できる。(想起) 7. ホワイトマージンについて、その現象と原因、予防法および対処法をできる。(想起) 8. コンポジットレジン修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 9. 光照射器进行分类し説明できる。(想起) 10. コンポジットレジン修復の適応を説明できる。(想起)	亀山 敦史
18	9月26日(金) 1時限	1. コンポジットレジン修復(2) ・前歯部のコンポジットレジン修復 ・臼歯部のコンポジットレジン修復	1. 前歯に対するコンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 2. 前歯部修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起) 3. 臼歯に対するコンポジットレジン修復の手順を説明できる。(想起) 4. 臼歯部コンポジットレジン修復に必要な器材を列挙し、使用法を説明できる。(想起)	亀山 敦史
19	10月3日(金) 1時限	1. コンポジットレジン修復(3) ・コンポジットレジン接着システム ・修復材料への接着機構	1. 接着性材料进行分类できる。(想起) 2. コンポジットレジン接着システムについて説明できる。(想起) 3. レジン接着システムと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 4. レジン接着システムと修復材料への接着機構を説明できる。	亀山 敦史
20	10月10日(金) 1時限	2. グラスアイオノマーセメント修復 ・グラスアイオノマーセメント修復の特徴 ・グラスアイオノマーセメントの組成 ・グラスアイオノマーセメントの硬化機構と歯質への接着機構 ・グラスアイオノマーセメント修復の手順 ・非侵襲的修復法 (ART) 3. アマルガム修復 ・アマルガム修復の変遷 ・アマルガム修復と水銀 ・アマルガム修復物の撤去・除去	1. グラスアイオノマーセメントの特徴を説明できる。(想起) 2. グラスアイオノマーセメントの硬化機構を説明できる。(想起) 3. グラスアイオノマーセメントと歯質への接着機構を説明できる。(想起) 4. グラスアイオノマーセメント修復窩洞の特徴を説明できる。(想起) 5. ART 法を説明できる。(想起) 6. アマルガム修復の歴史・変遷を説明できる。(想起) 7. アマルガムに含有される水銀が人体と環境に及ぼす影響を説明できる。(想起) 8. アマルガムの撤去・除去時における注意点を列挙できる。(想起)	亀山 敦史
21	10月17日(金) 1時限	間接修復 1. メタルインレー修復(1) ・メタルインレー修復の特徴 ・メタルインレー用歯科用金属の種類と組成 ・メタルインレー修復の適応症と窩洞形態	1. メタルインレー修復の特徴(長所・短所)を説明できる。(想起) 2. メタルインレー用歯科用金属の種類と組成を説明できる。(想起) 3. メタルインレー修復の適応症と窩洞形態を説明する。(想起)	亀山 敦史

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
22	10月24日(金) 1 時限	1. メタルインレー修復(2) ・メタルインレー修復の手順 ・チェアサイド、技工室での作業工程	1. メタルインレー修復の手順を説明できる。(想起) 2. メタルインレー製作の手順と使用材料を説明できる。(想起) 3. メタルインレー合着時における誤飲・誤嚥対策を説明できる。(想起)	亀山 敦史
23	10月31日(金) 1 時限	1. メタルインレー修復(3) ・模型材料 ・ワックスパターン ・埋没材と埋没 ・鑄造方法 ・鑄造欠陥	1. 埋没材の種類と所要性質を説明する。(想起) 2. メタルインレーの鑄造法を説明できる。(想起) 3. 鑄造収縮とその補償法を説明できる。(想起) 4. 鑄造欠陥を列挙し、説明できる。(想起) 5. 鑄造欠陥の防止法を説明できる。(想起)	亀山 敦史
24	11月 7 日(金) 1 時限	2. コンポジットレジンインレー修復	1. コンポジットレジンインレー修復の長所・短所を列挙できる。(想起) 2. コンポジットレジンインレー修復の適応症を説明できる。(想起) 3. コンポジットレジンインレー修復窩洞の特徴を他の修復窩洞と比較し説明できる。(想起) 4. コンポジットレジンインレー修復の手順を説明できる。(想起)	亀山 敦史
25	11月14日(金) 1 時限	3. セラミックインレー修復 4. 歯科用 CAD/CAM による修復法 5. 間接修復の合着と接着(1)	1. セラミックインレー修復の適応症を説明できる。(想起) 2. セラミックインレー修復窩洞の特徴を他の修復窩洞と比較し説明できる。(想起) 3. セラミックインレー修復の手順を説明できる。(想起) 4. CAD/CAM 装置を用いた修復の長所・短所を説明できる。(想起) 5. CAD/CAM 修復に使用する装置や材料について概説できる。(想起) 6. 間接修復における合着と接着の違いと各々のメカニズムを説明できる。(想起) 7. 合着・接着材料の種類を列挙できる。 8. 合着・接着材料の所要性質を列挙できる。 9. 合着・接着材料の組成と各々の特徴を説明できる。(想起)	亀山 敦史
26	11月21日(金) 1 時限	5. 間接修復の合着と接着(2)	1. 間接修復物の合着・接着時における窩洞形成面の表面処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起) 2. 間接修復物の合着・接着時における修復物への処理法とそのメカニズムを説明できる。(想起)	亀山 敦史
27	11月28日(金) 1 時限	変色歯への対応 1) 歯の漂白 2) ベニア修復 3) その他の対応	1. 変色の原因を説明できる。(想起) 2. 変色歯の処置法を説明できる。(想起) 3. 漂白法の分類を説明できる。(想起) 4. 歯科用漂白剤の種類を説明できる。(想起) 5. 漂白のメカニズムを説明できる。(想起) 6. ベニア修復を分類し、それぞれについて説明できる。(想起) 7. ベニア修復の術式を説明できる。(想起)	亀山 敦史
28	12月 5 日(金) 1 時限	高齢者の修復治療	1. 歯の機能と加齢変化について説明できる。(想起) 2. 加齢変化を考慮した修復治療を説明できる。(想起) 3. 根面齲蝕の病態と治療法を説明できる。(想起)	村松 敬

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
29	12月12日(金) 1 時限	修復治療の術後管理 ・ メインテナンス ・ 患者指導 ・ 補修修復 ・ 再研磨 ・ 修復物脱落時の再合着 後期の授業内容のまとめ	1. 修復治療の術後管理を概説できる。(想起) 2. 修復物脱落時の対応を説明できる。(想起) 3. 補修修復の適応とその術式を説明できる。(想起)	亀山 敦史
30	12月19日(金) 1 時限	協同学修 (問題演習②)	1. 提示された課題の問題点を抽出できる。(分析) 2. 問題点の原因分析に必要な診断法を列举できる。(問題解決) 3. 分析結果をもとに適切な問題解決手法を選択できる。(問題解決) 4. グループ討論で積極的に自分の意見を伝えることができる。(態度)	亀山 敦史 森 啓 横井由紀子 小町谷美帆 小松 佐保 中村 圭吾 甲田 訓子 宮下 彩 高坂 怜子

小児歯科学 (C3180)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：大須賀直人

准教授：正村正仁、中村浩志

【一般目標（GIO）】

小児期から成人に至る口腔機能を理解する。

健康を維持・増進することを目的に全身ならびに口腔領域の正常な成長・発育を理解する。

口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した予防法、治療法を理解する。

口腔領域に発生する疾患や異常について成長発育を考慮した健康管理を理解、修得する。

【行動目標（SBOs）】

小児の心身の発育について説明できる。

頭部・顎・顔面の発育について説明できる。

歯の発育と発育の異常について説明できる。

歯列咬合の発育と発育異常について説明できる。

乳歯と幼若永久歯の特徴について説明できる。

小児の齲蝕について説明できる。

小児の歯周疾患について説明できる。

小児の齲蝕予防と進行抑制について説明できる。

小児患者の診療方針について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕大須賀直人他：「小児の口腔科学（第5版）」（学建書院）

大須賀直人他：「小児歯科学基礎・臨床実習（第3版）」（医歯薬出版）

〔参考書〕大須賀直人他：「歯科医のための小児科学入門」（MDU出版会）

大須賀直人他：「小児歯科基礎・臨床実習（第2版）」（医歯薬出版）

大須賀直人他：「小児歯科学（第6版）」（医歯薬出版）

大須賀直人他：「乳歯列における外傷歯の診断と治療（第2版）」（クイッテセンス出版）

大須賀直人他：「乳幼児の口と歯の健診ガイド（第3版）」（医歯薬出版）

大須賀直人他：「小児歯科学 ベーシックテキスト（第3版）」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

各授業にて教科書を用いて基本的知識の習得をはかるとともに必要に応じて黒板に板書する。また、臨床症例や映像を併用し、視覚的、触覚的知識の獲得を行う。なお、講義時間中に必要に応じてテストを行い講義修得度を確認することもある。

【フィードバック方法】

配布資料、教科書、ノートを確認してフィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験と Weekly Test の結果に、出欠席を加味し、評価する。

Weekly Test（30%）、定期試験（70%）とする。

【注意事項】

教科書は必ず持参すること。

講義の遅刻、欠席は評価に加味するので注意すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について予習を行うこと。(15分)

復 習：配付された資料や教科書を復習し知識をまとめること。(45分)

【オフィスアワー】

火曜日 17:00～18:00 本館2階東棟 小児菌科学講座医局 E-mail (info_ped@mdu.ac.jp) で予約をすれば、他の時間でも可能。

【授業日程】

小児歯科学 第3学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	9月9日(火) 1時限	小児歯科概論 1. 意義と目的 2. 成人歯科との相違 3. 歴史と発展	小児期からの成長期歯科診療の意義と目的について説明できる。 小児歯科の診療内容について説明できる。	大須賀直人
2	9月22日(月) 1時限	小児の身体発育 1. 小児期の分類 2. 発育に関する因子 3. 発育の評価法 4. 生理的年齢 5. 身体発育の特徴 6. 各器官の発育	小児期の分類について説明できる。 発育に関する因子について説明できる。 発育の評価法について説明できる。 生理的年齢について説明できる。 身体発育の特徴について説明できる。 各器官の発育について説明できる。	大須賀直人
3	9月30日(火) 1時限	小児の身体発育 1. 生理的特徴 2. 小児の精神発達の特徴と評価法 3. 運動機能の発達 4. 言語の発達 5. 情動の発達 6. 社会性、思考、感覚の発達	小児の生理的特徴について説明できる。 小児の精神発達の特徴と評価法について説明できる。 運動機能の発達について説明できる。 言語の発達について説明できる。 情動の発達について説明できる。 社会性、思考、感覚の発達について説明できる。	中村 浩志
4	10月7日(火) 1時限	小児の身体発育 1) 発育の評価方法 2) 小児の栄養	発育の評価方法について説明できる。 小児の栄養について説明できる。 摂食・咀嚼・嚥下の発育について説明できる。	正村 正仁
5	10月14日(火) 1時限	頭部・顎・顔面の発育 1. 顔面、頭蓋の発育 2. 顎の発育 3. 発育の評価	脳頭蓋および顔面頭蓋の発育について説明できる。 発育の評価方法について説明できる。	大須賀直人
6	10月21日(火) 1時限	歯の発育と異常 1. 歯の発生、発育および萌出と交換 2. 歯の形成障害、発育異常 3. 歯の形態と構造の異常	歯の発生、発育および萌出と交換について説明できる。 歯の形成障害、発育異常について説明できる。 歯の形態と構造の異常について説明できる。	正村 正仁
7	10月28日(火) 1時限	歯の発育と異常 1. 歯の色調の異常 2. 歯の萌出異常	歯の色調の異常について説明できる。 歯の萌出異常について説明できる。	正村 正仁
8	11月4日(火) 1時限	歯列および咬合の発育と異常 1. 歯列の発育段階 2. 無歯期の顎の発育 3. 乳歯萌出期の歯列の成長 4. 乳歯列期の歯列・咬合の発育 5. 混合歯列期の歯列・咬合の発育 6. 永久歯列期の歯列・咬合の発育	歯列の発育段階について説明できる。 無歯期の顎の発育について説明できる。 乳歯萌出期の歯列の成長について説明できる。 乳歯列期の歯列・咬合の発育について説明できる。 混合歯列期の歯列・咬合の発育について説明できる。 永久歯列期の歯列・咬合の発育について説明できる。	大須賀直人
9	11月11日(火) 1時限	歯列および咬合の発育と異常 1. 歯列および咬合の異常の原因 2. 咬合に影響を及ぼす環境的因子 3. 早期喪失が歯列、咬合の発育に及ぼす影響	歯列および咬合の異常の原因について説明できる。 咬合に影響を及ぼす環境的因子について説明できる。 早期喪失が歯列、咬合の発育に及ぼす影響について説明できる。	大須賀直人

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
10	11月18日(火) 1時限	乳歯と幼若永久歯の特徴 1. 形態的特徴 2. 構造的特徴 3. 物理的、化学的特徴 4. 歯髄の特徴 5. 咬耗 6. 乳歯歯根吸収、脱落 7. 幼若永久歯とは 8. 形態と構造	乳歯の構造的特徴について説明できる。 乳歯の物理的、化学的特徴について説明できる。 乳歯の歯髄の特徴について説明できる。 乳歯歯根吸収、脱落の機序について説明できる。 幼若永久歯の定義について説明できる。 幼若永久歯の形態と構造について説明できる。	正村 正仁
11	11月25日(火) 1時限	小児の齲蝕 1. 疫学的観察法 2. 乳歯齲蝕の年次推移 3. 幼若永久歯齲蝕の年次推移と特徴 4. 齲蝕罹患型分類 5. 好発部位 6. 特異的な齲蝕 7. 局所的全身的為害作用 8. 歯性病巣感染	疫学的観察法について説明できる。 乳歯齲蝕の年次推移の特徴について説明できる。 幼若永久歯齲蝕の年次推移の特徴について説明できる。 乳歯齲蝕の特徴について説明できる。 乳歯齲蝕の罹患型分類について説明できる。 乳歯齲蝕の好発部位について説明できる。 特異的な乳歯齲蝕について説明できる。 幼若永久歯齲蝕の特徴について説明できる。 幼若永久歯齲蝕の好発部位について説明できる。 齲蝕の局所的、全身的為害作用について説明できる。 歯性病巣感染について説明できる。	大須賀直人
12	12月2日(火) 1時限	小児の歯周疾患 1. 健全な小児の歯周組織 2. 小児および若年者の歯周疾患の特徴 3. 小児の歯肉炎および歯周炎の診断と処置 4. 歯列不正に関わる歯周疾患の予防と処置 5. 歯肉増殖に対する診断と処置	健全な小児の歯周組織について説明できる。 小児および若年者の歯周疾患の特徴について説明できる。 小児の歯肉炎および歯周炎の診断と処置について説明できる。 歯列不正に関わる歯周疾患の予防と処置について説明できる。 歯肉増殖に対する診断と処置について説明できる。	正村 正仁
13	12月9日(火) 1時限	小児の齲蝕予防と進行抑制 1. 齲蝕予防、進行抑制法の分類 2. 歯口清掃 3. 食事、間食指導 4. 齲蝕予防における薬物応用 5. 予防填塞法	齲蝕予防、進行抑制法の分類について説明できる。 小児の歯口清掃法について説明できる。 齲蝕予防のための食事、間食指導について説明できる。 齲蝕予防における薬物応用について説明できる。 予防填塞法について説明できる。	大須賀直人
14	12月16日(火) 1時限	小児患者の診療方針 1. 診査と診断 2. 治療計画 6. 患者教育 4. 定期健診	小児の口腔疾患に対する診査法と診断法について説明できる。 小児の口腔疾患に対する治療計画について説明できる。 口腔疾患の予防と対策法について説明できる。 歯科定期健診の重要性について説明できる。	中村 浩志
15	1月6日(火) 1時限	まとめ		大須賀直人

歯 科 矯 正 学 (C3190)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教 授：川原良美
客員教授：溝口 到

【一般目標（GIO）】

不正咬合に対する予防および矯正歯科治療を適切に行うために、また、他の医科・歯科専門領域と連携し、様々な領域の疾患に対して総合的な治療を提供するために、歯科矯正学の基本的知識と診断に関する知識を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 矯正歯科治療の目的と意義について説明できる。
2. 身体、頭蓋顎顔面および歯列の成長発育について説明できる。
3. 正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。
4. 不正咬合の原因、種類、障害、予防について説明できる。
5. 不正咬合の診察、検査、診断について説明できる。
6. 矯正歯科治療に伴う生体反応について説明できる。
7. 矯正歯科治療における抜歯の考え方について説明できる。
8. 矯正歯科治療における治療目標・治療計画の立案について説明できる。
9. 矯正力について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕飯田順一郎・葛西一貫・後藤滋巳・末石研二・榎宏太郎・山城隆編：「歯科矯正学（第7版）」（医歯薬出版）
〔参考書〕西井康、他編：「歯科矯正学エッセンシャルテキスト（第1版）」（永末書店）
William R. Proffit：新版「プロフィットの現代歯科矯正学」（クインテッセンス出版）

【教育（学習）方略（LS）】

講義資料を作成し、教科書とスライドを用いて講義を行う。必要に応じて、模型等を使用する。授業内容の理解度を Weekly Test で確認する。

【フィードバック方法】

Weekly Test については原則として翌週の講義で解説を行う。補講等を行うことがある。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験（55％）、Weekly Test（30％）、確認テスト（出席状況・授業態度含む）（15％）

【注意事項】

無断での遅刻、欠席、途中退室は評価に影響するため、注意すること。教科書は必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：各回の授業内容について事前に教科書で予習を行うこと（15分）
復 習：講義内容について講義資料・教科書を用いて復習すること（45分）

【オフィスアワー】

月～金曜日 原則として17：30以降
本館2階東棟 歯科矯正学講座医局（E-mail：yoshimi.kawahara@mdu.ac.jp）

【授業日程】

歯 科 矯 正 学 第3学年（後期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	9月11日(木) 2時限	歯科矯正学の定義と歴史 矯正歯科治療の目的と意義	・ 矯正歯科治療の目的と意義について説明できる。	川原 良美
2	9月18日(木) 2時限	成長発育（成長発育概論、頭部の発生）	・ 人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。 ・ 小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。 ・ 頭部の発生について説明できる。	川原 良美
3	9月25日(木) 2時限	成長発育（頭蓋骨の成長発育、顔面頭蓋の成長発育）	・ 頭蓋骨の成長発育について説明できる。 ・ 顔面頭蓋の成長発育について説明できる。	川原 良美
4	10月2日(木) 2時限	成長発育（歯列と咬合の成長発育、乳歯列期の咬合・混合歯列期の咬合、永久歯列期の咬合、咬合発育段階、歯列弓の加齢変化、口腔機能の発達）	・ 歯列と咬合の成長発育（乳歯列期、混合歯列期）について説明できる。 ・ 歯列と咬合の成長発育（永久歯列期）について説明できる。 ・ 咬合発育段階について説明できる。 ・ 歯列弓の加齢変化について説明できる。 ・ 口腔機能の発達（咀嚼・嚥下・発音）について説明できる。	川原 良美
5	10月9日(木) 2時限	咬合（咬合概論、正常咬合）	・ 歯列と咬合について説明できる。 ・ 正常咬合の概念について説明できる。 ・ 正常咬合の成立と保持条件について説明できる。	川原 良美
6	10月16日(木) 2時限	咬合（不正咬合の疫学、種類、分類）	・ 不正咬合の疫学について説明できる。 ・ 不正咬合の種類について説明できる。 ・ 不正咬合の分類について説明できる。	川原 良美
7	10月23日(木) 2時限	不正咬合の原因（先天的原因、後天的原因）	・ 不正咬合の原因（先天的原因、後天的原因）について説明できる。	川原 良美
8	10月30日(木) 2時限	不正咬合の予防 矯正歯科治療に伴う生体反応	・ 不正咬合の予防の目的と意義について説明できる。 ・ 矯正歯科治療によって起こる生体反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。	川原 良美
9	11月13日(木) 2時限	矯正歯科治療に伴う生体反応 診断（診断の基本、医療面接と診察）	・ 矯正歯科治療によって起こる生体反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。 ・ 矯正歯科治療に必要な医療面接、診察について説明できる。	川原 良美
10	11月20日(木) 2時限	検査（形態的検査）	・ 不正咬合の形態的検査（全身的検査、顔面写真、口腔内写真、口腔模型、セットアップモデル）について説明できる。	川原 良美
11	11月27日(木) 2時限	検査（頭部エックス線規格写真分析）	・ 頭部エックス線規格写真分析の計測項目について説明できる。 ・ 頭部エックス線規格写真分析法とその解釈について説明できる。	川原 良美
12	12月4日(木) 2時限	検査（機能検査）	・ 不正咬合の機能検査について種類と特徴を説明できる。	川原 良美
13	12月11日(木) 2時限	矯正歯科治療における拔牙	・ 矯正歯科治療における拔牙について（目的、適応症、拔牙基準）説明できる。 ・ 拔牙の部位と数について説明できる。 ・ 連続拔牙法について（術式、利点、欠点）説明できる。	川原 良美
14	12月18日(木) 2時限	顎顔面形態と下顎骨の成長	・ 成長発育と顎顔面形態の関連とセファロ分析の読み取りについて説明できる。	溝口 到

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	1月8日(木) 2時限	治療目標、治療計画の立案 治療学概論 矯正力	・ 矯正歯科治療の治療目標、治療計画の立案について説明できる。 ・ 動的矯正歯科治療の種類と開始時期を説明できる。 ・ 矯正力の種類について説明できる。 ・ 歯の移動様式について説明できる。	川原 良美

口腔外科学 (C3200)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：栗原祐史、芳澤享子

講師：佐藤 工

非常勤講師：露木良治

【一般目標（GIO）】

口腔外科領域の疾患の原因・発生機序・症状を理解し、治療方針がたてられる基本的な知識を養う。

【行動目標（SBOs）】

1. 口腔・顎顔面領域の疾患と治療の意義および診察、検査、診断に必要な事項を理解する。
2. 口腔・顎顔面領域の炎症の病態と治療法を理解する。
3. 外来手術の基本事項を理解する。
4. 抜歯の適応・禁忌症、術式、偶発症を理解する。
5. 口腔機能管理と睡眠時無呼吸症を理解する。
6. 口腔顎顔面領域の先天異常、症候群の特徴を理解する。
7. 口唇裂・口蓋裂の症状、治療法を理解する。
8. 口腔・顎顔面に症状が出現する自己免疫疾患・アレルギー疾患の原因、病態および治療法を理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】白砂兼光・古郷幹彦：「口腔外科学（第4版）」（医歯薬出版）

榎本昭二・道 健一・天笠光雄他：「最新口腔外科学（第5版）」（医歯薬出版）

山根源之他編：「口腔内科学」（永末書店）

【参考書】道 健一監修：「改訂版 口腔顎顔面疾患カラーアトラス」（永末書店）

栗田賢一・覚道健治：「SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療（第5版）」（永末書店）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書を主体に Power Point を用いた講義と Weekly Test を行う。

【フィードバック方法】

定期試験実施後、解答を掲示するので、疑問点等あればオフィスアワーに質問に来ること。

講義内容、Weekly Test、定期試験にて質問の多い内容や正解率が低い問題については、講義あるいは学生イントラにて解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test を30%、定期試験を70%の比率として100点満点に換算し、65点以上を合格とする。

【注意事項】

1. 医療従事者となる自覚をもって授業に臨むこと。
2. 事前に教科書を読んで、授業の内容を理解しておくこと。
3. 講義後は講義資料だけでなく、教科書、参考書を用いて内容を復習、整理し、理解すること。
4. Weekly Test は、授業の進行状態と個人の学力を検討する資料となる。
5. 評価は Weekly Test と定期試験の成績で行うので、Weekly Test は欠席しないこと。欠席分は0点として評価する。

【準備学習時間（予習・復習）】

75分

予 習：事前に当日の講義範囲について教科書、参考書で予習を行うこと。（30分）

復 習：当日の講義内容を講義資料を中心に復習し、教科書・参考書を利用して各自知識を整理すること。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日・水曜日 17:30～18:30

本館5階東棟 口腔顎顔面外科学講座教授室、医局

オフィスアワー以外で質問等ある場合は事前に日程を確認すること。

【授業日程】

口腔外科学 第3学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	9月12日(金) 2時限	口腔外科疾患と治療の意義： 口腔外科診療法： 歯科医学の一部門としての口腔外科学の発展と現状 医療面接（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）現症 「第4版 口腔外科学」p1-25	口腔外科疾患と治療の意義・目的を理解する。 診断手順（医療面接、現症、臨床検査、診断）を理解する。	栗原 祐史
2	9月19日(金) 2時限	検査： 検体検査、生理機能検査、画像検査 「第4版 口腔外科学」p25-48	検体検査、生体検査において、それぞれの検査の意義、基準値、異常値について理解する。	芳澤 享子
3	9月26日(金) 2時限	炎症①： 口腔・顎顔面領域の炎症：炎症の経過、炎症の分類、炎症の原因、急性炎および慢性炎症の諸反応と発現機序、組織学的分類、全身への影響 「第4版 口腔外科学」p122-130	口腔・顎顔面領域の炎症の経過、分類、原因、急性炎症および慢性炎症における諸反応と発現機序について理解する。	芳澤 享子
4	10月3日(金) 2時限	炎症②： 菌周組織の炎症、顎骨の炎症、顎骨周囲軟組織の炎症 「第4版 口腔外科学」p130-141	菌性感染症の臨床分類、主要原因菌、菌周組織の炎症、顎骨の炎症、顎骨周囲軟組織の炎症について理解する。	芳澤 享子
5	10月10日(金) 2時限	炎症③： 炎症に対する治療：消炎手術、薬物療法 「第4版 口腔外科学」p155-164	炎症の治療について理解する。 消炎手術、膿瘍、蜂窩織炎、筋膜隙について理解する。 薬剤耐性に配慮した適切な抗菌薬使用を説明できる。	芳澤 享子
6	10月17日(金) 2時限	炎症④： 菌性上顎洞炎、上顎洞真菌症、口腔カンジダ症、特異性炎、菌性全身感染症 「第4版 口腔外科学」p141-155	菌性上顎洞炎、上顎洞真菌症を理解する。 口腔カンジダ症、特異性炎を理解する。 菌性全身感染症を理解する。	芳澤 享子
7	10月24日(金) 2時限	消毒法と無菌法： 滅菌・消毒方法の選択、消毒法の分類、実際の滅菌法・消毒法、術者の手指、手術野の消毒、院内感染症 「第4版 口腔外科学」p487-494	滅菌・消毒方法の選択と分類、実際の滅菌法・消毒法、術者の手指、手術野の消毒、院内感染症、標準予防策について理解する。	佐藤 工
8	10月31日(金) 2時限	口腔機能管理と睡眠時無呼吸症： 周術期等の口腔機能管理の目的、対象、チーム医療、および睡眠時無呼吸症の概念、症状、疫学、原因、診断と治療 「第4版 口腔外科学」p758-766	周術期等の口腔機能管理の目的、対象、内容、チーム医療について理解する。 睡眠時無呼吸症の概念、症状、疫学、原因、診断と治療を理解する。	佐藤 工
9	11月7日(金) 2時限	外来手術の基本手技： 基本器材、切開・剥離法、止血法、縫合法 「第4版 口腔外科学」p495-502	切開・剥離法、止血法、縫合法について理解する。	露木 良治
10	11月14日(金) 2時限	拔牙・その他の小手術： 適応症と禁忌症、拔牙創の治癒、拔牙前の術前評価、普通拔牙の手技、難拔牙、拔牙に伴う偶発症その他の小手術： 「第4版 口腔外科学」p507-527	拔牙の適応症と禁忌症、拔牙創の治癒、拔牙前の術前評価、普通拔牙の手技、難拔牙、拔牙に伴う偶発症を説明する。 その他の口腔外科小手術について理解する。	露木 良治

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	11月21日(金) 2時限	歯の異常・軟組織の異常： 「第4版 口腔外科学」p49-53、p65-69	歯数の異常、歯の形態異常、歯の形成異常、萌出時期の異常、エナメル質形成不全、象牙質形成不全、斑状歯、Turner 歯、Hutchinson 歯、色素沈着、口唇・頬部・舌・歯肉・小帯の異常について理解する。	芳澤 享子
12	11月28日(金) 2時限	口腔・顎顔面領域の先天異常、症候群： 「第4版 口腔外科学」p69-81	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の特徴を理解する。	芳澤 享子
13	12月5日(金) 2時限	口唇口蓋裂①： 口唇裂・口蓋裂の発生、分類、症状と障害、その他の顔面裂 「第4版 口腔外科学」p53-65 「最新口腔外科学」第3章Ⅳ	顔面・顎口腔の発生、口唇裂・口蓋裂の発生機序、症型分類、症状、その他の顔面裂を理解する。	芳澤 享子
14	12月12日(金) 2時限	口唇口蓋裂②： 口唇口蓋裂の一貫治療 Hotz 型 口蓋床、NAM 床、Latham 【レーサム】装置、口唇裂の手術、口蓋裂の手術、言語管理、聴覚管理、咬合管理 「第4版 口腔外科学」p582-596 「最新口腔外科学」第5章Ⅱ	口唇口蓋裂の治療スケジュール、哺乳指導、術前顎矯正、Hotz 床、NAM 床、Latham 装置、口唇裂の手術、口蓋裂の手術、言語管理、聴覚管理、咬合管理について理解する。	芳澤 享子
15	12月19日(金) 2時限	自己免疫疾患・アレルギー疾患： 自己免疫疾患の成り立ち、疾患の種類、診断、治療、アレルギー疾患の診断と治療 「口腔内科学」p275-287 「第4版 口腔外科」p164-172	自己免疫疾患およびアレルギー性疾患の特徴を知り、診断法と治療法を理解する。	芳澤 享子

歯内治療学 (C3205)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：増田宜子

【一般目標（GIO）】

歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 歯内治療学の目的・意義を説明できる。
2. 歯・歯周組織の構造と機能を説明できる。
3. 歯の硬組織疾患の診査、診断、治療法を説明できる。
4. 歯内療法における口腔内検査法が説明できる。
5. 歯内療法において無菌的処置の重要性を説明できる。
6. 齲蝕処置法と除痛法を説明できる。
7. 歯髄疾患の概要について説明できる。
8. 歯髄疾患の診断と治療法について説明できる。
9. 根尖性歯周組織疾患の概要について説明できる。
10. 根尖性歯周組織疾患の臨床病理と臨床症状について説明できる。
11. 根尖性歯周組織疾患の診断と治療方針について説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】勝海一郎他編：「歯内治療学（第6版）」（医歯薬出版）

【参考書】興地隆史他編：「第6版 エンドドンティックス」（永末書店）

S. Cohen 他：「Pathways of the Pulp 12th ED」（Mosby）

河野 哲著：「新歯内療法学サイドリーダー（第2版）」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書に沿って講義を行う。主要項目および臨床事例はスライド・動画で提示して説明する。

【フィードバック方法】

講義のはじめに前回の講義内容についてのテストを行い解答と解説を行う。講義終了後に講義内容についてテストを行い理解度を確認する。理解しにくかった点について学生に質問し、次の講義で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

期末試験、Weekly Test（30％）出席回数、授業態度から総合的に評価する。

【注意事項】

教科書を持参すること。これまでに学習した歯科基礎医学科目と密接に関連するため、臨床との結びつきが理解でき、今まで以上に基礎科目に興味をわくことを期待します。保存修復学、歯周病学での講義内容と重複するところがあるが、内容に相違があって疑問に思うような時は遠慮なく質問してください。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に教科書を読んでおくこと。（15分）

復 習：講義ノート、講義資料、教科書を読み直し講義内容を理解する。（45分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 18：00～19：00

本館 4 階西棟 歯科保存学講座教授室

【授業日程】

歯内治療学 第3学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	9月9日(火) 2時限	歯内治療学の講義・試験の行い方 歯内治療学の目的と意義、歴史 歯・歯周組織の構造と機能	1. 歯内治療学の目的、意義および歴史を説明できる 1. 歯の硬組織の構造と発生を説明できる。 2. 歯髄の構造と機能を説明できる。 3. 歯周組織の構造と機能を説明できる。 4. 歯根と歯髄腔の形態、異常と変化を説明できる。	増田 宜子
2	9月22日(月) 2時限	歯の硬組織疾患(1) 歯と歯髄腔の形態異常 歯の形成不全 歯の損耗（トゥースウェア） 齦蝕症 外傷	1. 形態異常歯を説明できる。 2. 歯の形成不全を説明できる。 3. 咬耗症を説明できる。 4. 磨耗症を説明できる。 5. アブフラクションを説明できる 6. 酸蝕症を説明できる。 1. 齦蝕症の成因を説明できる。 2. 象牙質知覚過敏症の病因、病態、症状、治療法を説明できる。 3. 外傷の原因に説明できる。 4. 歯の硬組織疾患の治療法を説明できる。	増田 宜子
3	9月30日(火) 2時限	象牙質知覚過敏症 歯内療法における基本的術式の概要(1)	1. 歯および歯髄の検査項目を列挙し、検査方法を説明できる。 2. 歯内療法における医療面接の重要性を説明できる。 3. 触診の検査を説明できる。 4. 歯髄の生死の検査を説明できる。	増田 宜子
4	10月7日(火) 2時限	歯内療法における基本的術式の概要(2)	1. 歯および歯髄の検査項目を列挙し、検査方法を説明できる。 2. 歯内療法における医療面接の重要性を説明できる。 3. 触診の検査を説明できる。 4. 歯髄の生死の検査を説明できる。 5. 歯内治療における無菌的処置の重要性を説明できる。 6. 器具、材料の滅菌法、消毒法を説明できる。 7. 齦蝕処置時の除痛法を説明できる。	増田 宜子
5	10月14日(火) 2時限	歯髄疾患(1) I～VI 歯髄疾患の概要 歯髄疾患の原因 歯髄疾患の分類と臨床症状 歯髄疾患の特徴と経過 歯髄疾患の診断 歯髄疾患の治療方針	1. 歯髄疾患の臨床的分類を述べることができる。 2. 歯髄疾患の原因を説明できる。 3. 歯髄疾患の臨床症状を述べることができる。 4. 歯髄疾患の特徴と経過を説明できる。 5. 歯髄疾患の診断を説明できる。 6. 歯髄疾患の治療方針を説明できる。	増田 宜子
6	10月21日(火) 2時限	歯髄疾患(2) I～VI 歯髄疾患の概要 歯髄疾患の原因 歯髄疾患の分類と臨床症状 歯髄疾患の特徴と経過 歯髄疾患の診断 歯髄疾患の治療方針	1. 歯髄疾患の臨床的分類を述べることができる。 2. 歯髄疾患の原因を説明できる。 3. 歯髄疾患の臨床症状を述べることができる。 4. 歯髄疾患の特徴と経過を説明できる。 5. 歯髄疾患の診断を説明できる。 6. 歯髄疾患の治療方針を説明できる。	増田 宜子

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
7	10月28日(火) 2時限	歯髄疾患(3) VII 歯髄疾患の治療法	1. 歯髄の保存療法を説明できる。 2. 歯髄鎮痛消炎療法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 3. 間接覆髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 4. 直接覆髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 5. 暫間的間接覆髄法 (IPC 法) の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 6. 歯髄の除去療法を説明できる。 7. 断髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 8. 抜髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。	増田 宜子
8	11月 4 日(火) 2時限	歯髄疾患(4) VII 歯髄疾患の治療法	1. 歯髄の保存療法を説明できる。 2. 歯髄鎮痛消炎療法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 3. 間接覆髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 4. 直接覆髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 5. 暫間的間接覆髄法 (IPC 法) の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 6. 歯髄の除去療法を説明できる。 7. 断髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 8. 抜髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。	増田 宜子
9	11月11日(火) 2時限	歯髄疾患(5) VII 歯髄疾患の治療法	1. 歯髄の保存療法を説明できる。 2. 歯髄鎮痛消炎療法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 3. 間接覆髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 4. 直接覆髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 5. 暫間的間接覆髄法 (IPC 法) の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 6. 歯髄の除去療法を説明できる。 7. 断髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。 8. 抜髄法の実応症と術式及び治療機転と経過を説明できる。	増田 宜子
10	11月18日(火) 2時限	根尖性歯周疾患(1) I~IV 根尖性歯周疾患の概要 根尖性歯周疾患の原因 根尖性歯周疾患の分類と臨床症状 根尖性歯周疾患の特徴と経過	1. 感染根管の成因を説明できる。 2. 感染根管の病理を説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の原因を説明できる。 4. 根尖性歯周組織疾患の臨床的分類を説明できる。 5. 急性根尖性歯周炎の臨床病理と臨床症状を説明できる。 6. 慢性根尖性歯周炎の臨床病理と臨床症状を説明できる。 7. 根尖性歯周組織疾患の特徴と経過を説明できる。	増田 宜子

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	11月25日(火) 2時限	根尖性歯周疾患(2) I～IV 根尖性歯周疾患の概要 根尖性歯周疾患の原因 根尖性歯周疾患の分類と臨床症状 根尖性歯周疾患の特徴と経過	1. 感染根管の成因を説明できる。 2. 感染根管の病理を説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の原因を説明できる。 4. 根尖性歯周組織疾患の臨床的分類を説明できる。 5. 急性根尖性歯周炎の臨床病理と臨床症状を説明できる。 6. 慢性根尖性歯周炎の臨床病理と臨床症状を説明できる。 7. 根尖性歯周組織疾患の特徴と経過を説明できる。	増田 宜子
12	12月2日(火) 2時限	根尖性歯周疾患(3) I～IV 根尖性歯周疾患の概要 根尖性歯周疾患の原因 根尖性歯周疾患の分類と臨床症状 根尖性歯周疾患の特徴と経過	1. 感染根管の成因を説明できる。 2. 感染根管の病理を説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の原因を説明できる。 4. 根尖性歯周組織疾患の臨床的分類を説明できる。 5. 急性根尖性歯周炎の臨床病理と臨床症状を説明できる。 6. 慢性根尖性歯周炎の臨床病理と臨床症状を説明できる。 7. 根尖性歯周組織疾患の特徴と経過を説明できる。	増田 宜子
13	12月9日(火) 2時限	根尖性歯周疾患(4) V～VI 根尖性歯周疾患の診査・診断 根尖性歯周疾患の治療方針	1. 根尖性歯周組織疾患の診査・診断を説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の診断手順を説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の類似病変について説明できる。 3. 感染根管治療の意義を説明できる。 4. 急性根尖性歯周炎の基本的処置方針を説明できる。 5. 慢性根尖性歯周炎の基本的処置方針を説明できる。 6. 症例選択について説明できる。	増田 宜子
14	12月16日(火) 2時限	根尖性歯周疾患(5) V～VI 根尖性歯周疾患の診査・診断 根尖性歯周疾患の治療方針	1. 根尖性歯周組織疾患の診査・診断を説明できる。 2. 根尖性歯周組織疾患の診断手順を説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患の類似病変について説明できる。 3. 感染根管治療の意義を説明できる。 4. 急性根尖性歯周炎の基本的処置方針を説明できる。 5. 慢性根尖性歯周炎の基本的処置方針を説明できる。 6. 症例選択について説明できる。	増田 宜子
15	1月6日(火) 2時限	歯髄疾患・根尖性歯周疾患まとめ	1. 感染根管治療の意義を説明できる。 2. 急性根尖性歯周炎の基本的処置方針を説明できる。 3. 慢性根尖性歯周炎の基本的処置方針を説明できる。 4. 症例選択について説明できる。	増田 宜子

歯 周 病 学 (C3210)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教 授：吉成伸夫
准教授：尾崎友輝、出分葉々衣
助 教：中村 卓
助 手：原 美音

【一般目標（GIO）】

歯周組織の形態的・機能的特性、歯周病の病因・病態を理解し、それに基づいて歯周疾患の検査、診断、分類、疫学について理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 歯周組織の形態と機能について説明できる。
2. 歯周疾患の症状と徴候を説明できる。
3. 歯周疾患の病因（細菌、宿主、環境要因）について説明できる。
4. 歯周疾患の病理と病態について説明できる。
5. 歯周疾患の発症と進行機序を説明できる。
6. 歯周疾患の検査と診断方法を説明できる。
7. 歯周疾患を分類できる。
8. 歯周疾患の疫学および疫学指数を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申 基喆編：「臨床歯周病学（第3版）」（医歯薬出版 2020）
〔参考書〕吉江弘正・米山武義・吉成伸夫編：「高齢者への歯周治療と口腔管理」（インターアクション 2018）
沼部幸博・梅田 誠・齋藤 淳・山本松男編：「ザ・ペリオドントロジー（第4版）」（永末書店 2019）

【教育（学習）方略（LS）】

講義（プロジェクター、黒板）

【フィードバック方法】

Weekly Test 実施後、次回の講義にて解説する。

【評価方法（Evaluation）】

1. 授業出席回数、聴講態度、理解度 20%
 2. Weekly Test 30%
 3. 記述試験 50%
- で評価する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認し、事前に講義概要について教科書・参考書等で予習を行うこと。（10分）

復 習：配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自理解を深める。（50分）

【オフィスアワー】

月曜・火曜・水曜・金曜 18:00～19:00
本館5階西棟 歯科保存学講座医局

【授業日程】

歯 周 病 学 第3学年（後期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	9月8日(月) 3時限	歯周疾患と歯周治療学 歯周病治療の進歩 歯周組織の構造(1)	歯周病学学習の意義や目的を理解する。 正常歯周組織の構造、機能の概要を理解する。	吉成 伸夫
2	9月16日(火) 3時限	歯周組織の構造(2) 1. 歯肉 2. 歯根膜	正常歯周組織の構造、機能を理解、修得する。	尾崎 友輝
3	9月29日(月) 3時限	歯周組織の構造(3) 1. セメント質 2. 歯槽骨	正常歯周組織の構造、機能を理解、修得する。	原 美音
4	10月6日(月) 3時限	歯周疾患の病因(1) 1. 歯肉炎 2. 歯周炎 3. 局所的病因因子の炎症性因子（ブラーク、歯石）	多因子疾患としての歯周疾患を理解する。 局所的因子について理解、修得する。	出分葉々衣
5	10月15日(水) 3時限	歯周疾患の病因(2) 細菌因子	歯周病の細菌因子について理解、修得する。	中村 卓
6	10月20日(月) 3時限	歯周疾患の病因(3) 宿主因子	局所的因子と全身的因子の関係、細菌と宿主組織の応答について理解、修得する。	尾崎 友輝
7	10月27日(月) 3時限	歯周疾患の病因(4) 環境因子	細菌と宿主組織の応答を修飾する環境因子について理解、修得する。	出分葉々衣
8	11月6日(木) 3時限	歯周組織検査(1) 1. 医療面接 2. 口腔内エックス線写真検査 3. 口腔内写真検査 4. エックス線写真検査による歯槽骨吸収と程度 5. 習癖の検査	検査は、的確な診断と治療計画を立案するための重要な手順である。医療面接から現症、エックス線写真検査、必要な臨床検査とプロトコールへの記録の重要性を理解する。	原 美音
9	11月10日(月) 3時限	歯周組織検査(2) 1. プロービングデプス 2. 臨床的アタッチメントレベル 3. 根分岐部病変 4. 角化歯肉、付着歯肉 5. 歯肉炎症の程度（BOP、排膿） 6. 歯の動揺度の検査 7. 咬合の検査 8. 食片圧入 9. ブラーク 10. 修復物、補綴物の適否 11. 歯周チャート 12. 歯槽骨吸収 13. 研究用模型	検査は、的確な診断と治療計画を立案するための重要な手順である。歯周プローブを主体とした口腔内検査とプロトコールへの記録の重要性を理解する。	吉成 伸夫
10	11月17日(月) 3時限	歯周組織検査(3) 1. 細菌検査 2. PCR 法 3. 歯肉溝滲出液（GCF） 4. 免疫学的検査 5. ELISA 法 6. 環境因子検査	検査は、的確な診断と治療計画を立案するための重要な手順である。歯周病の病因の細菌、宿主、環境因子の検査の今後の発展と重要性を理解する。	吉成 伸夫

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
11	12月1日(月) 3時限	歯周病の分類(1) 日本歯周病学会による歯周病分類システム (2006)	各種歯周疾患を分類することは鑑別、診断、予防、治療に有効であることを理解する。 日本歯周病学会による歯周病分類システム (2006)を理解する。(歯肉炎)	吉成 伸夫
12	12月8日(月) 3時限	歯周病の分類(2) 日本歯周病学会による歯周病分類システム (2006) 米国歯周病学会 (AAP) と欧州歯周病学会 (EFP) による歯周病・インプラント周囲炎の新分類 (2018)	各種歯周疾患を分類することは鑑別、診断、予防、治療に有効であることを理解する。 日本歯周病学会による歯周病分類システム (2006)を理解する。(歯周炎) 2018年に作成された米国歯周病学会 (AAP) 欧州歯周病学会 (EFP) による歯周病・インプラント周囲炎の新分類 (2018)を理解する。	吉成 伸夫
13	12月15日(月) 3時限	歯周疾患の治療計画 歯周病治療の流れ 1. 医療面接、インフォームド・コンセント 2. モチベーション 3. 歯周基本治療 4. 再評価検査 5. 歯周外科療法 6. 口腔機能回復療法 7. 歯周維持療法 (SPT) 8. メインテナンス	検査、診断及び予後判定から治療方針を立案する過程を理解する。	吉成 伸夫
14	12月22日(月) 3時限	歯周病の疫学 1. 歯周病の疫学病因 2. 歯周疾患の予防手段 3. 歯周疾患予防効果の評価	疫学研究の方法論を理解する。 歯周病の疫学研究に用いる指数を説明できる。 歯周病の1次、2次および3次予防を説明できる。	出分葉々衣
15	1月5日(月) 3時限	口臭 1. 口臭、口呼吸の原因 2. 口臭、口呼吸の診断 3. 口臭、口呼吸の予防・治療	口臭の分類と検査法について説明できる。 口臭の治療法について説明できる。 口呼吸の原因と検査項目を説明できる。 口呼吸の治療法について把握する。	中村 卓

内 科 学 (C3220)

第3学年（前期・後期）
講義 必修

【担当者】

特任教授：川 茂幸

講 師：佐藤 晶、城下 智（非常勤）

【一般目標（GIO）】

高齢化社会にあって、各種内科的疾患を持ち、その治療薬を服用した患者に対して歯科治療を行う頻度が激増している。さらに紹介状などの情報をもとに、治療のみでなく予防、保健指導を行ったり、医師や看護師などほかの医療・介護スタッフと連携して診療したり、また逆に医療・介護スタッフへ情報提供をすることが必須となってきた。歯科に必要不可欠である内科的疾患について知識を習得し、問題点を抽出できるようにする。

【行動目標（SBOs）】

内科的疾患の病態と治療に関する基礎知識を習得し、身体の総合的かつ内科的な疾患背景を考慮して、歯科医師として局所の治療に臨むことのできる知識を習得する。

内科学に関連した国家試験レベルの問題が解答できる能力を得る。

【教科書・参考書】

【教科書】井田和徳・堂前尚親・西田次郎編：「歯科のための内科学（改訂第4版）」（南江堂）

千葉俊美編：「最新歯科内科学」（医歯薬出版株式会社）

【参考書】「病気がみえる 循環器（第4版）」（MEDIC MEDIA）

「病気がみえる 免疫・膠原病・感染症（第2版）」

川 茂幸・佐藤 晶・城下 智：「歯科医師国家試験（第111回～第118回）内科学問題と解説2025」

【教育（学習）方略（LS）】

パワーポイントを使用して講義を進める。重要な内容については問答形式で講義を行う。

【フィードバック方法】

定期試験実施後、正解率が低い問題に対して解説を学生イントラへ掲載するので確認すること。

【評価方法（Evaluation）】

前後期の定期試験（100％）で評価する。

【注意事項】

真剣に受講すること。必ず復習をすること。

【準備学習時間（予習・復習）】

120分

予 習：講義前にシラバスを確認して教科書で予習を行うこと。（60分）

復 習：講義後は必ず講義で配布される用紙を復習して、知識の整理をすること。（60分）

【オフィスアワー】

金曜日 講義終了後から本館3階東棟 内科医局にて 19：00まで

【授業日程】

内 科 学 第3学年（前期・後期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	4月18日(金) 4時限	内科学総論 内科診断学 臨床検査 疾患の変遷、炎症、腫瘍、生活習慣病、医の倫理、所見のとり方、臨床検査	社会の変化と内科疾患の変遷を理解する。 内科学的診断法や検査法の簡単な習得と医の倫理を認識する。	川 茂幸
2	4月25日(金) 4時限	循環器疾患 病態生理、心不全、不整脈	心不全、不整脈の病態生理と治療を理解する。	川 茂幸
3	5月2日(金) 4時限	循環器疾患 虚血性心疾患	虚血性心疾患の病態生理と予防や治療を理解する。	川 茂幸
4	5月9日(金) 4時限	循環器疾患 心筋疾患、先天性心疾患、感染性心内膜炎、心臓弁膜症	心筋疾患、先天性心疾患、感染性心内膜炎、心臓弁膜症の病態生理と治療を理解する。	川 茂幸
5	5月16日(金) 4時限	循環器疾患 高血圧 動脈硬化	高血圧、動脈硬化の病態生理と予防や治療を理解する。	川 茂幸
6	5月23日(金) 4時限	呼吸器疾患 病態生理、睡眠時無呼吸症候群、過換気症候群、上気道感染症	呼吸器疾患の総論。睡眠時無呼吸症候群、睡眠時無呼吸症候群	川 茂幸
7	5月30日(金) 4時限	呼吸器疾患 呼吸器感染症	肺炎、肺結核など呼吸器感染症の病態と治療を理解する。上気道感染の病態生理と治療を理解する。	川 茂幸
8	6月6日(金) 4時限	呼吸器疾患 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎	気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎の病態と治療を理解する。	川 茂幸
9	6月13日(金) 4時限	消化器疾患 病態生理、食道疾患、胃疾患	消化器疾患の総論、食道疾患、胃疾患の病態生理と治療を理解する。	川 茂幸
10	6月20日(金) 4時限	消化器疾患 十二指腸疾患、小腸疾患、大腸疾患	腸疾患の病態生理と治療法を理解する。	川 茂幸
11	6月27日(金) 4時限	肝・胆・膵疾患 病態生理、肝炎、薬剤性肝障害	肝・胆・膵疾患の病態生理、各種肝疾患の病因と治療を理解する。	川 茂幸
12	7月4日(金) 4時限	肝・胆・膵疾患 肝硬変、胆石症、胆道感染症、膵炎、肝臓、膵臓	肝硬変、胆石症、胆道感染症、膵炎の病態生理と治療を理解する。	城下 智
13	7月11日(金) 4時限	内分泌疾患 代謝疾患 副腎疾患、糖尿病、脂質異常症、肥満、骨粗鬆症、痛風	副腎疾患、生活習慣病の病態生理と治療を理解する。	川 茂幸
14	7月18日(金) 4時限	内分泌疾患 ホルモン分泌調整、視床下部、下垂体、甲状腺	内分泌疾患の総論、病態生理と下垂体疾患、甲状腺疾患を理解する。	川 茂幸
15	7月25日(金) 4時限	歯科心身症 救急処置法 救急蘇生法 各種ショック	各種歯科心身症を理解する。 ショックの病態と治療を理解する。 救急処置を習得する。	川 茂幸
16	9月12日(金) 4時限	血液・造血器疾患 総論、赤血球系の異常	血球の造血や生理機能の理解、各種貧血性疾患を理解する。	川 茂幸
17	9月19日(金) 4時限	血液・造血器疾患 白血球系の異常	白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の病態生理と治療を理解する。	川 茂幸

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
18	9月26日(金) 4時限	血液・造血管疾患 出血性素因	止血機序と出血性素因をきたす疾患の病態生理と治療を理解する。	川 茂幸
19	10月3日(金) 4時限	神経・筋肉疾患 神経・筋肉疾患の病態生理	神経・筋肉疾患の総論、病態生理、主要症候と診察法を理解する。	佐藤 晶
20	10月10日(金) 4時限	神経・筋肉疾患 神経・筋肉疾患の病態生理、脳血管障害	神経筋肉疾患の主要症候、脳血管障害の病態生理と治療を理解する。	佐藤 晶
21	10月17日(金) 4時限	脳・脊髄の感染症と外傷、痲呆性疾患、変性疾患、筋肉疾患	脳・脊髄の感染症と外傷、認知症、変性疾患、筋肉疾患の病態生理と治療を理解する。	佐藤 晶
22	10月24日(金) 4時限	腎・泌尿器疾患 全身性疾患と腎障害、腎の血管系疾患と感染症、前立腺疾患	腎・泌尿器の機能や病態生理を理解する。 腎不全、腎炎、慢性腎臓病の病態と治療を理解する。	川 茂幸
23	10月31日(金) 4時限	腎・泌尿器疾患 全身性疾患と腎障害、腎の血管系疾患と感染症、前立腺疾患	各種腎疾患と前立腺疾患の病態と治療を理解する。	川 茂幸
24	11月7日(金) 4時限	アレルギー疾患 アレルギー反応の型、花粉症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、薬物アレルギー	各種アレルギー疾患の病態生理と治療を理解する。	川 茂幸
25	11月14日(金) 4時限	膠原病およびリウマチ性疾患 各種自己免疫疾患（全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、シェーグレン症候群など）の病態とその診断、治療	各種自己免疫疾患の病態生理と治療を理解する。	川 茂幸
26	11月21日(金) 4時限	感染症 感染症の変遷と主要症候、細菌感染症	感染症の変遷と症候、検査を理解する。 代表的な細菌感染の病態と治療を理解する。	川 茂幸
27	11月28日(金) 4時限	感染症 細菌感染症	代表的な細菌感染症の病態と治療を理解する。	川 茂幸
28	12月5日(金) 4時限	感染症 ウイルス感染症	代表的なウイルス感染症の病態と治療を理解する。	川 茂幸
29	12月12日(金) 4時限	中毒、物理的・環境的原因による障害、高齢者医学 各種中毒の病因と病態、物理・環境要因による障害 高齢者医療の特徴	各種中毒の病因と病態の理解、物理・環境要因による障害の理解と高齢者医療の特徴を理解する。	川 茂幸
30	12月19日(金) 4時限	歯科臨床と内科的疾患 糖尿病、高血圧、虚血性心疾患、動脈硬化、脳血管障害、救急蘇生	特に高齢者に多い内科的疾患の知識の整理と救急対応。	川 茂幸

法 医 歯 科 学

(C3254)

第3学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教 授：中村浩彰

非常勤講師：山田良広、山本伊佐夫、大平 寛、中川貴美子、山岸光男

【一般目標（GIO）】

歯科医師の基礎的教養である法医学・法医歯科学の知識の習得を目標とし、歯科医師として日常の臨床以外で社会に貢献できる知識を得る。実習では、実際に鑑定実務で行われている身元確認作業を経験し、歯科医師としてデンタルチャート記載に参加できる基本的技術を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 法医学と法医歯科学の定義を理解し、目的が法医学では死因の究明、法医歯科学は個人識別であることを理解する。そのうえで大規模災害など身元不明死体が多数発生する場合には法医学以上に歯科法医学が必要とされる理由を理解する。検屍作業における歯科医師の役割、さらに身元確認作業における歯科医師の立場に関連する法規から説明できる。
2. 歯科医師として、脳死と心臓死どちらをヒトの死とするか、自分の意見を説明できる。
3. 死体は通常的环境下では、乾燥・腐敗・白骨化と変化する。この過程を早期・後期死体現象として理解する。またそれらの死体現象を生じないミイラや死ろう化の永久死体現象を説明できる。
4. 社会的に大きな問題となっている幼児・児童虐待の予防対策として、歯科医師ができる早期発見について説明できる。
5. 窒息・損傷・中毒を死体の所見からどのように死因を究明するか説明できる。
6. 物体検査や歯からの年齢推定・血液型・DNA型など分析による個人識別を説明できる。
7. 身元不明死体、生前の歯科診療録・歯科レントゲンフィルムからのデンタルチャートの作成を習得する。
8. 災害の定義・分類と各ステージを理解する。そのうえでトリアージ、災害歯科医療、アフターケアの必要性を説明できる。
9. 舌癒着症を説明できる。
10. DNA 鑑定を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕高橋雅典監修、山田良広他編集：「法歯科医学 基礎知識から臨床・災害時の対応まで」（永末書店）

〔参考書〕山本勝一・山田良広他著：「法医歯科学（第6版）」（医歯薬出版）

高取健彦監修：「NEW エッセンシャル法医学（第6版）」（医歯薬出版）

【教育（学習）方略（LS）】

講義前半は黒板を主体とした授業を行い、プリントを配付するので要点を記入する。講義後半では講義内容の理解を高めるために事例を中心としたスライドをパワーポイントを用いて解説する。習得度確認と復習を目的とした小テストを講義の前後で行う。

【フィードバック方法】

試験実施後、評価に対する疑問や質問等がある場合は試験実施一週間以内にメールを科目担当教員に送ること。その後、必要がある場合は補講等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験の結果に講義中の小テスト・実習レポートさらに授業態度を加えて判定する。内訳は講義90%（小テストを含む）、実習・授業態度10%である。

【注意事項】

教科書は必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

（講義）

【時間外学習】

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（15分）

（毎回授業の最初に講義内容に係わる小テスト〈事前試験〉を実施する。）

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、イントラ・掲載資料・教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

（毎回授業の最後に講義内容に係わる小テスト〈事後試験〉を実施する。）

（実習）

【時間外学習】

予 習：事前にプリントを配布するので記入し、実習当日必ず持参すること。（15分）

復 習：十分に理解できない点、興味を持った事項については、参考書などを利用して能動的に学習を行うこと。（45分）

【オフィスアワー】

講義日・講義終了後・講義をした教室・必ずメールで前日までに予約すること。

E-mail：y.yamada@kdu.ac.jp

【授業日程】

法 医 歯 科 学 第 3 学 年（前期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	4月16日(水) 3時限	歯科法医学総論 歯科医師に必要な法医学と歯科法医学の知識	歯科医師に必要な法医学知識を理解する。	中村 浩彰 山田 良広
2	4月23日(水) 3時限	死の判定 生物学的な個体の死 ヒトの死の定義 死の判定 脳死と心臓死 脳死と臓器移植	歯科医師としてヒトの死を説明できる。 心臓死と脳死の判定基準の違いを理解する。 脳死と心臓死の違いを理解する。 脳死と臓器移植の関連を説明できる。	山田 良広
3	4月23日(水) 4時限	生活反応 死体解剖 死因究明制度 災害時歯科医療 災害の定義 災害医療と救急医療	生活反応を説明できる。 死体解剖の種類を説明できる。 死因究明制度を説明できる。 災害時歯科治療 災害の分類を説明できる。 災害のステージを説明できる。 災害医療と救急医療の違いを説明できる。	山田 良広
4	4月30日(水) 3時限	死体現象 死体現象のメカニズム 早期・晩期・異常死体現象 歯の死体現象 死後経過時間の推定	死斑・死体硬直・死ろう化を説明できる。 ピンク歯の生成機序を理解する。 死体現象からの死後経過時間を推定できる。	山田 良広
5	4月30日(水) 4時限	死因論 外因死と内因死 被虐待児童候群 虐待の定義 虐待の早期発見と通告義務 虐待防止における歯科医師の役割	外因死と内因死の違いを説明できる。 被虐待児童候群を説明できる。 虐待の定義を説明できる。 早期発見と通告義務を説明できる。 虐待防止のできる歯科医師になる。	山田 良広
6	5月14日(水) 3時限	死因論（窒息） 窒息の定義 窒息の機序 窒息の分類 致死的頸部圧迫 溺死	窒息の定義を説明できる。 窒息の機序を説明できる。 窒息の分類を説明できる。 致死的頸部圧迫を説明できる。 溺死の診断ができる。	山田 良広
7	5月14日(水) 4時限	死因論（損傷） 損傷の定義 損傷の検査 損傷の分類 自殺と他殺	損傷の定義を説明できる。 損傷の検査を説明できる。 損傷の分類ができる。 自殺と他殺を区別できる。	山田 良広
8	5月21日(水) 3時限	死因論（銃創） 銃創の定義 銃創の検査 銃創の分類	銃創の定義を説明できる。 銃創の検査ができる。 銃創の分類を説明できる。	山田 良広
9	5月21日(水) 4時限	年齢推定 歯からの年齢推定 骨盤からの年齢推定 頭蓋骨からの年齢推定 科学的年齢推定	歯から年齢推定ができる。 骨盤からの年齢推定を理解する。 頭蓋骨からの年齢推定を理解する。 アミノ酸のラセミ化法による年齢推定法を理解する。	山田 良広

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
10	5月28日(水) 3時限	個人識別 遺伝標識 DNA 鑑定 DNA データベース	遺伝標識の概念を説明できる。 DNA 型による個人識別を説明できる。 PCR 法を説明できる。 ミトコンドリア DNA を説明できる。 親子鑑定を説明できる。 犯罪捜査における DNA 鑑定を説明できる。 大規模災害における DNA 鑑定を説明できる。	大平 寛
11	5月28日(水) 4時限			大平 寛
12	6月4日(水) 3時限	舌癒着症と SIDS	舌癒着症を説明できる。 SIDS を説明できる。	山本伊佐夫
13	6月4日(水) 4時限	大規模災害での身元確認作業	身元確認作業を説明できる。	山本伊佐夫
14	6月11日(水) 3時限	法医歯科学実習（講義室で行う） 歯科医師の身元確認作業をデンタル チャートの作成から理解する。 チャート実習：生前の歯科診療録と歯 科レントゲン写真から生前の、死体の 口腔内写真とレントゲン写真から死後 のそれぞれデンタルチャートを作成し 比較照合を行い、同一人か否かを判定 する。	歯科診療録記載の専門用語を説明できる。 充填物の識別ができる。 生前死後のデンタルチャートが書ける。 身元確認の判定ができる。	山田 良広 中川貴美子 山岸 光男
15	6月11日(水) 4時限			山田 良広 中川貴美子 山岸 光男

医療面接学 (C3251)

第3学年（前期）
講義 必修

【担当者】

特任教授：森 啓
講 師：高谷達夫、大木絵美
助 教：岩崎由紀子、伊能利之
非常勤講師：木尾哲郎

【一般目標（GIO）】

歯科臨床における医療面接について、歯科医師としてのプロ意識を持って行うことができるような倫理的配慮を知り、適切に患者症状を聴取することができるようになる知識のみならず態度と技能のために必要な生活習慣を修得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 歯科医師に必要なコミュニケーション能力を説明できる。
2. 歯科医師として傾聴能力を説明できる。
3. 社会人として、歯科医師としての倫理的配慮の基本を説明できる。
4. 医療における倫理観の歴史を説明できる。
5. 患者中心の医療とインフォームド・コンセントを説明できる。
6. 医療面接に必要な環境を説明できる。
7. 歯科医療における医療面接の基本を説明でき、実践できる。
8. 日本と世界のプロフェッショナリズムを説明できる。
9. グループコミュニケーションの基本を理解して実践する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕伊藤孝訓：「第3版 歯科医療面接 アートとサイエンス」（シエン社）
〔参考書〕斉藤清二：「はじめての医療面接」（医学書院）

【教育（学習）方略（LS）】

講義
ロールプレイ相反学習

【フィードバック方法】

Weekly Test のフィードバックは次回の講義中に行う。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験（70％）、Weekly Test（30％）

【注意事項】

講義は欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は速やかに欠席届を提出すること。
教科書を必ず持参すること。
Group 討議の際に積極的に参加すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分
予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について理解しておくこと。（20分）
復 習：講義内容を復習し、参考書を利用して各自知識をまとめること。（40分）

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 17：30以降
本館2階北棟病院共同教員室

【授業日程】

医療面接学 第3学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月15日(火) 2時限目	口腔診断と医療面接	1. 口腔診断学について説明できる。 2. 口腔診断学における医療面接の役割を説明できる。	森 啓
2	4月22日(火) 2時限目	歯科医療と倫理	1. プロフェッショナリズムを知り、その実践について説明できる。 2. 医の倫理についての基本的事項を説明できる。 3. 倫理観の変化について説明できる。	森 啓
3	5月7日(水) 2時限目	コミュニケーション	1. コミュニケーションの目的を説明し理解できる。 2. コミュニケーションの技法を説明できる。 3. 医療コミュニケーションの特徴を説明できる。	森 啓
4	5月13日(火) 2時限目	医療面接(1)	1. 医療コミュニケーションの特徴を説明できる。 2. 患者・歯科医師関係を説明できる。	森 啓
5	5月20日(水) 2時限目	医療面接(2)	1. 医療面接の目的を説明できる。 2. 医療面接に必要なスキルを説明できる。 3. 歯科患者における心理特性を説明できる。	森 啓
6	5月27日(水) 2時限目	コミュニケーションの実践	1. 医療コミュニケーションにおける位置づけについて説明できる。 2. コミュニケーションエラーについて説明できる。 3. コミュニケーションエラーの原因について説明できる。	木尾 哲朗
7	6月3日(火) 2時限目	医療面接(3)	1. 医療面接の目的を説明できる。 2. 医療面接に必要なスキルを説明できる。 3. 歯科患者における心理特性を説明できる。	森 啓
8	6月10日(火) 2時限目	患者・歯科医師のコミュニケーション	1. 再診時医療面接の目的を説明できる。 2. 再診時医療面接に必要なスキルを説明できる。	大木 絵美
9	6月17日(火) 2時限目	医療面接の OSCE	1. OSCE における医療面接について説明できる。 2. OSCE における医療面接に必要な知識について説明できる。	森 啓
10	6月24日(火) 2時限目	行動変容	1. 人の行動と心理及び懸鼓行動を説明できる。 2. 行動変容と行動療法を説明できる。	森 啓
11	7月1日(火) 2時限目	臨床推論	1. 臨床における論理的思考を説明できる。 2. 臨床における論理的思考を列挙できる。 3. 臨床における論理的思考を実践できる。	森 啓
12	7月8日(火) 2時限目	診療の記録	1. 診療録記載項目を説明できる。 2. 診療録記載項目の意義を説明できる。 3. 問題志向型診療システムを説明できる。 4. 問題志向診療システムを実践できる。	森 啓
13	7月15日(火) 2時限目	科学的根拠に基づく医療/EBM	1. 臨床における意思決定について説明できる。 2. 患者や疾患を分析するための情報を検索抽出し整理統合することができる。 3. EBM (Evidence-Based Medicine) について説明できる。 4. NBM (Narrative- Based Medicine) について説明できる。	森 啓
14	7月22日(火) 2時限目	問題演習	1. 医療面接に必要な知識を説明できる。 2. 医療面接の意義を理解し説明できる。	森 啓

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
15	8月19日(火) 2時限目	医療面接学総括	1. 医療面接に必要な知識を説明できる。 2. 医療面接の意義を理解し説明できる。	森 啓

隣接医学（耳鼻咽喉科学） (C3015)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

非常勤講師：有賀あや子

【一般目標（GIO）】

耳鼻咽喉科学と歯科口腔外科学とは極めて密接な関係にあり、解剖的にも機能的にも重なる部分が少なくない。両者の疾患は、互いの器官に影響を及ぼすことがあるため、耳鼻咽喉科学を歯科口腔領域の隣接臓器・器官として把握する。耳鼻咽喉科領域の解剖、生理を理解し、疾患の診断、治療に関する基礎知識を習得する

【行動目標（SBOs）】

1. 耳鼻咽喉科領域の臓器・器官の局所解剖を図示し、その生理を説明できる。
2. 耳鼻咽喉科領域の主要な疾患を説明できる。
3. 耳鼻咽喉科疾患と歯科領域の疾患との関連を説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】五十嵐文雄・長谷川泰久監修：「歯科医師のための耳鼻咽喉科 頭頸部外科（第1版）」（医歯薬出版）
【参考書】Neil S.Norton 著・前田健康監訳：「ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス（原著第1版）」（医歯薬出版）
切替一郎原著・野村恭也編：「新耳鼻咽喉科（改訂11版）」（南山堂）
森満 保：「イラスト耳鼻咽喉科（第4版）」（文光堂）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書、PC プレゼンテーションやプリントを中心に講義を進める。また副鼻腔の解剖はペーパークラフト作成によって立体的に理解する。

【フィードバック方法】

試験実施後、評価に対する疑問や質問等がある場合は試験実施一週間以内にメールを科目担当教授に送ること。回答はメールにて返信する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験（100％）で評価する。

【注意事項】

正当な理由なく講義の出席回数規定に達しない者は、単位取得を認めない。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で予習を行うこと。（15分）

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書や参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了後、授業教室にて。

【授業日程】

隣接医学（耳鼻咽喉科学）				第3学年（後期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	11月27日(木) 3時限	耳鼻咽喉科学① 耳の解剖と機能 聴力検査、平衡機能検査 耳の疾患 めまい・平衡障害 顔面神経麻痺	外耳、中耳、内耳および顔面神経の位置と構造を説明できる。 聴覚と平衡覚の機能を理解する。 聴力検査、平衡機能検査の概要を理解する。 外耳、中耳、内耳の主要な疾患を理解する。 めまい・平衡障害とその主要な疾患を理解する。 顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。	有賀あや子
2	12月4日(木) 3時限	耳鼻咽喉科学② 副鼻腔の解剖 ペーパークラフトで副鼻腔をつくる	鼻・副鼻腔の構造および口腔等の関係を説明できる	有賀あや子
3	12月11日(木) 3時限	耳鼻咽喉科学③ 鼻・副鼻腔の生理と疾患 嗅覚、骨折、炎症、腫瘍	鼻・副鼻腔の生理と主要な疾患を理解する。	有賀あや子
4	12月18日(木) 3時限	耳鼻咽喉科学④ 咽頭・喉頭の解剖と生理 咽頭・喉頭の疾患 気道狭窄	咽頭・喉頭の解剖、機能を説明できる。 咽頭・喉頭の主要な疾患を理解する。 気道閉塞・気管切開について説明できる。	有賀あや子
5	1月8日(木) 3時限	耳鼻咽喉科学⑤ 頭頸部の基本構造 頭頸部の腫瘍・腫瘍	頭頸部の解剖と画像を説明できる。 頭頸部領域に発生する腫瘍・腫瘍の診断及び治療を説明できる。	有賀あや子

隣接医学（皮膚科学） (C3015)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：林 宏一
特任教授：鈴木啓之

【一般目標（GIO）】

正常の皮膚、口腔粘膜の構造、機能ならびに歯科に関連した皮膚疾患、口腔粘膜疾患および類似疾患の診断、治療を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 正常皮膚ならびに口腔粘膜の構造と機能を説明できる。
2. 歯科に関連した皮膚疾患、口腔粘膜疾患ならびに関連疾患の病態について説明できる。
3. 歯科に関連した皮膚疾患、口腔粘膜疾患ならびに関連疾患の診断に至る手順、検査、鑑別診断、治療の選択、適応などについて説明できる。
4. 過去の歯科医師国家試験問題を解きポイントを説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 毎回配付するプリントを教材とする。

〔参考書〕 とくに指定しない。講義の理解不足、知識の追加や深化は図書館の皮膚科学教本を活用されたし。

【教育（学習）方略（LS）】

パワーポイントを主体にしたヴィジュアル的手段を用いて講義をする。毎回配布される講義内容を記したプリントを用い、講義内容の重要ポイントを把握し、さらに授業の復習、知識の追加や深化を容易にする。

【フィードバック方法】

試験実施後、評価に対する疑問や質問等がある場合は試験実施一週間以内に学事室を経て担当教授に連絡すること。その後、担当教授が解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験の成績を最優先する。（80％）

平常の出席状況や受講中の態度など（20％）も加味して総合的に判断する。

【注意事項】

近き将来日本の医療に携わる己の立場を十分自覚すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

35分

予 習：シラバスに記載された講義テーマと講義内容のサマリーに目を通すこと。（15分）

復 習：配布されたプリントを復習し講義内容のポイントを把握すること。ポイントをまとめるのに不足があれば担当教授に質問するか、図書館の参考書を利用する。（20分）

【オフィスアワー】

講義終了後。

【授業日程】

隣接医学（皮膚科学） 第3学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	9月11日(木) 3時限	歯科学における皮膚科学の重要性 皮膚科学の概念 正常の皮膚・口腔粘膜の構造と働き、異常が生じたときに現れる症状と疾患 歯科学における皮膚科学のかかわり、皮膚・口腔粘膜ならびに構造（付：皮膚付属器）と働き、皮膚・口腔粘膜疾患に生ずる発疹（紅斑、びらん、潰瘍、水疱、色素沈着、白斑）の解説とそれを主徴とする疾患	皮膚科学を学ぶ意義を述べることができる。 皮膚・口腔粘膜の構造と機能を説明できる。 皮膚・口腔粘膜疾患に生ずる発疹を説明し、それらを主徴とする疾患を挙げることができる。	鈴木 啓之 林 宏一
2	9月11日(木) 4時限	歯科領域にかかわる皮膚疾患、口腔粘膜に生ずるアレルギー性疾患 1. 即時型アレルギーによる疾患、検査法の選択、手法の実際、確定診断、治療 実際の即時型アレルギー疾患をスライド提示しつつ、検査の目的、手技、結果の判定、診断、治療等を説明する。	即時型アレルギーによる皮膚・口腔粘膜疾患の名前を挙げ、診断に必要な検査法の選択と判定、診断と治療を説明できる。	鈴木 啓之 林 宏一
3	9月18日(木) 3時限	歯科領域にかかわる皮膚疾患、口腔粘膜に生ずるアレルギー性疾患 2. 遅延型アレルギーによる疾患、検査法の選択、手法の実際、確定診断、治療。遅延型アレルギーによる皮膚・口腔粘膜疾患の名前を挙げ、パッチテストをはじめ診断に必要な検査法の選択と判定、診断と治療を説明する。	遅延型アレルギーによる皮膚・口腔粘膜疾患の名前を挙げ、診断に必要な検査法の選択と判定、鑑別診断と治療を説明できる。	鈴木 啓之 林 宏一
4	9月18日(木) 4時限	口腔・顎顔面領域に症状を現す色調異常を主徴とする疾患 皮膚の色素、色素沈着と色素脱失、表皮メラノサイト、真皮メラノサイト、母斑細胞、メラノフェージ、体外物質による色素沈着、良性・悪性の色素沈着性ならびに色素脱失性疾患、色素異常を主徴とする疾患の診断と治療、血管、血液による色調異常	皮膚、粘膜の色素沈着、色素脱失のメカニズムを説明できる。口腔粘膜の色素沈着性ならびに色素脱失性疾患の診断と治療を説明できる。 血管、血液に由来する色調異常との鑑別につき説明できる。	鈴木 啓之 林 宏一
5	10月2日(木) 3時限	歯科領域にかかわる角化異常症 角化とは、皮膚・口腔粘膜の角化、角化細胞（ケラチノサイト）の働き、角化異常症（扁平苔癬、白板症、天疱瘡など）の診断、鑑別診断、治療 免疫異常、免疫不全、内分泌、代謝異常	皮膚、口腔粘膜、口唇の角化について述べるができる。歯科に関連した角化異常症につき説明できる。	鈴木 啓之 林 宏一
6	10月9日(木) 4時限	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症（ウイルス性、細菌性、真菌性） ウイルス感染症（単純ヘルペス、手足口病、水痘、帯状疱疹、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症）、細菌感染症（SSSS、尋常性毛瘡など）、真菌感染症（カンジダ症）、鑑別診断としてペーチェット病、外歯瘻など 移植片対宿主病 <GVHD>、紅斑症	ウイルス性、細菌性、真菌性の感染症について、原因、診断、治療につき説明できる。	鈴木 啓之 林 宏一

隣接医学（精神医学） (C3015)

第3学年（後期）
講義 必修

【担当者】

特任教授：石川紘一

【一般目標（GIO）】

歯科医療の現場で向精神薬が処方されることはない。しかし患者さんの中には精神疾患に罹患・治療されている方もおられるので、精神疾患の概要とその治療薬についての基礎知識を習得する。また、歯科診療で使用される薬物と精神疾患治療薬との相互作用は副作用を起こす危険性があることを理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 精神神経疾患の発症機序を説明できる。
2. 主要な精神疾患を説明できる。
3. 精神疾患患者の主な治療薬について説明できる。

【教科書・参考書】

プリント配布

【教育（学習）方略（LS）】

PC プレゼンテーションやプリントを中心に講義を進める。

【フィードバック方法】

試験実施後、疑問や質問等がある場合は、試験実施後2日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生インストラ等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験（100％）で評価する。

【注意事項】

欠席せずに真面目な態度で受講すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予習：シラバスを確認して事前に講義内容について参考書で予習を行うこと。（15分）

復習：ノートはプリントを復習し、参考書を利用して各自知識をまとめること。（45分）

【オフィスアワー】

講義終了後、教室にて。

【授業日程】

隣接医学（精神医学）				第3学年（後期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	10月16日(木) 3時限	神経系の構成とその働き 精神疾患の分類・向精神薬の分類 精神疾患の発症原因（モノアミン仮説）	歯科診療における精神疾患の意義 精神疾患の発症機構を伝達物質との関連で説明できる	石川 絃一
2	10月23日(木) 3時限	統合失調症の発症原因 統合失調症の症状と経過 抗精神病薬の種類と効果 抗精神病薬の副作用	それぞれの疾患について 発症原因・症状・経過が説明出来る 治療方法について説明できる 特に薬物治療について説明できる 歯科診療で使われる薬物との相互作用を説明できる 副作用・その対策について説明できる	石川 絃一
3	10月30日(木) 3時限	双極性障害の発症原因 双極性障害の症状と経過 抗うつ薬・抗躁薬の種類と効果 抗うつ薬・抗躁薬の副作用		石川 絃一
4	11月13日(木) 3時限	認知症（痴呆症）の発症原因 認知症の症状と経過 認知症の治療 認知症の社会的意義		石川 絃一

歯科医学研究 B (B3260)

第3学年（後期）
演習 選択

【担当者】

教 授：金銅英二、中村浩彰、北川純一、宇田川信之、吉田明弘、荒 敏昭

特任教授：永澤 栄

【一般目標（GIO）】

未来の歯科医療を拓く歯科医師としてのリサーチマインドを身につけ、自分の将来像を形成する。

【行動目標（SBOs）】

1. 生命科学の講義・実習で得た知識をもとに研究課題を設定できる。（想起・解釈）
2. 研究課題に対する仮説を設定し、疑問点、問題点を自ら探求して研究計画を作成できる。（問題解決・態度）
3. 科学的研究を遂行できる。（技能）
4. 研究結果をまとめ、成果を発表できる。（技能）

【教科書・参考書】

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕担当教員が適宜提示する。

【教育（学習）方略（LS）】

1. これまで学んだ歯科医学の知識を整理し、研究テーマを決定し、研究計画を立てる。
2. 研究計画に基づいて研究を遂行する。
3. 研究成果をまとめ、発表する。

【フィードバック方法】

発表会后、疑問点等について担当教員が解説する。

【評価方法（Evaluation）】

出欠状況（40%）、受講態度（60%）

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

45分

予 習：次回の内容について参考書で予習を行うこと。（15分）

復 習：授業内容を復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（30分）

【オフィスアワー】

水曜日 16：30～18：00 担当者の教授室・医局

2025年度 第3学年 年間予定

2025年

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	火		1 木 ③	1	日	1	火 ⑪	1	金 夏季休業(～8/16)	1	月 定期試験7
2	水		2 金 ③	2	月 ⑦	2	水 ⑪	2	土	2	火 定期試験8
3	木		3 土 憲法記念日	3	火 ⑦	3	木 ⑫	3	日	3	水 定期試験9
4	金		4 日 みどりの日	4	水 ⑦	4	金 ⑫	4	月	4	木 定期試験10
5	土		5 月 こどもの日	5	木 ⑧	5	土	5	火	5	金 定期試験11
6	日		6 火 振替休日	6	金 ⑧	6	日	6	水	6	土
7	月		7 水 ③火曜授業	7	土 解剖諸霊位慰霊祭	7	月 Weekly Test 6 ⑫	7	木	7	日
8	火		8 木 ④	8	日	8	火 ⑫	8	金	8	月 後期授業開始 ①
9	水		9 金 ④	9	月 Weekly Test 4 ⑧	9	水 ⑫	9	土	9	火 ①
10	木	入学式	10 土	10	火 ⑧	10	木 ⑬	10	日	10	水 ①
11	金	オリエンテーション 健康診断	11 日	11	水 ⑧	11	金 ⑬	11	月 山の日	11	木 ①
12	土		12 月 Weekly Test 2 ④	12	木 ⑨	12	土	12	火	12	金 ①
13	日		13 火 ④	13	金 ⑨	13	日	13	水	13	土
14	月	前期授業開始 ①	14 水 ④	14	土	14	月 Weekly Test 7 ⑬	14	木	14	日
15	火 ①		15 木 ⑤	15	日	15	火 ⑬	15	金	15	月 敬老の日
16	水 ①		16 金 ⑤	16	月 ⑨	16	水 ⑬	16	土 夏季休業終了	16	火 Weekly Test 10 ②月曜授業
17	木 ①		17 土	17	火 ⑨	17	木 ⑭	17	日	17	水 ②
18	金 ①		18 日	18	水 ⑨	18	金 ⑭	18	月 ⑮	18	木 ②
19	土		19 月 ⑤	19	木 ⑩	19	土	19	火 ⑮	19	金 ②
20	日		20 火 ⑤	20	金 ⑩	20	日	20	水 ⑮	20	土
21	月	Weekly Test 1 ②	21 水 ⑤	21	土	21	月 海の日	21	木 Weekly Test 9	21	日
22	火 ②		22 木 ⑥	22	日	22	火 ⑭	22	金 補習(対象者必須)	22	月 ②火曜授業
23	水 ②		23 金 ⑥	23	月 Weekly Test 5 ⑩	23	水 ⑭	23	土	23	火 秋分の日
24	木 ②		24 土	24	火 ⑩	24	木 ⑮	24	日	24	水 ③
25	金 ②		25 日	25	水 ⑩	25	金 ⑮	25	月 定期試験1	25	木 ③
26	土		26 月 Weekly Test 3 ⑥	26	木 ⑪	26	土	26	火 定期試験2	26	金 ③
27	日		27 火 ⑥	27	金 ⑪	27	日	27	水 定期試験3	27	土
28	月 ③		28 水 ⑥	28	土	28	月 Weekly Test 8 ⑭	28	木 定期試験4	28	日
29	火	昭和の日 松濤祭	29 木 ⑦	29	日	29	火 補習(対象者必須)	29	金 定期試験5	29	月 ③
30	水 ③		30 金 ⑦	30	月 ⑪	30	水 補習(対象者必須)	30	土 定期試験6	30	火 ③
			31 土			31	木 補習(対象者必須)	31	日		

2026年

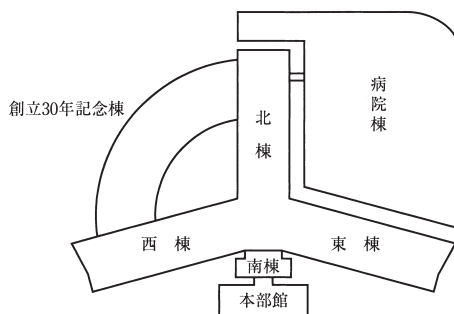
10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	水	④	1	土		1	月	Weekly Test 15 ⑪	1	木	元日	1	日		1	日	
2	木	④	2	日		2	火	⑫	2	金		2	月	追・再試験3	2	月	
3	金	④	3	月	文化の日	3	水	⑫	3	土		3	火	追・再試験4	3	火	
4	土		4	火	⑧	4	木	⑫	4	日	冬季休業	4	水	追・再試験5	4	水	
5	日		5	水	⑧	5	金	⑬	5	月	⑮	5	木	卒業式 追・再試験6	5	木	
6	月	Weekly Test 11 ④	6	木	Weekly Test 13 ⑧月曜授業	6	土		6	火	⑮	6	金	追・再試験7	6	金	
7	火	④	7	金	⑨	7	日		7	水	⑮	7	土	追・再試験8	7	土	
8	水	⑤	8	土		8	月	⑫	8	木	⑮	8	日		8	日	
9	木	⑤	9	日		9	火	⑬	9	金	Weekly Test 18	9	月	追・再試験9	9	月	
10	金	⑤	10	月	⑨	10	水	⑬	10	土		10	火	追・再試験10	10	火	
11	土		11	火	⑨	11	木	⑬	11	日		11	水	建国記念の日	11	水	
12	日		12	水	⑨	12	金	⑭	12	月	成人の日	12	木		12	木	
13	月	スポーツの日	13	木	⑨	13	土		13	火	授業なし	13	金	進級試験	13	金	
14	火	⑤	14	金	⑩	14	日		14	水	ファウンダーズデイ	14	土		14	土	
15	水	⑤月曜授業	15	土		15	月	Weekly Test 16 ⑬	15	木	定期試験1	15	日		15	日	
16	木	⑥	16	日		16	火	⑭	16	金	定期試験2	16	月		16	月	
17	金	⑥	17	月	Weekly Test 14 ⑩	17	水	⑭	17	土		17	火		17	火	
18	土		18	火	⑩	18	木	⑭	18	日		18	水		18	水	
19	日		19	水	⑩	19	金	⑮	19	月	定期試験3	19	木		19	木	
20	月	Weekly Test 12 ⑥	20	木	⑩	20	土		20	火	定期試験4	20	金	進級試験追・再試験	20	金	春分の日
21	火	⑥	21	金	⑪	21	日		21	水	定期試験5	21	土		21	土	
22	水	⑥	22	土		22	月	Weekly Test 17 ⑭	22	木	定期試験6	22	日		22	日	
23	木	⑦	23	日	勤労感謝の日	23	火	冬季休業(～1/4)	23	金	定期試験7	23	月	天皇誕生日	23	月	
24	金	⑦	24	月	振替休日	24	水		24	土		24	火		24	火	
25	土		25	火	⑪	25	木		25	日		25	水		25	水	
26	日		26	水	⑪	26	金		26	月	定期試験8	26	木		26	木	
27	月	⑦	27	木	⑪	27	土		27	火	定期試験9	27	金		27	金	
28	火	⑦	28	金	⑫	28	日		28	水	定期試験10	28	土		28	土	
29	水	⑦	29	土		29	月		29	木	創立記念日				29	日	
30	木	⑧	30	日		30	火		30	金	追・再試験1				30	月	
31	金	⑧				31	水		31	土	追・再試験2				31	火	

施設概要図



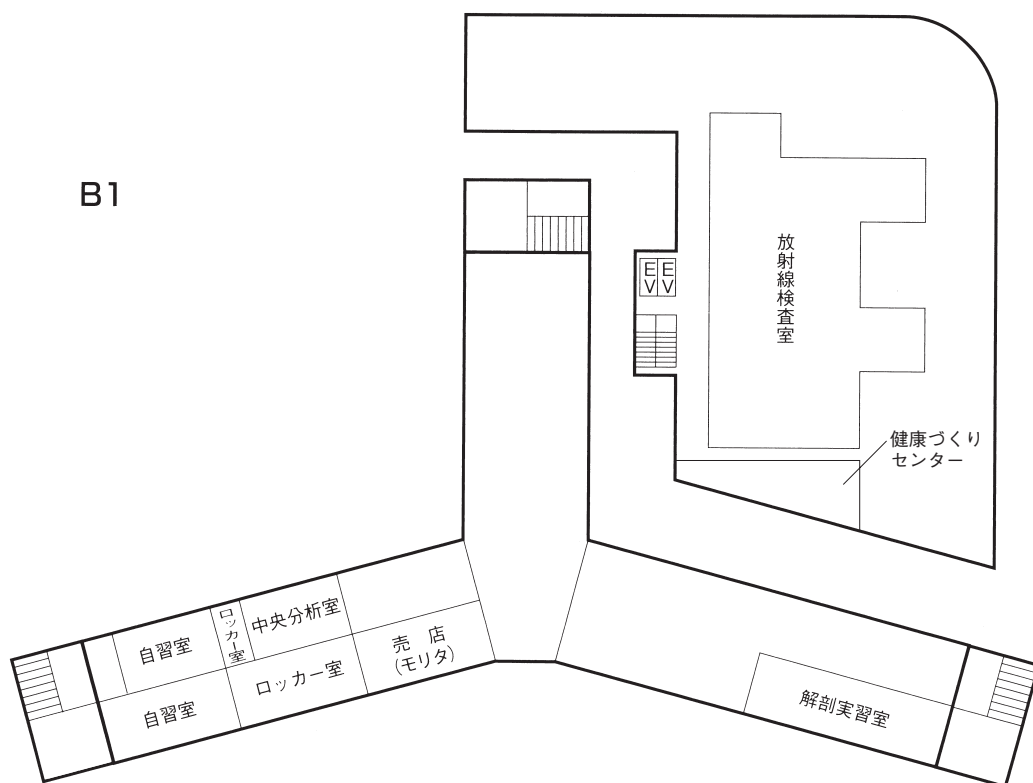
①	大 学 本 館	⑧	陸 上 競 技 場
②	本 部 館	⑨	野 球 場
③	体 育 館	⑩	ゴルフ練習場
④	実 習 館	⑪	創立30年記念棟
⑤	講 義 館	⑫	総合歯科医学研究所
⑥	ハイテクセンター	⑬	CAMPUS INN
⑦	図 書 会 館	⑭	病 院 棟

本部館 本館 病院棟 概略

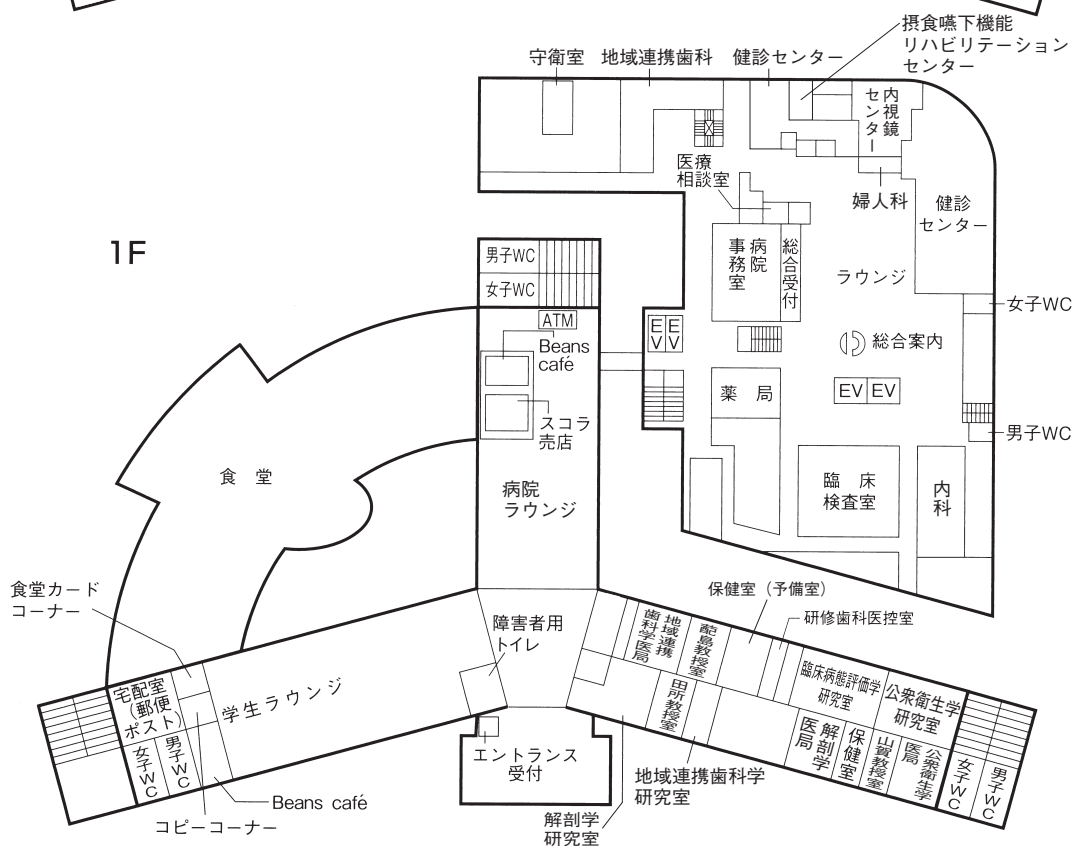


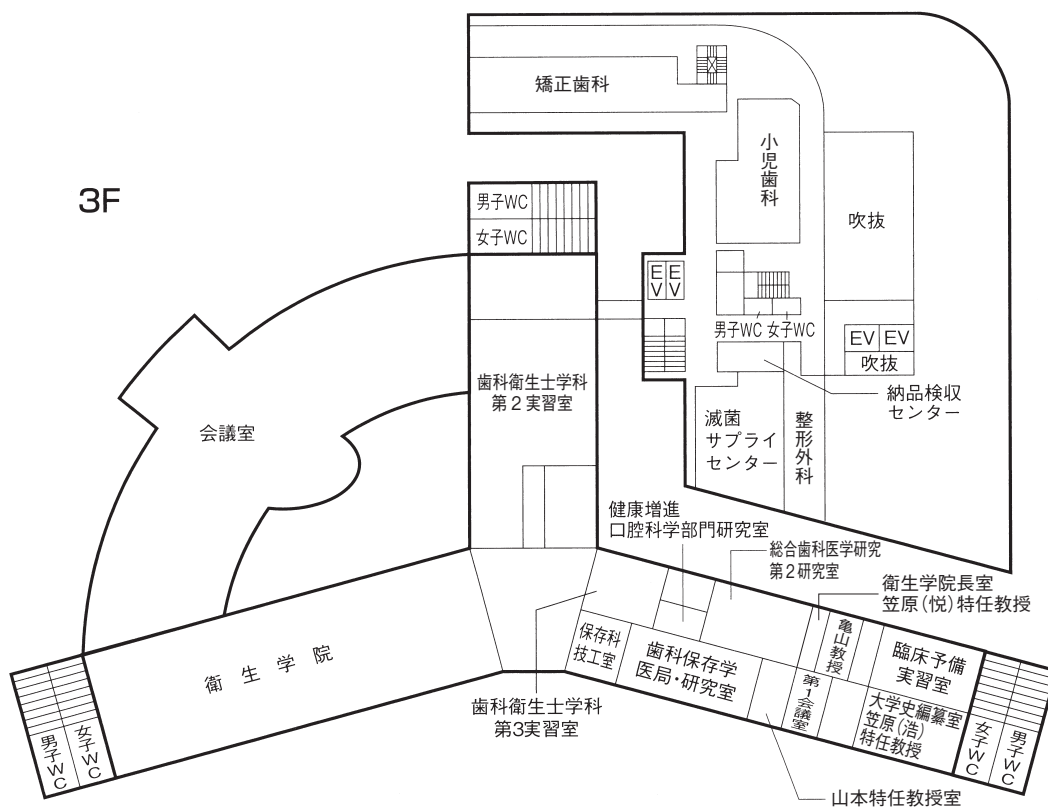
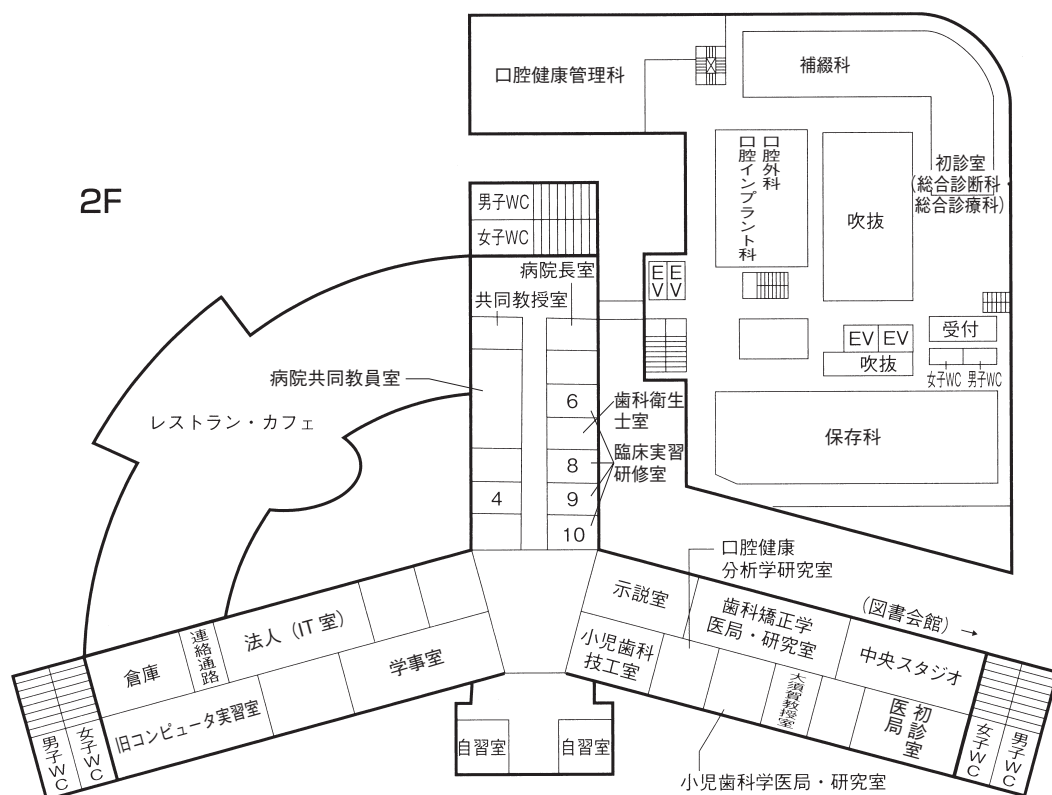
	西棟	北棟	本部館	南棟	東棟	病院棟	創立30年記念棟	
7F	屋上	講堂			屋上			
6F					教室 (601、602)			
5F	吉成教授 (歯科保存学) 田口教授 (歯科放射線学) 澁谷教授 (歯科麻酔学) (病院総合診療部門) 臨床研修医控室 共同教授室 (川特任教授)	5学年 ロッカー ー室			吉田教授 (微生物学) 村上教授 (病理学) 芳澤教授 (口腔顎顔面外科学) 栗原教授 ()			
	中村教授 (解剖学) 歯科技工士控室 歯科技工士技工室 増田教授 (歯科保存学) 内科医局 2	多目的 ホール			学生技工自習室 臨床予備自習室 鋳造・研磨室 重合室、石膏室 共同教授室 (音楽教授)	病棟 中央手術室 サービスステーション 談話室・相談室		
4F								
	衛生学院	歯科衛生 士学科第 2実習室	役員室 法人 (秘書 課) 法人 (財務)		山本教授 (病院総合診療部門) 臨床予備実習室 歯科衛生士学科第3実習室 大学史編纂室 衛生学院長室 亀山教授 (歯科保存学)	小児歯科・矯正歯科 連絡通路 (本館北棟3階) 納品検収センター 滅菌サブライセンター 整形外科	会議室	
3F								
	学事室 法人 (IT 室)	病院長室 臨床実習・ 研修室 共同教授室 病院共同 教員室 歯科衛生士室	学長室 事務局 経理室 法人 (総務)	自習室	大須賀教授 (小児歯科学) 示説室 中央スタジオ 総合診療室医局	口腔外科・口腔インプラント科 口腔健康管理科 2階総合ホール 連絡通路 (本館北棟2階) 保存科 補綴科 初診室 (総合診断科・総合診療科)	レストラン カフェ	
2F								
1F	学生ラウンジ Beans café 宅配室 (郵便ポスト) 食堂カードコーナー コピーコーナー	病院ラウ ンジ Beans café スコラ売店 ATM (八十二・ ゆうちょ)	庶務課 入試広報室 管理課	エント ランス 受付	田所教授 (解剖学) 配島教授 保健室 山賀教授 (公衆衛生学)	地域連携歯科 守衛室 薬局 臨床検査室 内科 健診センター 内視鏡センター 婦人科	摂食嚥下機能リハビ リテーションセン ター 総合案内 総合受付 自動精算コー ナー 病院事務室 医療相談室 連絡通路 (本館北棟1階)	食堂
B F	売店 (モリタ) 中央分析室 自習室、ロッカー室				解剖実習室 霊安室 保存室	放射線検査室 健康づくりセンター		

B1

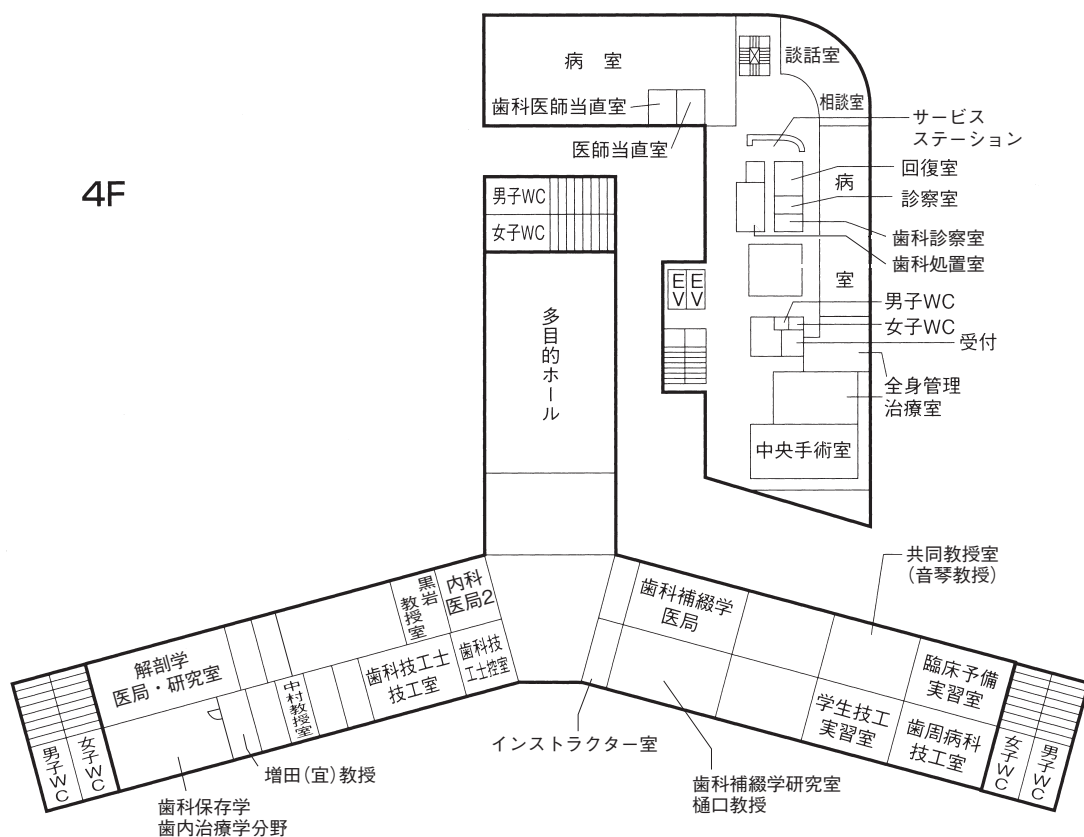


1F

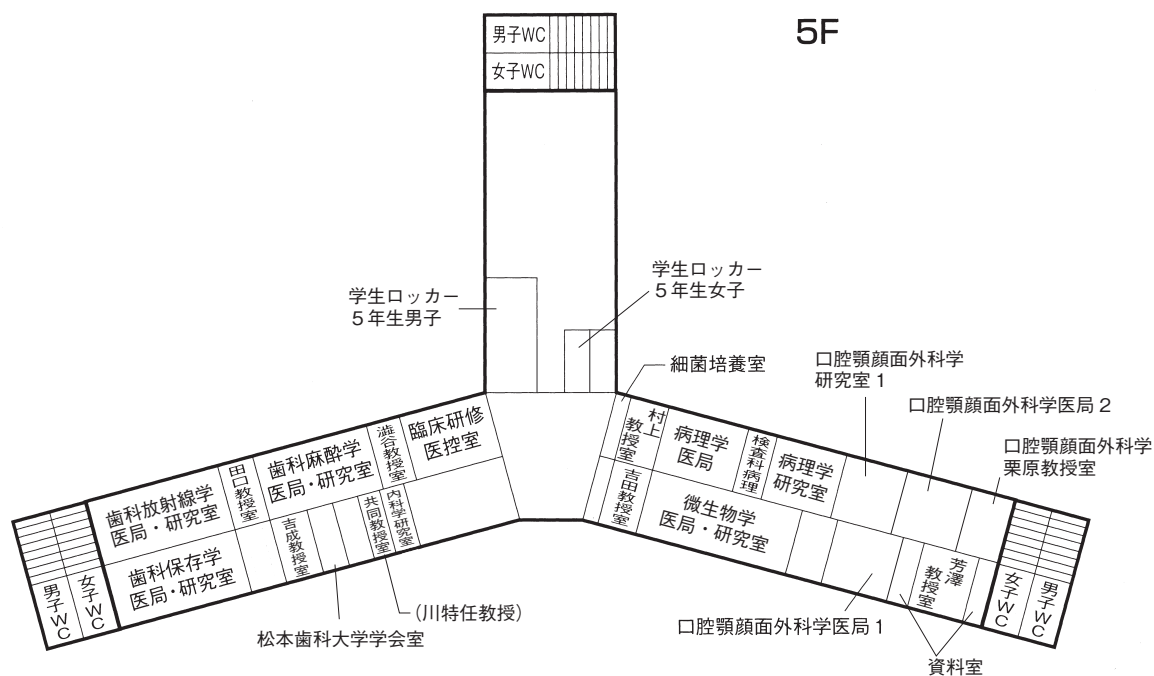


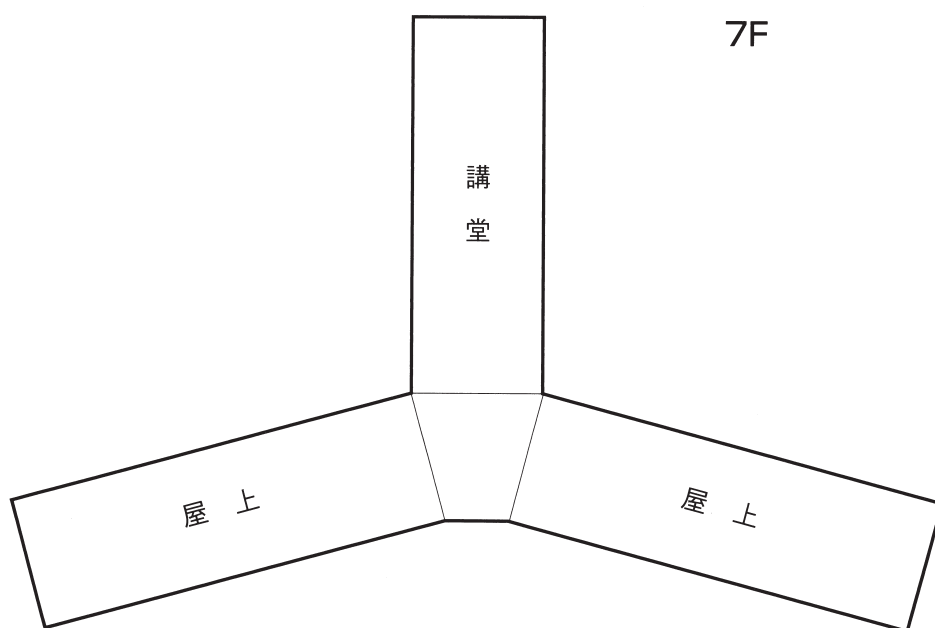
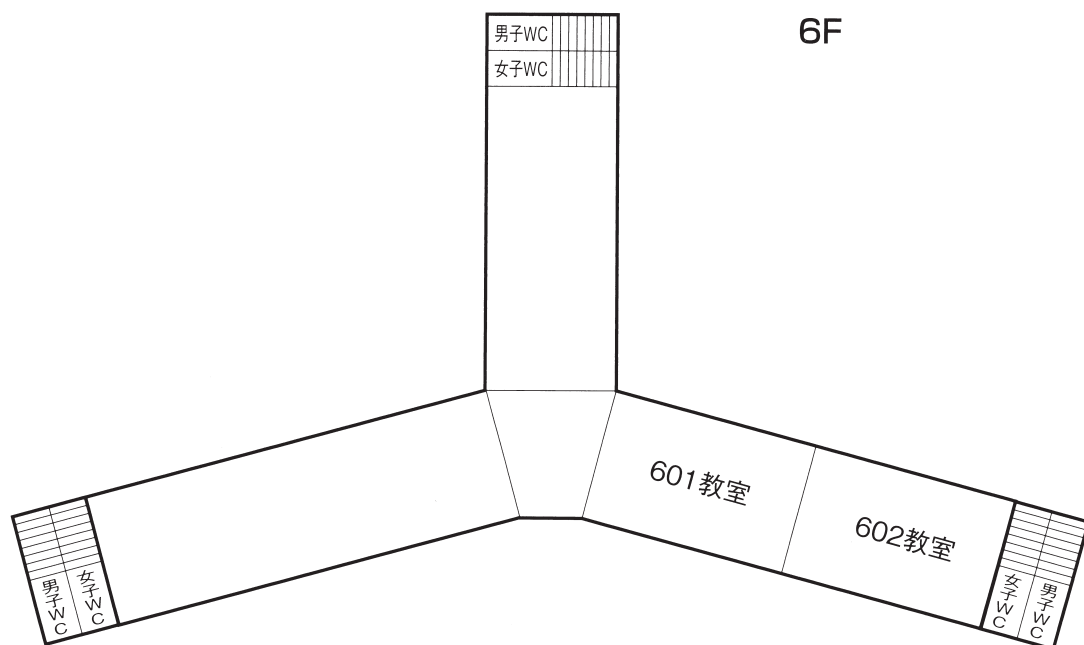


4F



5F





講義館概要

- | | |
|----------|-----------|
| ① | ⑥ |
| ② 共同教授室 | ⑦ |
| ③ 非常勤講師室 | ⑧ 英語非常勤講師 |
| ④ | ⑨ |
| ⑤ | ⑩ |

	①	②	③	④	共同研究室		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
2F	201				ロビー				202			
	204				標 本 室	講 師 室 勤	衛生学院教員室		203			

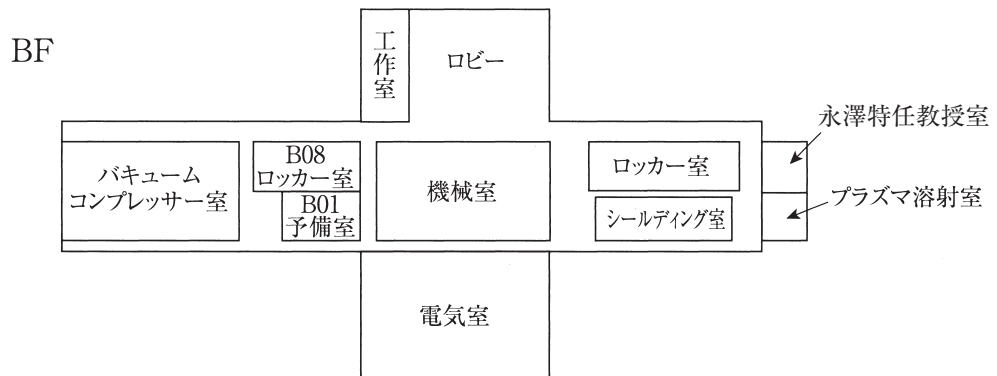
	駐輪場		101	105	102	駐輪場	
1F	106		ロビー				107
			103		104		

(正面玄関)

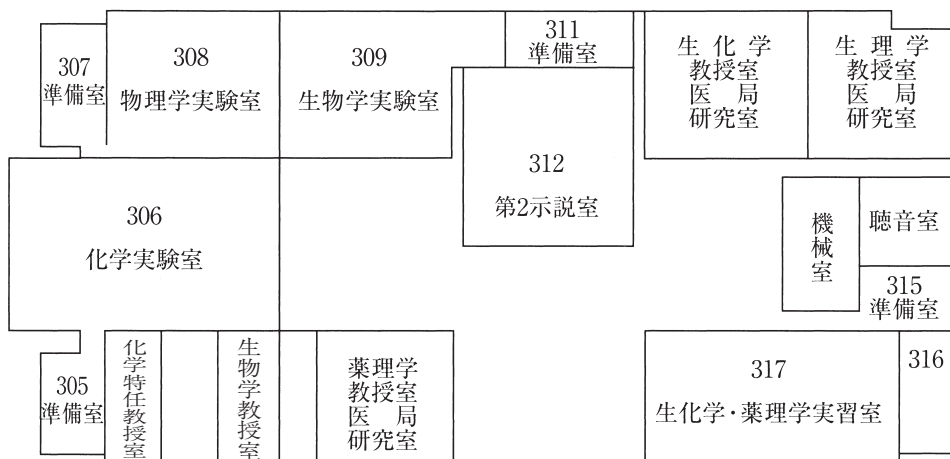
	衛生学院ロッカー室			
BF	B01		衛生学院ロッカー室 空調機械室	B02
	衛生学院ロッカー室			

実習館概要

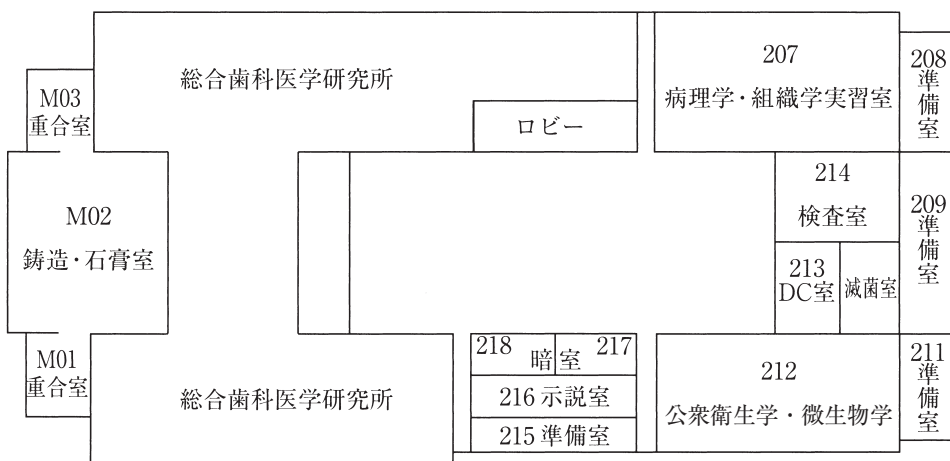
3 F	北川教授（生理学） 宇田川教授（生化学） 荒教授（薬理学） 教室（312） 実験室（306、308、309） 実習室（317）
2 F	教室（216）、総合歯科医学研究所 実習室（207、212）
1 F	黒岩教授（理工学） 実習室（101、113） 共同教員室
B F	永澤特任教授室（理工学） 学生ロッカー室



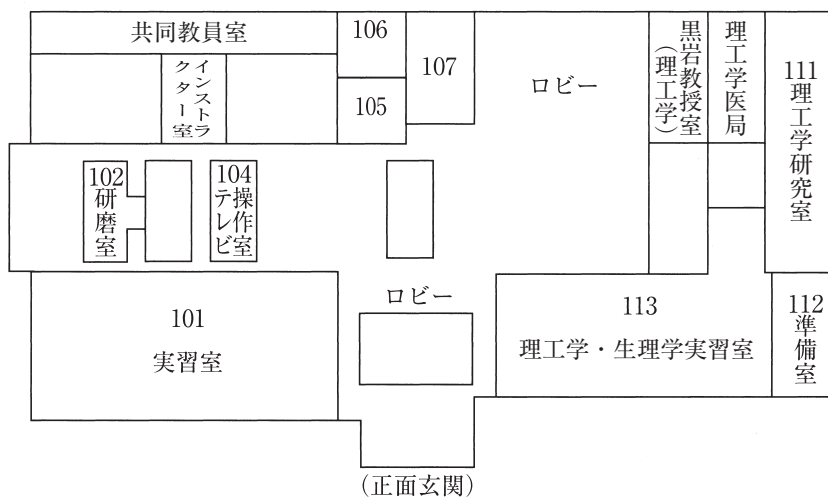
3F



2F

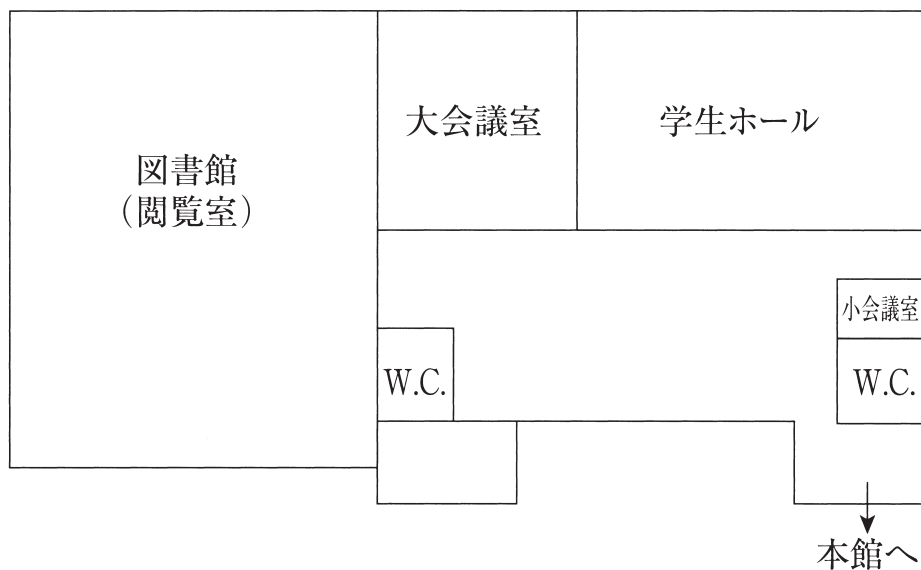


1F

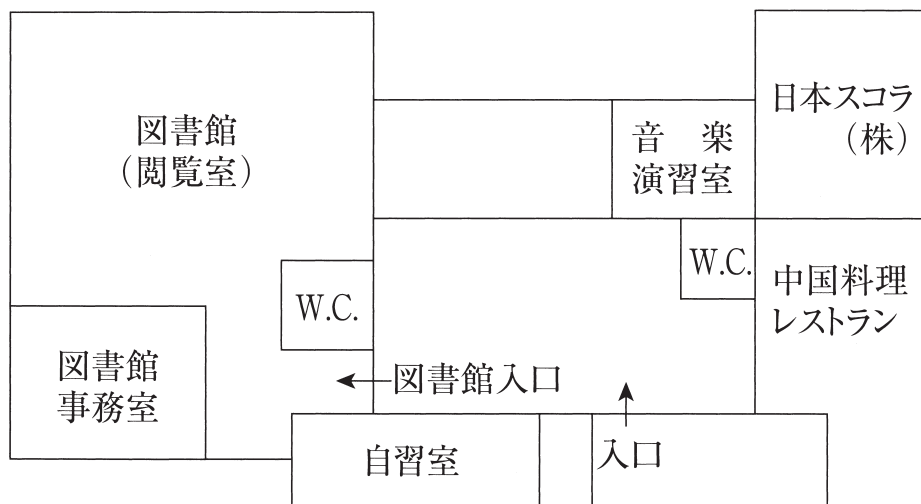


図書会館概要

2F

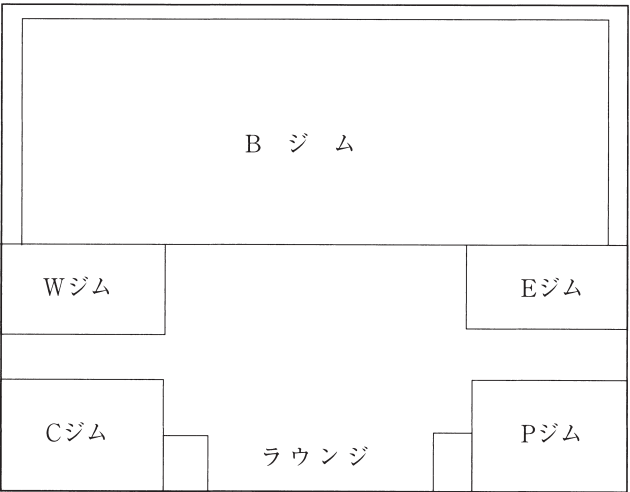


1F

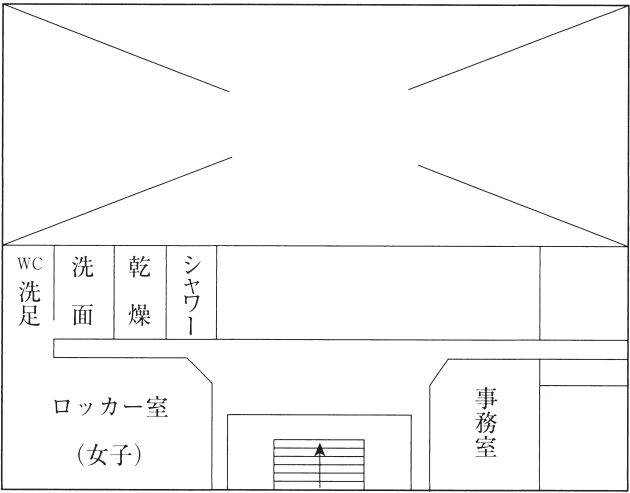


体育館概要

3F

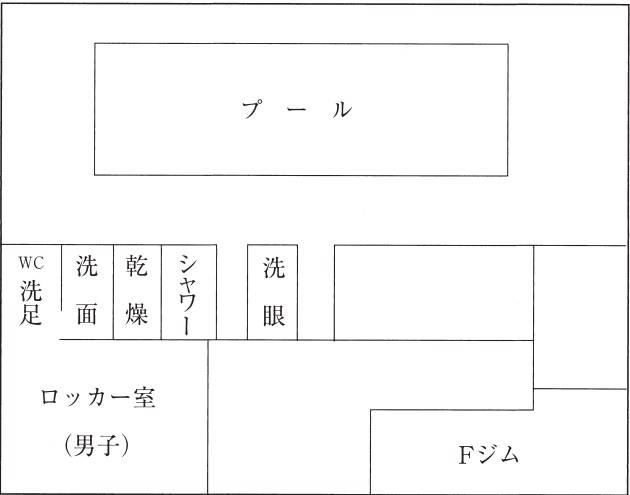


2F

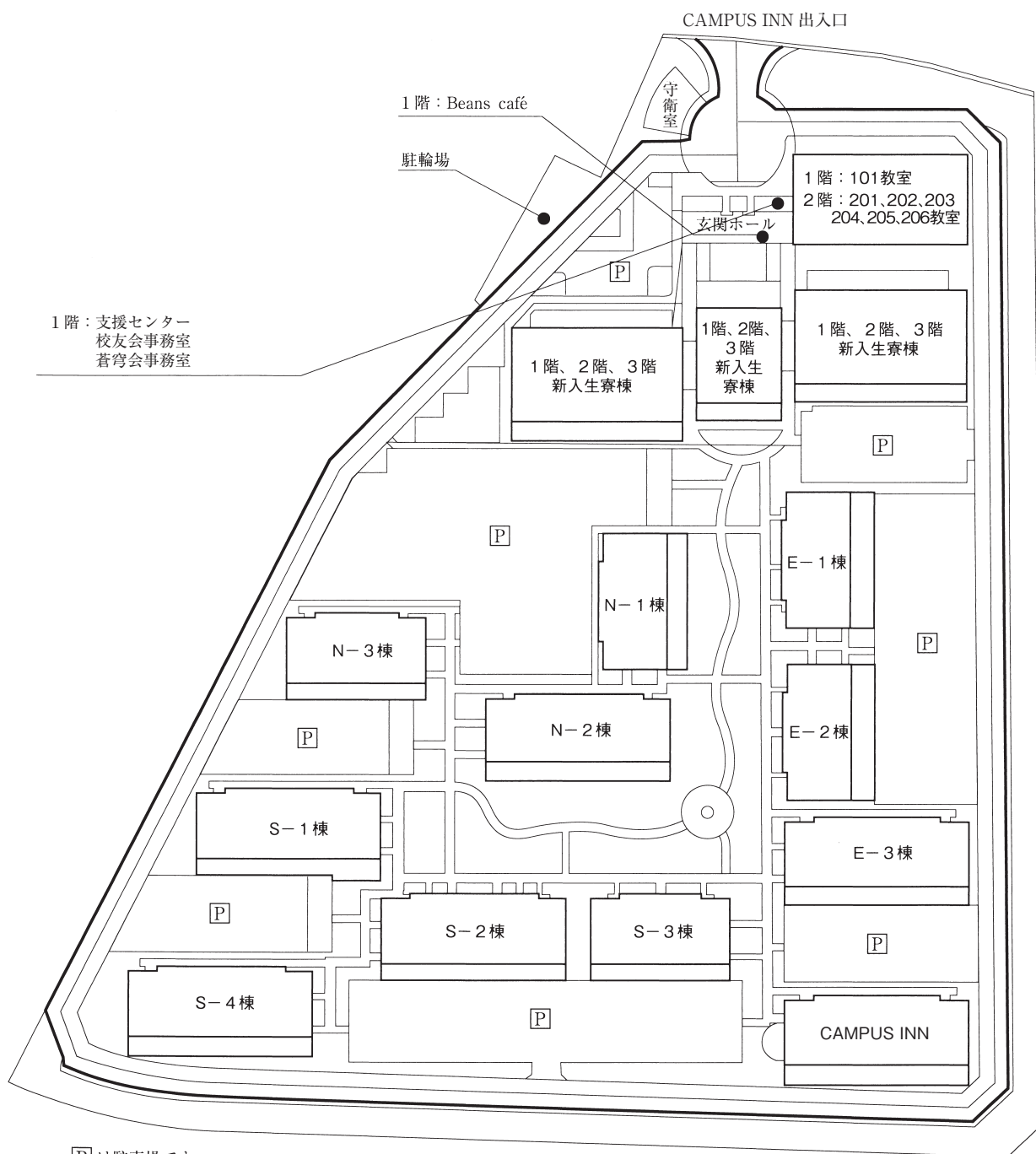


入 口

1F



CAMPUS INN 配置図



□P□ は駐車場です。

授業大要（シラバス） 2025 年度

発 行 2025 年 3 月

松 本 歯 科 大 学

川 原 一 祐

印 刷 日本ハイコム株式会社

